

常総市国民健康保険
第2期データヘルス計画
第3期特定健康診査等実施計画
中間見直し
素案

令和3年3月
常総市

第1章 保険者の特性把握と分析結果	
1. 保険者の特性把握	5
(1) 基本情報	5
(2) 医療費等の状況	7
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
① 特定健康診査	8
② 特定保健指導	10
(4) 介護保険の状況	12
(5) 主たる死因の状況	16
(6) 死亡数及び標準化死亡比	18
2. 医療情報分析結果	19
(1) 基礎統計	19
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	21
① 高額レセプトの件数及び割合	21
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	23
(3) 疾病別医療費	27
① 大分類による疾病別医療費統計	27
② 中分類による疾病別医療費統計	31
第2章 第2期データヘルス計画	
1. 計画策定について	43
(1) 背景	43
(2) 基本方針	44
(3) データヘルス計画の位置づけ	45
(4) 実施体制・関係者連携	45
2. 過去の取り組みの振り返りと評価	47
3. 保健事業実施に係る分析結果	53
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	53
(2) 特定保健指導に係る分析	54
(3) 健診異常値放置者に係る分析	55
(4) 生活習慣病治療中断者に係る分析	57
(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	59
(6) 受診行動適正化に係る分析	63
(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	66
(8) 薬剤併用禁忌に係る分析	69
(9) 服薬情報に係る分析	71
(10) COPD患者の実態	73
(11) ロコモティブシンドロームの実態	75
4. 分析結果に基づく健康課題の把握	78
(1) 分析結果	78
① 疾病大分類	78
② 疾病中分類	79
③ 高額（5万点以上）レセプトの件数と割合、疾病傾向	80
④ 特定健康診査及びレセプトデータによる分析	83

-目次-

⑤人工透析患者の実態	83
⑥医療機関受診状況	83
⑦ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）	84
⑧COPD患者の実態	84
⑨ロコモティブシンドロームの実態	84
(2)分析結果に基づく課題とその対策	85
5. 保健事業実施計画	87
(1)各事業の目的と概要一覧	87
(2)各事業の実施内容と評価方法	91
①特定健康診査未受診者対策事業	91
②医療機関特定健診の充実	92
③ドック検診	93
④特定保健指導事業	94
⑤若年者健診事業（生活習慣病一次予防に重点を置いた取り組み）	95
⑥健康づくり事業（ポピュレーションアプローチ）	96
⑦生活習慣病予防事業	97
⑧糖尿病性腎症重症化予防事業	98
⑨受診行動適正化事業（重複・頻回受診、重複服薬）	99
⑩ジェネリック医薬品差額通知事業	100
⑪薬剤併用禁忌防止事業	101
⑫COPD啓発事業	102
⑬ロコモティブシンドローム予防事業	103
6. その他	104
(1)データヘルス計画の見直し	104
①評価	104
②評価時期	104
(2)計画の公表・周知	104
(3)事業運営上の留意事項	104
(4)個人情報保護	104
(5)地域包括ケアに係る取り組み及びその他留意事項	105
巻末資料	
1. 地区分析	107
(1)大分類による疾病別医療費地区別統計	107
(2)中分類による疾病別医療費地区別統計	124
2. 年度別 特定健康診査結果分析	142
(1)有所見者割合	142
(2)質問別回答状況	151
3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	168
4. 用語解説集	169
5. 疾病分類	170
6. 分析方法	174

第1章

保険者の特性把握と分析結果

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

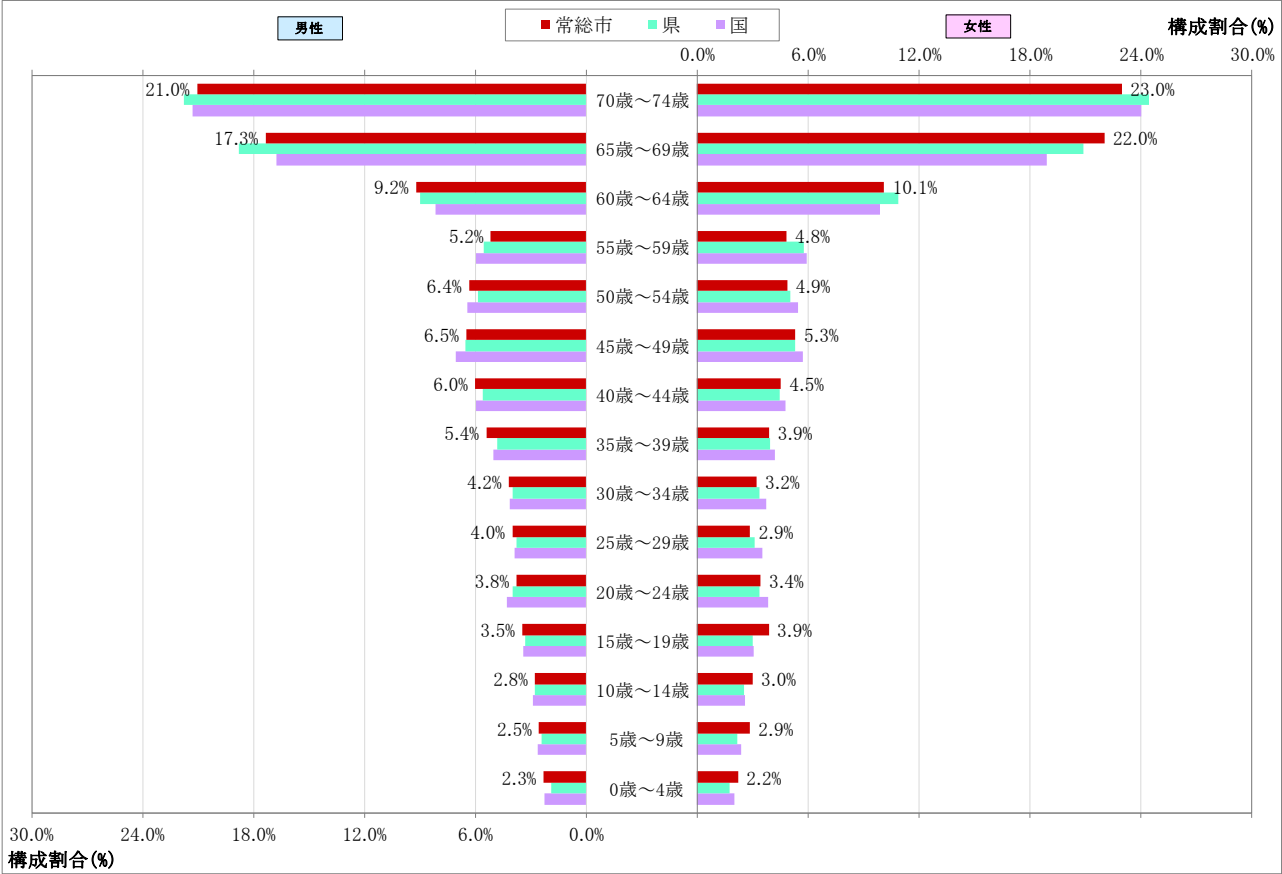
本市の平成31年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は27.7%であり、県との比較ではほぼ等倍、同規模との比較ではほぼ等倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は16,166人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は26.5%である。国民健康保険被保険者平均年齢は51.6歳である。

人口構成概要(平成31年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
常総市	60,944	27.7%	16,166	26.5%	51.6	6.3%	11.9%
県	2,883,341	26.8%	694,757	24.1%	52.7	7.5%	10.8%
同規模	69,060	27.8%	15,204	22.0%	54.1	7.8%	10.9%
国	125,640,987	26.6%	29,893,491	23.8%	51.6	8.0%	10.3%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

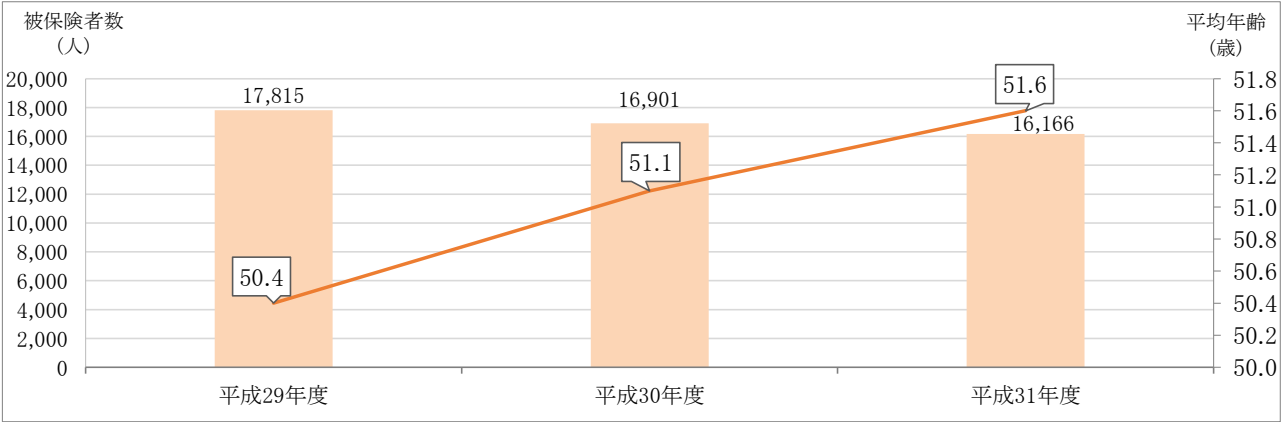
本市の平成29年度から平成31年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成31年度を平成29年度と比較すると、国民健康保険被保険者数16,166人は平成29年度17,815人より1,649人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢51.6歳は平成29年度50.4歳より1.2歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
常総市	平成29年度	60,829	27.7%	17,815	29.3%	50.4	6.3%	11.9%
	平成30年度	60,337	28.6%	16,901	28.0%	51.1	6.3%	12.9%
	平成31年度	59,667	(見込み) 29.7%	16,166	27.1%	51.6	(未確定)	(未確定)
県	平成29年度	2,883,341	26.8%	765,420	26.5%	51.8	7.5%	10.8%
	平成30年度	2,883,341	26.8%	723,426	25.1%	52.2	7.5%	10.8%
	平成31年度	2,883,341	26.8%	694,757	24.1%	52.7	7.5%	10.8%
同規模	平成29年度	68,194	27.9%	16,299	23.9%	53.3	7.8%	10.9%
	平成30年度	68,566	27.9%	15,686	22.9%	53.7	7.8%	10.9%
	平成31年度	69,060	27.8%	15,204	22.0%	54.1	7.8%	10.9%
国	平成29年度	125,640,987	26.6%	31,587,591	25.6%	51.1	8.0%	10.3%
	平成30年度	125,640,987	26.6%	30,811,133	24.5%	51.3	8.0%	10.3%
	平成31年度	125,640,987	26.6%	29,893,491	23.8%	51.6	8.0%	10.3%

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本市の平成31年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成31年度)

医療項目	常総市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.3	0.3	0.3
診療所数	1.9	2.5	3.2	3.4
病床数	34.8	45.5	55.7	52.0
医師数	4.0	7.9	8.6	10.7
外来患者数	631.3	649.1	709.6	682.3
入院患者数	16.3	16.8	20.5	18.7
受診率	647.6	665.9	730.1	701.0
一件当たり医療費(円)	38,540	36,320	38,060	37,230
一般(円)	38,560	36,330	38,060	37,230
退職(円)	16,110	31,710	35,390	36,040
外来				
外来費用の割合	62.0%	61.9%	58.7%	59.4%
外来受診率	631.3	649.1	709.6	682.3
一件当たり医療費(円)	24,520	23,050	22,990	22,710
一人当たり医療費(円)	15,480	14,960	16,320	15,500
一日当たり医療費(円)	16,740	16,000	15,250	14,960
一件当たり受診回数	1.5	1.4	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	38.0%	38.1%	41.3%	40.6%
入院率	16.3	16.8	20.5	18.7
一件当たり医療費(円)	581,310	550,210	559,530	567,030
一人当たり医療費(円)	9,480	9,220	11,470	10,600
一日当たり医療費(円)	40,420	36,340	34,450	36,070
一件当たり在院日数	14.4	15.1	16.2	15.7

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

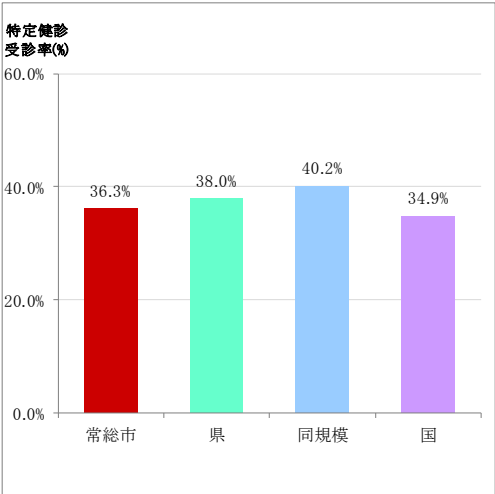
本市の平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成31年度)

	特定健診受診率
常総市	36.3%
県	38.0%
同規模	40.2%
国	34.9%

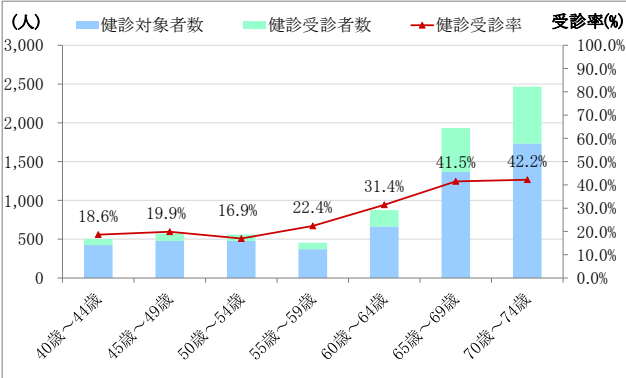
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成31年度)



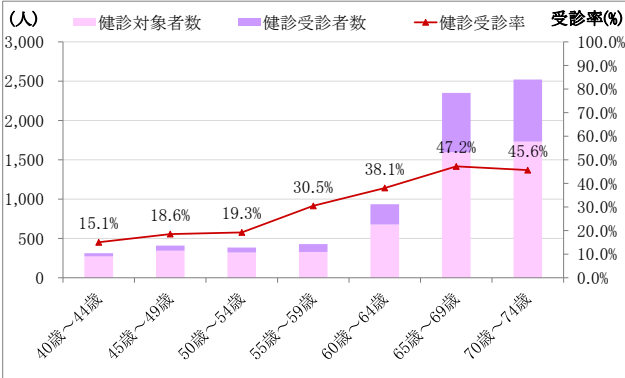
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



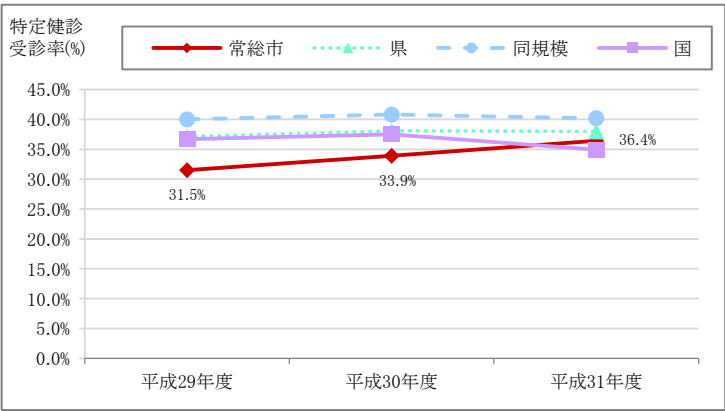
本市の平成29年度から平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成31年度の特定健康診査受診率36.3%は平成29年度31.6%より4.7ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成29年度	平成30年度	平成31年度
常総市	31.5%	33.9%	36.4%
県	37.1%	38.1%	38.0%
同規模	40.0%	40.8%	40.2%
国	36.7%	37.5%	34.9%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

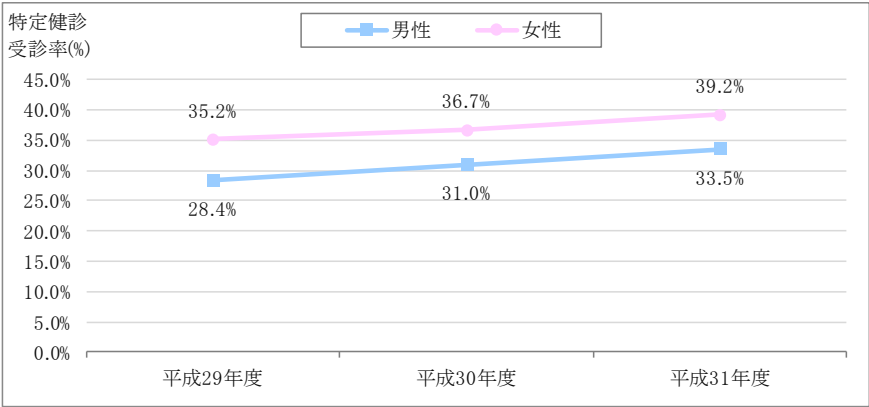
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成31年度受診率33.5%は平成29年度28.4%より5.1ポイント上昇しており、女性の平成31年度受診率39.2%は平成29年度35.2%より4.0ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

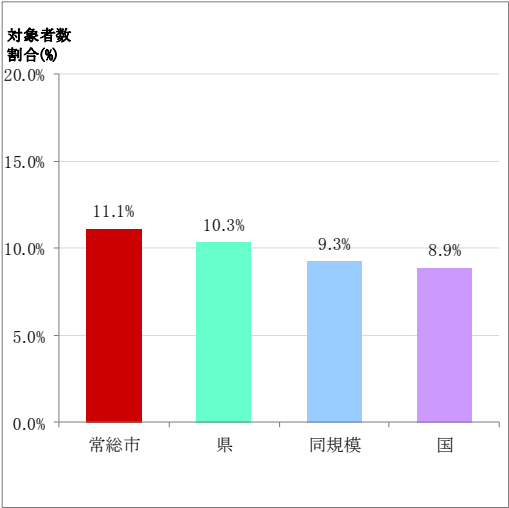
本市の平成31年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成31年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
常総市	11.1%	3.4%	14.5%	5.1%
県	10.3%	3.6%	13.9%	15.3%
同規模	9.3%	2.7%	12.0%	11.8%
国	8.9%	3.1%	12.0%	8.3%

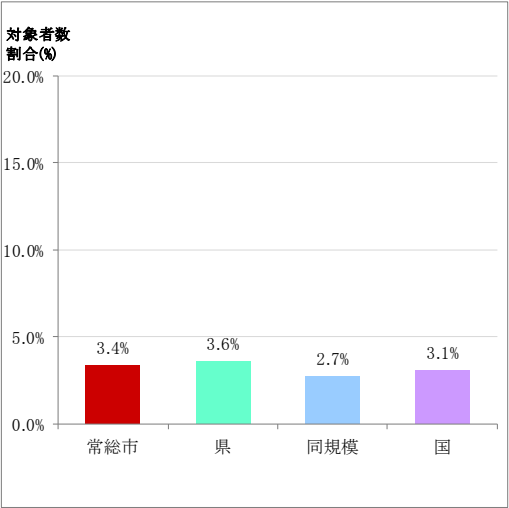
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成31年度)



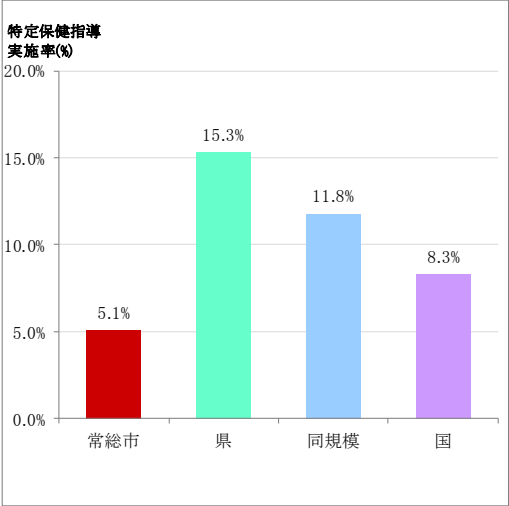
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

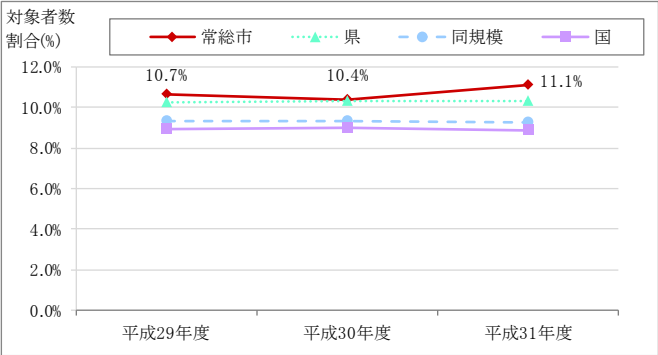
本市の平成29年度から平成31年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成31年度の特定保健指導実施率5.1%は平成29年度28.1%より23.0ポイント低下している。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導 実施率		
	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
常総市	10.7%	10.4%	11.1%	3.4%	3.9%	3.4%	14.1%	14.3%	14.5%	27.4%	20.3%	27.4%
県	10.3%	10.3%	10.3%	3.8%	3.8%	3.6%	14.1%	14.1%	13.9%	29.9%	32.5%	15.3%
同規模	9.3%	9.3%	9.3%	2.8%	2.8%	2.7%	12.1%	12.1%	12.0%	30.9%	34.9%	11.8%
国	9.0%	9.0%	8.9%	3.2%	3.2%	3.1%	12.1%	12.2%	12.0%	21.2%	23.8%	8.3%

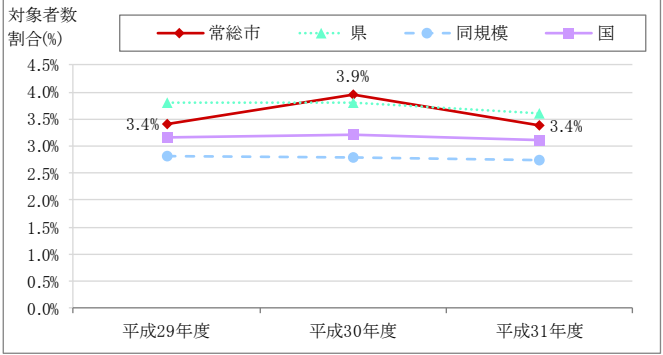
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率(平成31年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



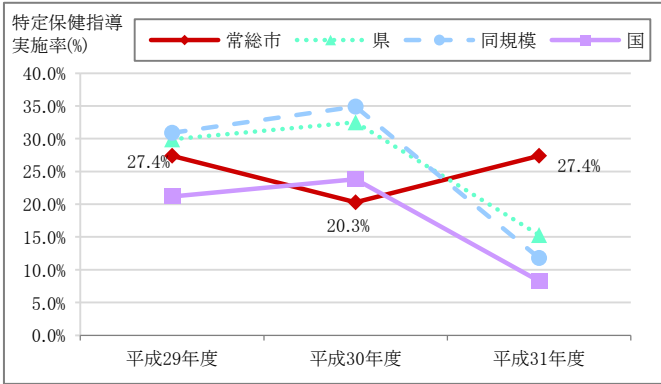
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

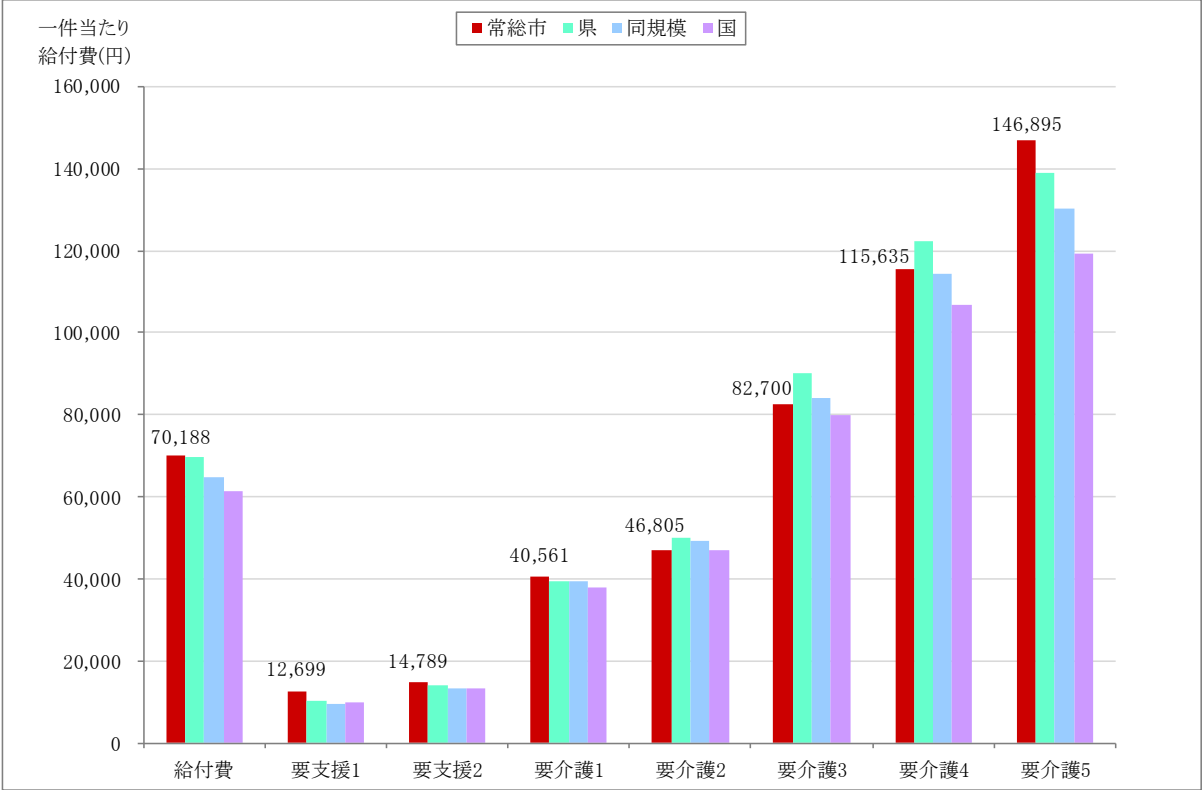
本市の平成31年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成31年度)

区分	常総市	県	同規模	国
認定率	17.0%	16.9%	18.4%	19.6%
認定者数(人)	3,001	137,246	933,707	6,620,276
第1号(65歳以上)	2,924	133,558	913,126	6,467,463
第2号(40～64歳)	77	3,688	20,581	152,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	70,188	69,509	64,851	61,336
要支援1	12,699	10,315	9,701	9,825
要支援2	14,789	13,968	13,260	13,241
要介護1	40,561	39,404	39,469	37,931
要介護2	46,805	49,992	49,409	47,085
要介護3	82,700	90,223	84,213	79,808
要介護4	115,635	122,300	114,485	106,950
要介護5	146,895	138,870	130,059	119,410

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成31年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

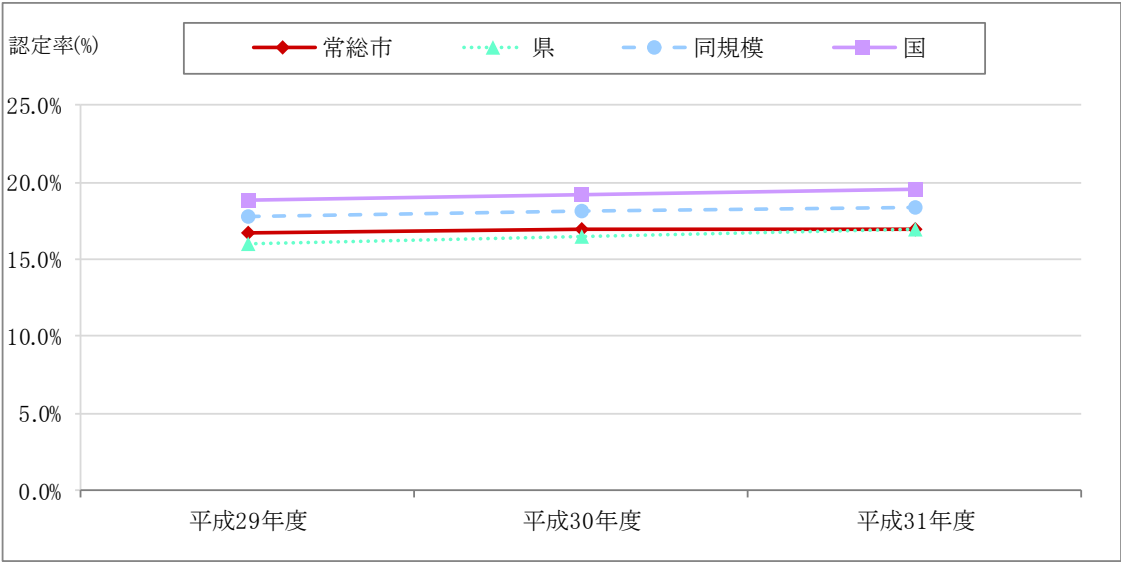
平成29年度から平成31年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成31年度認定率17.0%は平成29年度16.7%より0.3ポイント上昇しており、平成31年度の認定者数3,001人は平成29年度2,891人より110人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
常総市	平成29年度	16.7%	2,891	2,820	71
	平成30年度	17.0%	2,926	2,847	79
	平成31年度	17.0%	3,001	2,924	77
県	平成29年度	16.0%	128,042	124,342	3,700
	平成30年度	16.5%	131,982	128,338	3,644
	平成31年度	16.9%	137,246	133,558	3,688
同規模	平成29年度	17.8%	916,998	895,530	21,468
	平成30年度	18.1%	925,059	903,977	21,082
	平成31年度	18.4%	933,707	913,126	20,581
国	平成29年度	18.8%	6,208,699	6,057,292	151,407
	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

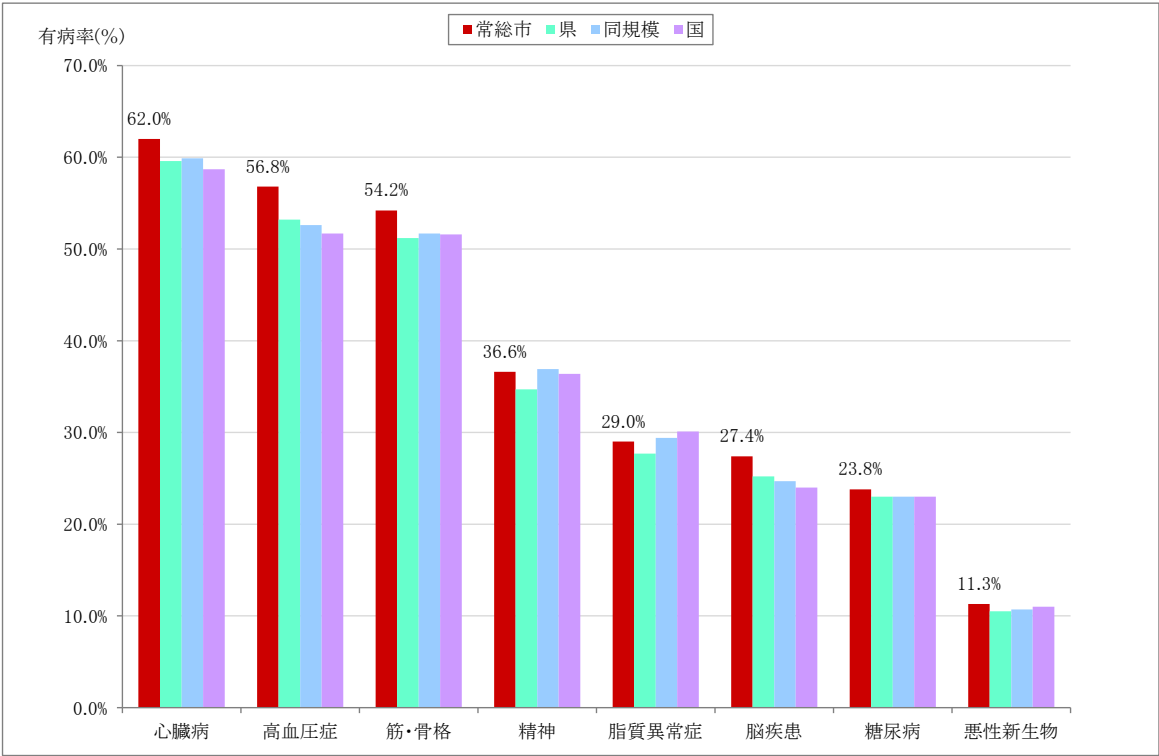
本市の平成31年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると8,709人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

認定者の疾病別有病状況(平成31年度) ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		常総市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		3,001		137,246		933,707		6,620,276	
心臓病	実人数(人)	1,787	1	81,318	1	568,770	1	3,939,115	1
	有病率	62.0%		59.6%		59.9%		58.7%	
高血圧症	実人数(人)	1,628	2	72,704	2	500,783	2	3,472,146	2
	有病率	56.8%		53.2%		52.6%		51.7%	
筋・骨格	実人数(人)	1,562	3	69,900	3	490,471	3	3,448,596	3
	有病率	54.2%		51.2%		51.7%		51.6%	
精神	実人数(人)	1,067	4	47,137	4	349,972	4	2,437,051	4
	有病率	36.6%		34.7%		36.9%		36.4%	
脂質異常症	実人数(人)	861	5	38,246	5	281,872	5	2,036,238	5
	有病率	29.0%		27.7%		29.4%		30.1%	
脳疾患	実人数(人)	786	6	33,701	6	231,954	6	1,587,755	6
	有病率	27.4%		25.2%		24.7%		24.0%	
糖尿病	実人数(人)	668	7	31,398	7	219,055	7	1,537,914	7
	有病率	23.8%		23.0%		23.0%		23.0%	
悪性新生物	実人数(人)	350	8	14,414	8	101,679	8	739,425	8
	有病率	11.3%		10.5%		10.7%		11.0%	
合計	実人数(人)	8,709		388,818		2,744,556		19,198,240	
	有病数	2.9		2.8		2.9		2.9	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

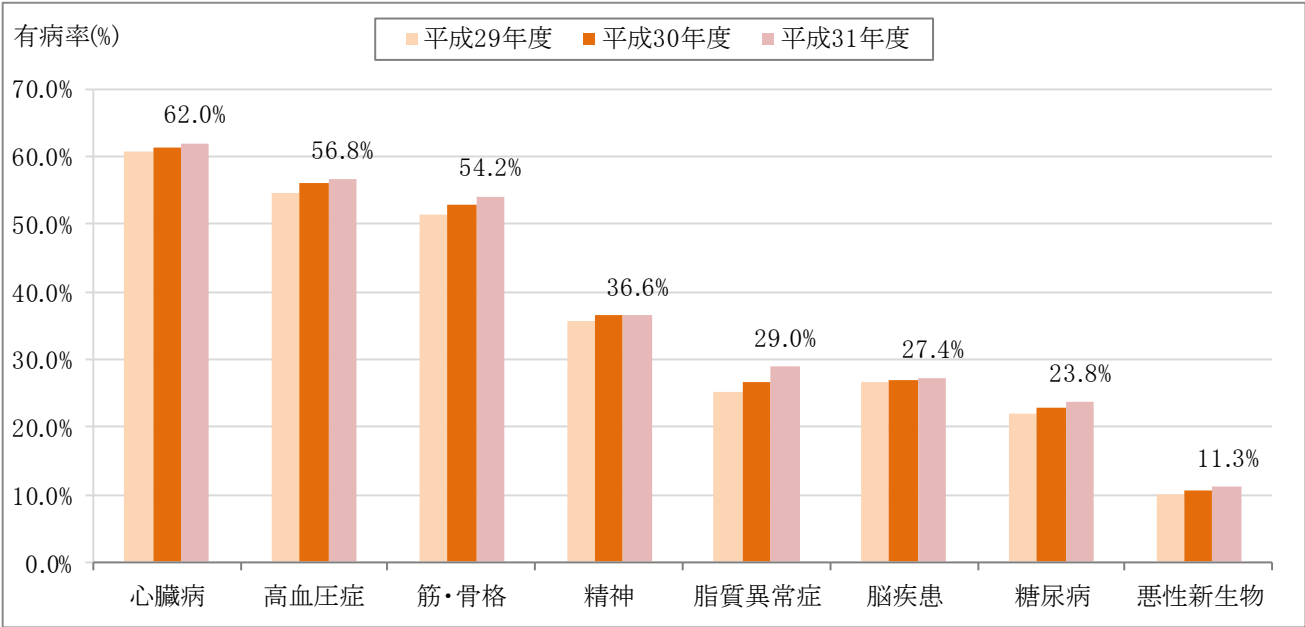
本市の平成29年度から平成31年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成31年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成29年度からほぼ横ばいとなっている。

年度別 認定者の疾病別有病状況 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		常総市						県			同規模			国		
		平成29年度	順位	平成30年度	順位	平成31年度	順位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
認定者数(人)		2,891		2,926		3,001		128,042	131,982	137,246	916,998	925,059	933,707	6,208,699	6,482,704	6,620,276
心臓病	実人数(人)	1,756	1	1,825	1	1,787	1	77,063	79,281	81,318	549,760	550,835	568,770	3,612,547	3,770,674	3,939,115
	有病率(%)	60.8%		61.5%		62.0%		60.0%	59.8%	59.6%	59.2%	59.4%	59.9%	57.8%	57.8%	58.7%
高血圧症	実人数(人)	1,583	2	1,676	2	1,628	2	68,820	70,785	72,704	482,405	484,193	500,783	3,176,320	3,318,793	3,472,146
	有病率(%)	54.7%		56.1%		56.8%		53.5%	53.4%	53.2%	51.9%	52.1%	52.6%	50.8%	50.8%	51.7%
筋・骨格	実人数(人)	1,479	3	1,595	3	1,562	3	65,680	67,869	69,900	473,492	475,600	490,471	3,150,734	3,305,225	3,448,596
	有病率(%)	51.5%		52.9%		54.2%		51.0%	51.2%	51.2%	51.0%	51.2%	51.7%	50.4%	50.6%	51.6%
精神	実人数(人)	1,040	4	1,076	4	1,067	4	44,447	46,186	47,137	336,084	339,723	349,972	2,222,308	2,339,782	2,437,051
	有病率(%)	35.8%		36.6%		36.6%		34.4%	34.8%	34.7%	36.1%	36.5%	36.9%	35.5%	35.8%	36.4%
脂質異常症	実人数(人)	736	6	814	5	861	5	34,793	36,477	38,246	261,572	267,492	281,872	1,804,586	1,915,551	2,036,238
	有病率(%)	25.1%		26.6%		29.0%		26.8%	27.2%	27.7%	27.9%	28.6%	29.4%	28.7%	29.2%	30.1%
脳疾患	実人数(人)	789	5	796	6	786	6	34,174	34,010	33,701	235,921	229,651	231,954	1,540,429	1,563,143	1,587,755
	有病率(%)	26.7%		27.1%		27.4%		26.8%	26.0%	25.2%	25.6%	25.1%	24.7%	24.9%	24.3%	24.0%
糖尿病	実人数(人)	643	7	672	7	668	7	29,368	30,556	31,398	207,681	210,730	219,055	1,396,109	1,470,196	1,537,914
	有病率(%)	22.0%		22.9%		23.8%		22.6%	23.0%	23.0%	22.2%	22.6%	23.0%	22.2%	22.4%	23.0%
悪性新生物	実人数(人)	281	8	303	8	350	8	13,242	13,753	14,414	95,571	97,246	101,679	657,405	702,800	739,425
	有病率(%)	10.0%		10.5%		11.3%		10.2%	10.4%	10.5%	10.2%	10.4%	10.7%	10.4%	10.7%	11.0%
合計	実人数(人)	8,307		8,757		8,709		367,587	378,917	388,818	2,642,486	2,655,470	2,744,556	17,560,438	18,386,164	19,198,240
	有病数	2.9		3.0		2.9		2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.9

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

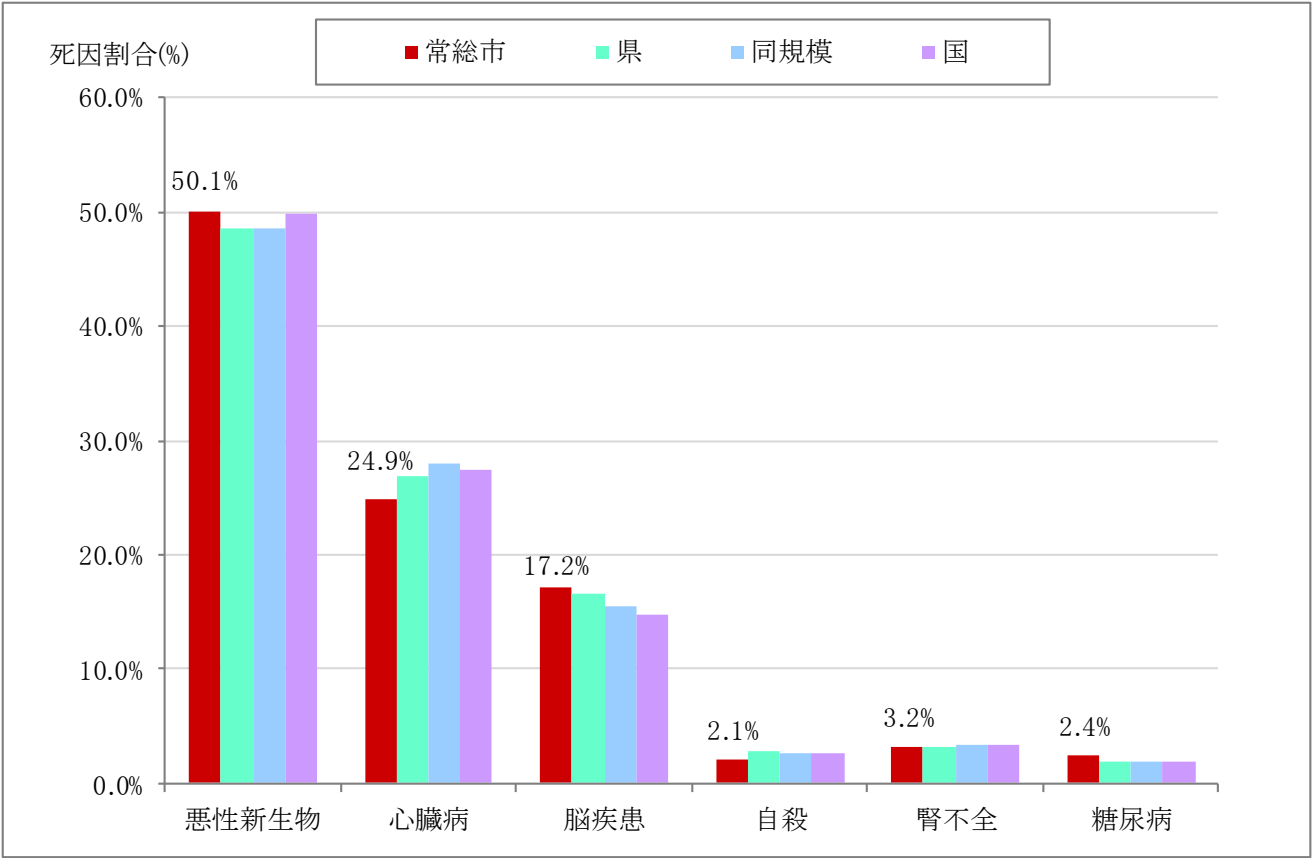
本市の平成31年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成31年度)

疾病項目	常総市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	187	50.1%	48.6%	48.6%	49.9%
心臓病	93	24.9%	26.8%	28.0%	27.4%
脳疾患	64	17.2%	16.6%	15.5%	14.7%
自殺	8	2.1%	2.8%	2.7%	2.7%
腎不全	12	3.2%	3.2%	3.3%	3.4%
糖尿病	9	2.4%	2.0%	1.9%	1.9%
合計	373				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

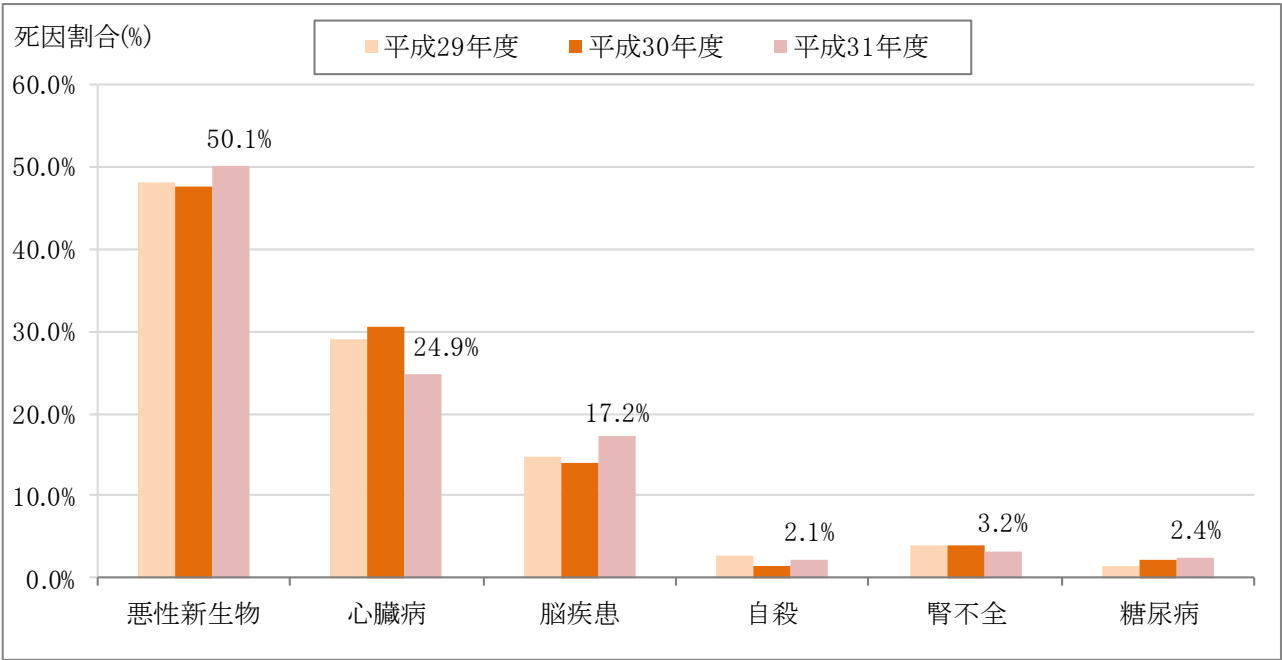
本市の平成29年度から平成31年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成31年度を平成29年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数187人は平成29年度197人より10人減少しており、心臓病を死因とする人数93人は平成29年度119人より26人減少している。また、脳疾患を死因とする人数64人は平成29年度60人より4人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	常総市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)											
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
悪性新生物	197	185	187	48.2%	47.6%	50.1%	48.9%	48.8%	48.6%	48.0%	49.0%	48.6%	50.1%	50.5%	49.9%
心臓病	119	119	93	29.1%	30.6%	24.9%	26.2%	26.7%	26.8%	27.5%	27.3%	28.0%	26.5%	26.8%	27.4%
脳疾患	60	55	64	14.7%	14.1%	17.2%	16.8%	16.8%	16.6%	16.2%	15.7%	15.5%	15.2%	14.8%	14.7%
自殺	11	6	8	2.7%	1.5%	2.1%	3.0%	2.7%	2.8%	3.1%	2.8%	2.7%	3.1%	2.8%	2.7%
腎不全	16	15	12	3.9%	3.9%	3.2%	3.1%	3.2%	3.2%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	3.4%
糖尿病	6	9	9	1.5%	2.3%	2.4%	2.1%	1.9%	2.0%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%	1.8%	1.9%
合計	409	389	373												

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(6) 死亡数及び標準化死亡比

2013年から2017年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男性では慢性閉塞性肺疾患と脳梗塞、女性では胃の悪性新生物の死亡率が高い状況である。

男性の死亡数及び標準化死亡比（2013年～2017年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	（高血圧性を除く）心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比※1	1.09	1.03	1.18	0.95	0.73	1.09	1.00	0.73	1.17	1.00	0.96	1.31	1.20	1.47
死亡数	1869	583	95	66	36	150	239	40	163	12	44	103	193	50
期待死亡数※2	1720.3	568.7	80.4	69.2	49.3	137.2	238.9	55.0	139.9	12.0	45.9	78.5	161.3	34.0
期待死亡数との差	148.7	14.3	14.6	-3.2	-13.3	12.8	0.1	-15.0	23.1	0.0	-1.9	24.5	31.7	16.0
全国に比べて有意に高い※3	○											○	○	○
全国に比べて有意に低い※4					○			○						

女性の死亡数及び標準化死亡比（2013年～2017年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	（高血圧性を除く）心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比※1	1.10	1.02	1.42	1.23	0.67	0.99	0.71	1.45	0.99	1.04	1.15	1.01	1.24	1.19	1.15	0.96
死亡数	1774	390	58	71	17	53	24	23	271	44	176	20	47	108	160	8
期待死亡数※2	1608.0	381.1	40.9	57.7	25.3	53.4	33.7	15.8	273.5	42.4	152.6	19.8	37.8	91.0	139.1	8.3
期待死亡数との差	166.0	8.9	17.1	13.3	-8.3	-0.4	-9.7	7.2	-2.5	1.6	23.4	0.2	9.2	17.0	20.9	-0.3
全国に比べて有意に高い※3	○		○													
全国に比べて有意に低い※4					○		○									

出典：茨城県立健康プラザ「令和2年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団（全国）に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。

（期待死亡数）＝（年齢階層別全国死亡率）×（年齢階層別市町村の人口）の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない（何らかの原因が存在する）可能性が高いと推測されるという意味。

2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、常総市国民健康保険における、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均16,462人、レセプト件数は平均17,959件、患者数は平均7,812人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均53,007円となった。

基礎統計

			平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	被保険者数(人)		16,968	16,691	16,645	16,623	16,584	16,469	16,411
B	レセプト件数(件)	入院外	10,834	10,499	10,620	10,732	10,325	10,224	10,548
		入院	278	271	279	290	270	282	279
		調剤	7,770	7,445	7,394	7,533	7,198	7,113	7,475
		合計	18,882	18,215	18,293	18,555	17,793	17,619	18,302
C	医療費(円) ※		424,176,310	397,428,420	423,883,410	436,217,870	414,449,630	414,424,060	434,738,600
D	患者数(人) ※		8,207	7,911	7,957	8,010	7,726	7,662	7,939
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		24,999	23,811	25,466	26,242	24,991	25,164	26,491
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		22,465	21,819	23,172	23,509	23,293	23,521	23,754
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		51,685	50,237	53,272	54,459	53,643	54,088	54,760
B/A	受診率(%)		111.3%	109.1%	109.9%	111.6%	107.3%	107.0%	111.5%
D/A	有病率(%)		48.4%	47.4%	47.8%	48.2%	46.6%	46.5%	48.4%

			令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)		16,352	16,293	16,229	16,173	16,101	16,462	
B	レセプト件数(件)	入院外	10,381	10,699	10,207	10,032	9,441	10,379	124,542
		入院	250	260	243	267	257	269	3,226
		調剤	7,183	7,500	7,291	7,114	6,726	7,312	87,742
		合計	17,814	18,459	17,741	17,413	16,424	17,959	215,510
C	医療費(円) ※		426,881,160	411,413,630	395,802,740	376,195,760	413,254,000	414,072,133	4,968,865,590
D	患者数(人) ※		7,790	7,978	7,719	7,626	7,215	7,812	93,740
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		26,106	25,251	24,389	23,261	25,666	25,154	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		23,963	22,288	22,310	21,604	25,162	23,056	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		54,799	51,569	51,276	49,331	57,277	53,007	
B/A	受診率(%)		108.9%	113.3%	109.3%	107.7%	102.0%	109.1%	
D/A	有病率(%)		47.6%	49.0%	47.6%	47.2%	44.8%	47.5%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成29年度から平成31年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成31年度を平成29年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数16,462人は、平成29年度16,394人より68人増加しており、医療費49億6,887万円は平成29年度51億6,464万円より1億9,577万円減少している。また、一カ月平均の患者数7,812人は、平成29年度8,609人より797人減少している。

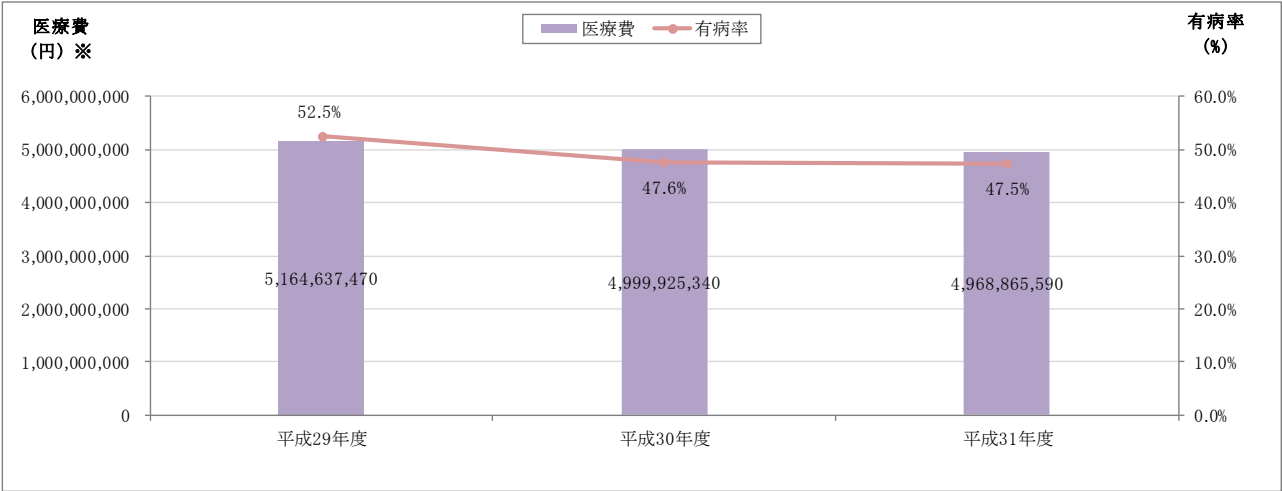
年度別 基礎統計

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
A	一カ月平均の被保険者数(人)		16,394	17,356	16,462
B	レセプト件数(件)	入院外	136,634	130,921	124,542
		入院	3,635	3,371	3,226
		調剤	94,462	91,923	87,742
		合計	234,731	226,215	215,510
C	医療費(円) ※		5,164,637,470	4,999,925,340	4,968,865,590
D	一カ月平均の患者数(人) ※		8,609	8,254	7,812
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		315,034	288,086	301,846
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		22,002	22,103	23,056
D/A	有病率(%)		52.5%	47.6%	47.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,537件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は16億8,674万円となり、医療費全体の33.9%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	レセプト件数(件)	18,882	18,215	18,293	18,555	17,793	17,619	18,302
B	高額レセプト件数(件)	122	119	142	148	117	135	135
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%
C	医療費全体(円) ※	424,176,310	397,428,420	423,883,410	436,217,870	414,449,630	414,424,060	434,738,600
D	高額レセプトの医療費(円) ※	133,282,870	121,014,950	152,845,640	152,102,770	135,970,360	143,650,750	157,265,590
E	その他レセプトの医療費(円) ※	290,893,440	276,413,470	271,037,770	284,115,100	278,479,270	270,773,310	277,473,010
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.4%	30.4%	36.1%	34.9%	32.8%	34.7%	36.2%

		令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	17,814	18,459	17,741	17,413	16,424	17,959	215,510
B	高額レセプト件数(件)	126	127	123	111	132	128	1,537
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.8%	0.7%	
C	医療費全体(円) ※	426,881,160	411,413,630	395,802,740	376,195,760	413,254,000	414,072,133	4,968,865,590
D	高額レセプトの医療費(円) ※	157,402,340	136,114,890	132,219,760	111,657,630	153,213,160	140,561,726	1,686,740,710
E	その他レセプトの医療費(円) ※	269,478,820	275,298,740	263,582,980	264,538,130	260,040,840	273,510,407	3,282,124,880
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	36.9%	33.1%	33.4%	29.7%	37.1%	33.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

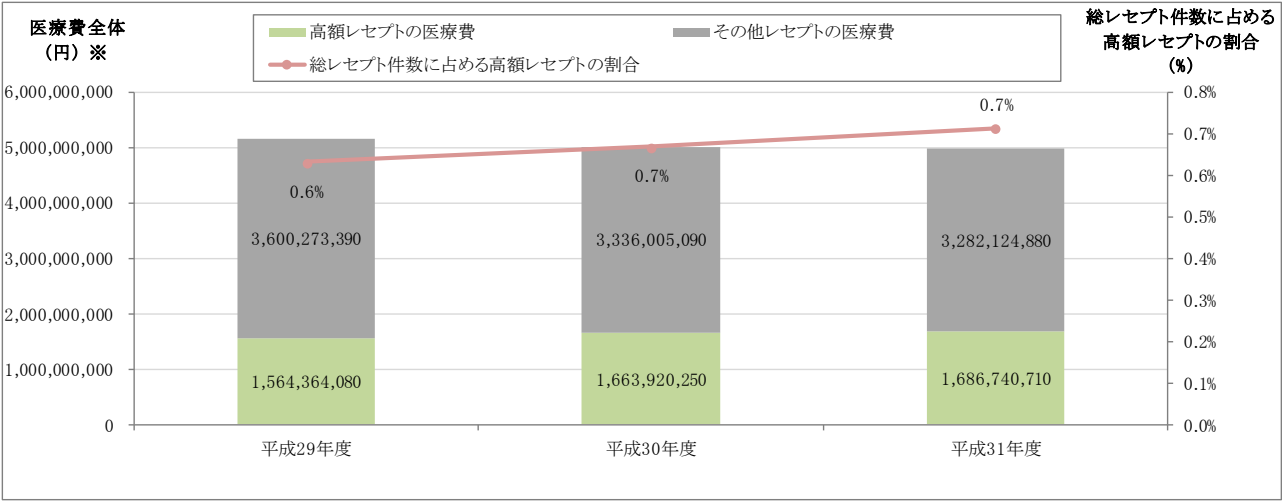
平成29年度から平成31年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成31年度高額レセプト件数1,537件は平成29年度1,481件より56件増加しており、平成31年度高額レセプトの医療費16億8,674万円は平成29年度15億6,436万円より1億2,238万円増加している。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
A	レセプト件数(件)	234,731	226,215	215,510
B	高額レセプト件数(件)	1,481	1,511	1,537
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%
C	医療費全体(円) ※	5,164,637,470	4,999,925,340	4,968,865,590
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,564,364,080	1,663,920,250	1,686,740,710
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,600,273,390	3,336,005,090	3,282,124,880
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.3%	33.3%	33.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「貧血」「くも膜下出血」「真菌症」等となった。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 重症再生不良性貧血	2	0	66,129,820	66,129,820	33,064,910
2	0904	くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	16,663,460	226,530	16,889,990	16,889,990
3	0107	真菌症	深在性真菌症, 肺炎aspergillus症	2	17,742,850	2,378,020	20,120,870	10,060,435
4	1701	心臓の先天奇形	両大血管右室起始症	1	8,929,860	1,012,890	9,942,750	9,942,750
5	0209	白血病	慢性リンパ性白血病, 急性骨髄単球性白血病	2	4,285,040	14,138,290	18,423,330	9,211,665
6	0401	甲状腺障害	自己免疫性甲状腺炎	1	0	9,139,160	9,139,160	9,139,160
7	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血友病関節炎, 紫斑病腎炎, 遺伝性血管性浮腫	5	4,597,430	36,407,580	41,005,010	8,201,002
8	0606	その他の神経系の疾患	水頭症, 筋萎縮性側索硬化症, 正常圧水頭症	9	54,645,720	7,330,760	61,976,480	6,886,276
9	0208	悪性リンパ腫	ホジキンリンパ腫, リンパ形質細胞性リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	4	13,498,280	13,661,050	27,159,330	6,789,833
10	1903	熱傷及び腐食	下肢第3度熱傷, 下肢第2度熱傷	3	19,650,590	150,930	19,801,520	6,600,507
11	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 痙性対麻痺	3	18,766,310	463,100	19,229,410	6,409,803
12	0507	その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 器質性妄想性障害, 摂食障害	3	18,881,490	103,780	18,985,270	6,328,423
13	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	非代償性肝硬変, 肝硬変症	2	11,641,190	532,920	12,174,110	6,087,055
14	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出産体重児, 低出生体重児	2	10,239,730	816,080	11,055,810	5,527,905
15	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	4	14,960,850	6,447,060	21,407,910	5,351,978
16	1402	腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	23	42,945,870	77,150,570	120,096,440	5,221,584
17	0905	脳内出血	被殻出血, 小脳出血, 脳幹部出血	9	42,775,470	416,910	43,192,380	4,799,153
18	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 肺腺癌	21	52,856,590	40,463,520	93,320,110	4,443,815
19	0807	その他の耳疾患	全聾, 両側性伝音難聴	3	10,814,650	2,237,280	13,051,930	4,350,643
20	0912	その他の循環器系の疾患	解離性大動脈瘤, 胸部大動脈瘤, 腹部大動脈瘤	9	35,978,220	2,725,130	38,703,350	4,300,372

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成29年度から平成31年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成29年度	1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 鉄欠乏性貧血, 貧血	3	15,530,893
	2	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	出血傾向, 播種性血管内凝固	2	9,589,820
	3	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	9,084,860
	4	0904	くも膜下出血	くも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	7,564,680
	5	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害	1	7,088,230
平成30年度	1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 重症再生不良性貧血, 汎血球減少症	3	20,590,407
	2	0209	白血病	急性骨髄単球性白血病, 急性骨髄性白血病	2	10,356,775
	3	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 血友病A, 神経サルコイドーシス	4	8,254,983
	4	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害	1	7,412,300
	5	1307	その他の脊柱障害	脊柱側弯症, 変性側弯症, 腰椎分離すべり症	4	5,678,535
平成31年度	1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 重症再生不良性貧血	2	33,064,910
	2	0904	くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	16,889,990
	3	0107	真菌症	深在性真菌症, 肺アスペルギルス症	2	10,060,435
	4	1701	心臓の先天奇形	両大血管右室起始症	1	9,942,750
	5	0209	白血病	慢性リンパ性白血病, 急性骨髄単球性白血病	2	9,211,665

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。
※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「その他の心疾患」「骨折」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 卵巣癌, 腎癌	79	151,365,970	142,474,650	293,840,620	3,719,502
2	0903	その他の心疾患	非弁膜症性発作性心房細動, うっ血性心不全, 持続性心房細動	46	101,275,790	37,755,360	139,031,150	3,022,416
3	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折	45	84,530,210	14,077,130	98,607,340	2,191,274
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 急性下壁心筋梗塞	30	58,057,170	9,485,410	67,542,580	2,251,419
5	1302	関節症	変形性股関節症, 原発性膝関節症, 両側性形成不全性股関節症	29	69,941,660	11,292,630	81,234,290	2,801,182
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 原発開放隅角緑内障, 裂孔原性網膜剥離	27	22,936,650	12,090,340	35,026,990	1,297,296
7	1402	腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	23	42,945,870	77,150,570	120,096,440	5,221,584
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 肺腺癌	21	52,856,590	40,463,520	93,320,110	4,443,815
8	0906	脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, アテローム血栓性脳梗塞	21	42,215,170	5,740,960	47,956,130	2,283,625
8	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, S状結腸憩室穿孔, 術後イレウス	21	21,109,350	9,398,360	30,507,710	1,452,748
11	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	S状結腸癌, 上行結腸癌, 横行結腸癌	20	39,791,070	22,911,040	62,702,110	3,135,106
11	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症	20	53,268,990	5,917,800	59,186,790	2,959,340
13	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳癌再発	19	14,068,900	40,239,690	54,308,590	2,858,347
14	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃体部癌, 胃進行癌, 胃前庭部癌	18	34,645,600	15,637,850	50,283,450	2,793,525
14	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	副腎腫瘍, 壁内子宮平滑筋腫, 卵巣腫瘍	18	38,912,420	11,921,890	50,834,310	2,824,128
14	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸椎後縦靱帯骨化症	18	39,751,490	8,313,030	48,064,520	2,670,251
17	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	14	35,671,310	13,574,330	49,245,640	3,517,546
17	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 急性胆のう炎, 総胆管結石	14	14,539,430	3,167,450	17,706,880	1,264,777
19	0402	糖尿病	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病, 糖尿病足壊疽, 糖尿病	13	21,193,370	6,713,530	27,906,900	2,146,685
19	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 顕微鏡的多発血管炎, 後脛骨筋腱機能不全	13	25,814,980	3,870,400	29,685,380	2,283,491

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成29年度から平成31年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 転移性脳腫瘍	68	3,103,970
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 非弁膜症性心房細動	43	3,714,634
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎破裂骨折	33	2,618,163
	4	0902 虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 労作性狭心症	31	3,029,499
	5	1113 その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 鼠径ヘルニア, クローン病	29	1,929,419
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 卵巣癌	76	3,197,476
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 非弁膜症性発作性心房細動	54	3,327,686
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折, 膝蓋骨骨折	38	2,564,396
	4	0902 虚血性心疾患	狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞	35	2,961,722
	5	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫, 子宮筋腫, 卵巣のう腫	25	1,839,706
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	25	2,761,568
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 腎癌	79	3,719,502
	2	0903 その他の心疾患	非弁膜症性発作性心房細動, うっ血性心不全, 持続性心房細動	46	3,022,416
	3	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎椎体骨折	45	2,191,274
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 急性下壁心筋梗塞	30	2,251,419
	5	1302 関節症	変形性股関節症, 原発性膝関節症, 両側性形成不全性股関節症	29	2,801,182

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.9%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.2%と高い割合を占めている。

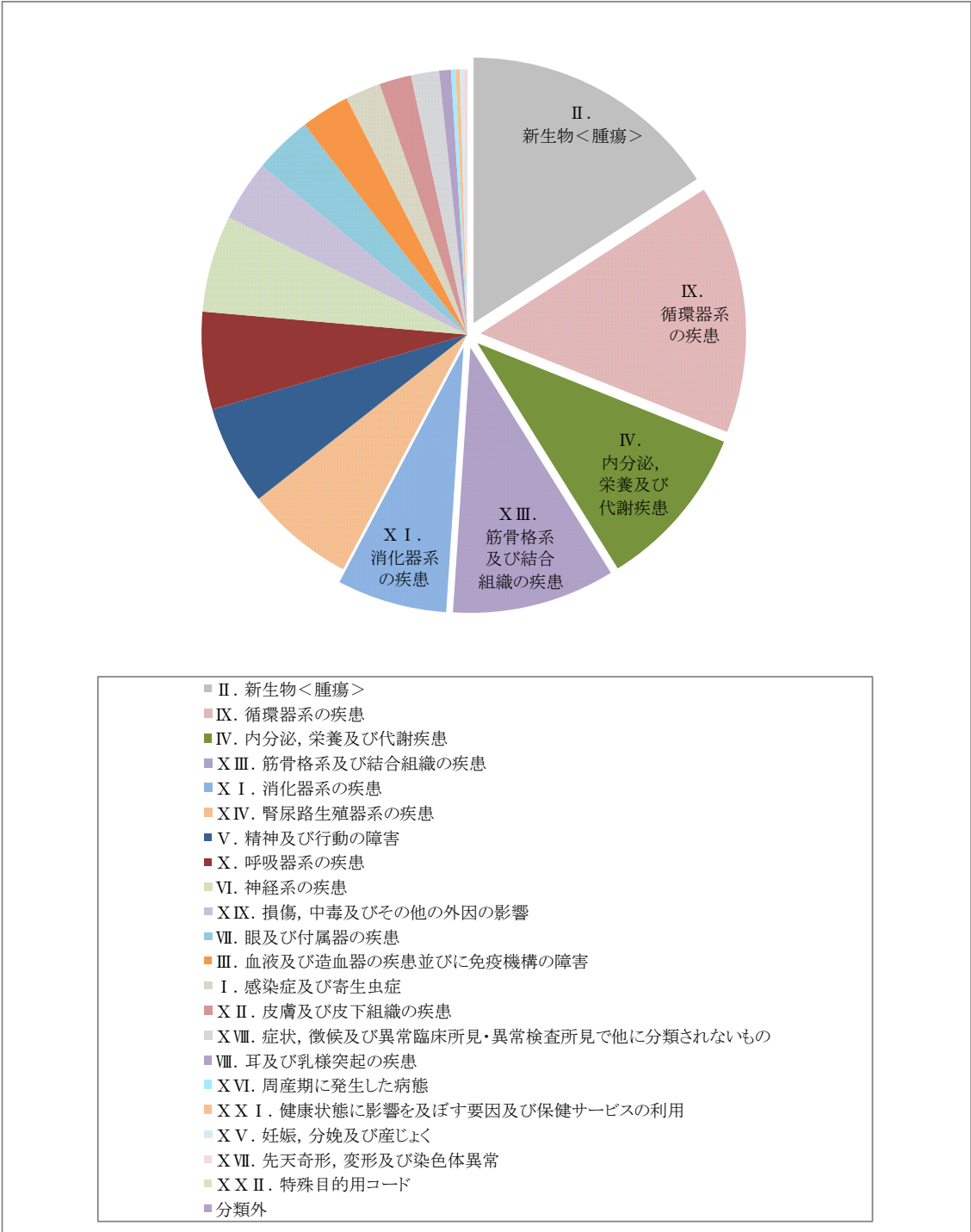
大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	106,503,357	2.2%	13	16,896	13	4,394	9	24,238	17
II. 新生物<腫瘍>	786,359,459	15.9%	1	17,648	12	4,157	10	189,165	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	147,218,127	3.0%	12	7,454	15	1,902	14	77,402	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	498,941,645	10.1%	3	76,715	2	7,344	2	67,939	10
V. 精神及び行動の障害	300,846,072	6.1%	7	20,763	8	1,884	15	159,685	3
VI. 神経系の疾患	291,420,223	5.9%	9	35,891	6	3,507	12	83,097	6
VII. 眼及び付属器の疾患	176,614,508	3.6%	11	17,983	11	4,810	6	36,718	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	35,370,861	0.7%	16	5,926	16	1,563	16	22,630	18
IX. 循環器系の疾患	750,994,116	15.2%	2	83,092	1	6,961	4	107,886	4
X. 呼吸器系の疾患	293,945,829	5.9%	8	45,997	5	8,009	1	36,702	14
X I. 消化器系の疾患 ※	331,190,688	6.7%	5	60,639	3	7,315	3	45,276	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	96,528,896	2.0%	14	23,496	7	4,749	7	20,326	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	490,403,644	9.9%	4	50,967	4	6,051	5	81,045	7
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	328,359,082	6.6%	6	19,771	10	3,608	11	91,009	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	10,637,578	0.2%	19	333	19	140	19	75,983	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	13,507,173	0.3%	17	48	21	31	20	435,715	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,104,649	0.2%	20	1,131	18	342	18	29,546	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84,467,900	1.7%	15	20,763	8	4,652	8	18,157	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	182,270,097	3.7%	10	9,558	14	2,750	13	66,280	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,246,037	0.3%	18	5,040	17	865	17	15,313	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	849,079	0.0%	21	98	20	31	20	27,390	16
合計	4,949,779,020			214,399		14,663		337,569	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物＜腫瘍＞」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

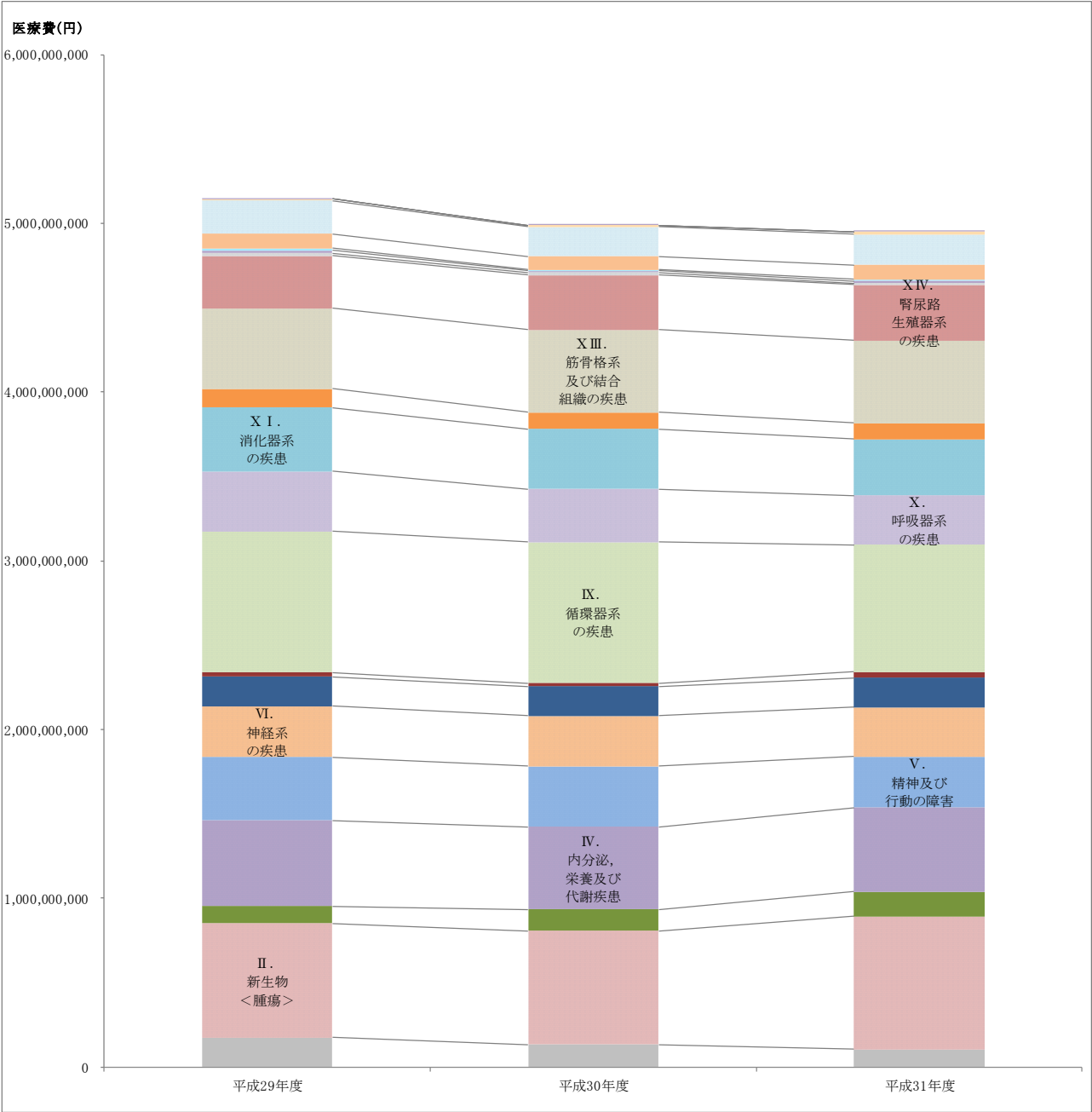
平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	175,064,031	3.4%	11	133,748,355	2.7%	12	106,503,357	2.2%	13
II. 新生物<腫瘍>	675,894,461	13.1%	2	675,019,062	13.5%	2	786,359,459	15.9%	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	103,032,591	2.0%	14	125,514,980	2.5%	13	147,218,127	3.0%	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	507,227,882	9.9%	3	488,445,071	9.8%	4	498,941,645	10.1%	3
V. 精神及び行動の障害	375,958,899	7.3%	6	359,747,273	7.2%	5	300,846,072	6.1%	7
VI. 神経系の疾患	302,976,758	5.9%	9	299,703,989	6.0%	9	291,420,223	5.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	174,717,092	3.4%	12	173,007,975	3.5%	11	176,614,508	3.6%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	23,218,866	0.5%	16	20,042,491	0.4%	16	35,370,861	0.7%	16
IX. 循環器系の疾患	837,523,764	16.3%	1	836,120,626	16.8%	1	750,994,116	15.2%	2
X. 呼吸器系の疾患	354,971,680	6.9%	7	314,868,900	6.3%	8	293,945,829	5.9%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	377,506,356	7.3%	5	355,092,263	7.1%	6	331,190,688	6.7%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	110,986,399	2.2%	13	98,133,411	2.0%	14	96,528,896	2.0%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	477,678,530	9.3%	4	489,730,355	9.8%	3	490,403,644	9.9%	4
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	311,484,447	6.1%	8	323,145,436	6.5%	7	328,359,082	6.6%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	15,700,863	0.3%	17	17,528,855	0.4%	17	10,637,578	0.2%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	13,780,377	0.3%	19	8,838,355	0.2%	18	13,507,173	0.3%	17
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	15,300,524	0.3%	18	4,571,262	0.1%	20	10,104,649	0.2%	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	85,940,266	1.7%	15	82,033,557	1.6%	15	84,467,900	1.7%	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	195,551,494	3.8%	10	174,701,655	3.5%	10	182,270,097	3.7%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,843,140	0.2%	20	8,185,750	0.2%	19	13,246,037	0.3%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	977,060	0.0%	21	324,069	0.0%	21	849,079	0.0%	21
合計	5,146,335,480			4,988,503,690			4,949,779,020		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	309,597,664	6.3%	1,617
2	0402	糖尿病	277,944,894	5.6%	5,155
3	0903	その他の心疾患	228,259,992	4.6%	2,889
4	0901	高血圧性疾患	228,053,703	4.6%	5,329
5	1402	腎不全	221,015,571	4.5%	391
6	1113	その他の消化器系の疾患	195,527,699	4.0%	4,655
7	0606	その他の神経系の疾患	174,266,889	3.5%	3,187
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,385,768	3.3%	566
9	0403	脂質異常症	133,481,914	2.7%	4,035
10	1302	関節症	108,072,374	2.2%	1,649

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	228,053,703	5,329	36.3%
2	0402	糖尿病	277,944,894	5,155	35.2%
3	1113	その他の消化器系の疾患	195,527,699	4,655	31.7%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84,467,900	4,652	31.7%
5	0403	脂質異常症	133,481,914	4,035	27.5%
6	1006	アレルギー性鼻炎	45,058,236	3,888	26.5%
7	0703	屈折及び調節の障害	13,191,806	3,802	25.9%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	41,534,151	3,765	25.7%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	25,031,019	3,658	24.9%
10	1003	その他の急性上気道感染症	24,497,851	3,587	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	13,794,632	19	726,033
2	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	10,245,266	15	683,018
3	1402	腎不全	221,015,571	391	565,257
4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42,204,545	87	485,110
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	21,123,613	65	324,979
6	1903	熱傷及び腐食	19,818,875	62	319,659
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,385,768	566	285,134
8	0904	くも膜下出血	12,421,323	51	243,555
9	1701	心臓の先天奇形	5,828,098	25	233,124
10	0208	悪性リンパ腫	33,798,417	147	229,921

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	279,477,345	5.4%	5,636
	2	0402 糖尿病	271,281,939	5.3%	5,365
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	246,122,221	4.8%	1,623
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	224,760,446	4.4%	606
	5	0903 その他の心疾患	221,770,968	4.3%	2,820
	6	1113 その他の消化器系の疾患	218,105,280	4.2%	4,947
	7	1402 腎不全	204,032,817	4.0%	406
	8	0606 その他の神経系の疾患	182,012,810	3.5%	3,345
	9	0403 脂質異常症	152,362,095	3.0%	4,040
	10	0902 虚血性心疾患	107,723,344	2.1%	1,521
平成30年度	1	0402 糖尿病	271,729,035	5.4%	5,245
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	269,339,338	5.4%	1,640
	3	0903 その他の心疾患	247,076,318	5.0%	2,872
	4	0901 高血圧性疾患	243,649,293	4.9%	5,525
	5	1402 腎不全	220,074,342	4.4%	331
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	215,115,965	4.3%	608
	7	1113 その他の消化器系の疾患	204,973,437	4.1%	4,771
	8	0606 その他の神経系の疾患	183,886,304	3.7%	3,271
	9	0403 脂質異常症	137,018,923	2.7%	4,116
	10	0902 虚血性心疾患	121,769,267	2.4%	1,501
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	309,597,664	6.3%	1,617
	2	0402 糖尿病	277,944,894	5.6%	5,155
	3	0903 その他の心疾患	228,259,992	4.6%	2,889
	4	0901 高血圧性疾患	228,053,703	4.6%	5,329
	5	1402 腎不全	221,015,571	4.5%	391
	6	1113 その他の消化器系の疾患	195,527,699	4.0%	4,655
	7	0606 その他の神経系の疾患	174,266,889	3.5%	3,187
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,385,768	3.3%	566
	9	0403 脂質異常症	133,481,914	2.7%	4,035
	10	1302 関節症	108,072,374	2.2%	1,649

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	279,477,345	5,636	34.6%
	2	0402 糖尿病	271,281,939	5,365	32.9%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	85,940,266	5,211	32.0%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	218,105,280	4,947	30.3%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	32,346,111	4,661	28.6%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	54,889,195	4,556	27.9%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	48,147,118	4,293	26.3%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	29,111,696	4,241	26.0%
	9	0403 脂質異常症	152,362,095	4,040	24.8%
	10	0703 屈折及び調節の障害	14,836,857	4,028	24.7%
平成30年度	1	0901 高血圧性疾患	243,649,293	5,525	35.6%
	2	0402 糖尿病	271,729,035	5,245	33.8%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	82,033,557	4,869	31.4%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	204,973,437	4,771	30.7%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	50,269,868	4,362	28.1%
	6	0403 脂質異常症	137,018,923	4,116	26.5%
	7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	26,940,091	4,112	26.5%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	44,300,311	4,037	26.0%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	27,449,611	3,998	25.7%
	10	0703 屈折及び調節の障害	13,819,009	3,932	25.3%
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	228,053,703	5,329	36.3%
	2	0402 糖尿病	277,944,894	5,155	35.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	195,527,699	4,655	31.7%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84,467,900	4,652	31.7%
	5	0403 脂質異常症	133,481,914	4,035	27.5%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	45,058,236	3,888	26.5%
	7	0703 屈折及び調節の障害	13,191,806	3,802	25.9%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	41,534,151	3,765	25.7%
	9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	25,031,019	3,658	24.9%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	24,497,851	3,587	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成29年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,693,713	16	543,357
	2	1402 腎不全	204,032,817	406	502,544
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	224,760,446	606	370,892
	4	0904 くも膜下出血	15,749,616	52	302,877
	5	0501 血管性及び詳細不明の認知症	12,788,337	45	284,185
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	22,666,139	93	243,722
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	18,682,430	81	230,647
	8	0208 悪性リンパ腫	34,839,359	158	220,502
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	50,592,647	280	180,688
	10	1502 妊娠高血圧症候群	1,090,696	7	155,814
平成30年度	1	0209 白血病	23,014,922	26	885,189
	2	1402 腎不全	220,074,342	331	664,877
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	6,504,257	18	361,348
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	215,115,965	608	353,809
	5	1502 妊娠高血圧症候群	1,356,915	5	271,383
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	54,882,206	280	196,008
	7	0208 悪性リンパ腫	24,675,641	126	195,838
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,296,389	98	186,698
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	12,920,105	74	174,596
	10	0601 パーキンソン病	28,492,344	164	173,734
平成31年度	1	0209 白血病	13,794,632	19	726,033
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	10,245,266	15	683,018
	3	1402 腎不全	221,015,571	391	565,257
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42,204,545	87	485,110
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	21,123,613	65	324,979
	6	1903 熱傷及び腐食	19,818,875	62	319,659
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,385,768	566	285,134
	8	0904 くも膜下出血	12,421,323	51	243,555
	9	1701 心臓の先天奇形	5,828,098	25	233,124
	10	0208 悪性リンパ腫	33,798,417	147	229,921

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,949,779,020	214,399	14,663

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	106,503,357	2.2%		16,896	7.9%		4,394	30.0%		24,238	
0101 腸管感染症	10,371,178	0.2%	80	3,762	1.8%	49	1,340	9.1%	35	7,740	109
0102 結核	4,181,184	0.1%	96	424	0.2%	101	169	1.2%	89	24,741	68
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,910,394	0.0%	106	514	0.2%	98	220	1.5%	85	8,684	107
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	10,269,746	0.2%	81	2,771	1.3%	55	835	5.7%	49	12,299	97
0105 ウイルス性肝炎	12,902,789	0.3%	75	1,687	0.8%	70	457	3.1%	67	28,234	60
0106 その他のウイルス性疾患	20,089,282	0.4%	59	525	0.2%	96	231	1.6%	84	86,967	25
0107 真菌症	24,050,320	0.5%	54	4,740	2.2%	43	1,168	8.0%	36	20,591	74
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	224,578	0.0%	116	50	0.0%	114	16	0.1%	116	14,036	93
0109 その他の感染症及び寄生虫症	22,503,886	0.5%	57	4,642	2.2%	44	1,577	10.8%	32	14,270	92
II. 新生物<腫瘍>	786,359,459	15.9%		17,648	8.2%		4,157	28.4%		189,165	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	54,599,689	1.1%	31	2,510	1.2%	59	898	6.1%	43	60,801	36
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	73,515,567	1.5%	20	2,484	1.2%	60	884	6.0%	44	83,162	26
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42,204,545	0.9%	37	646	0.3%	90	87	0.6%	100	485,110	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	19,145,039	0.4%	62	800	0.4%	85	207	1.4%	86	92,488	24
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	99,108,859	2.0%	12	1,941	0.9%	66	685	4.7%	53	144,684	16
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	58,085,785	1.2%	28	1,371	0.6%	76	261	1.8%	80	222,551	11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	13,369,632	0.3%	71	595	0.3%	91	232	1.6%	83	57,628	38
0208 悪性リンパ腫	33,798,417	0.7%	42	533	0.2%	95	147	1.0%	92	229,921	10
0209 白血病	13,794,632	0.3%	67	89	0.0%	111	19	0.1%	115	726,033	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	309,597,664	6.3%	1	6,980	3.3%	32	1,617	11.0%	30	191,464	12
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	69,139,630	1.4%	21	4,131	1.9%	48	1,641	11.2%	28	42,133	53
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	147,218,127	3.0%		7,454	3.5%		1,902	13.0%		77,402	
0301 貧血	86,077,376	1.7%	15	4,293	2.0%	46	1,046	7.1%	39	82,292	27
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	61,140,751	1.2%	27	3,636	1.7%	50	1,138	7.8%	38	53,726	42
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	498,941,645	10.1%		76,715	35.8%		7,344	50.1%		67,939	
0401 甲状腺障害	24,226,752	0.5%	53	4,823	2.2%	40	1,139	7.8%	37	21,270	73
0402 糖尿病	277,944,894	5.6%	2	38,631	18.0%	4	5,155	35.2%	2	53,918	41
0403 脂質異常症	133,481,914	2.7%	9	49,246	23.0%	2	4,035	27.5%	5	33,081	57
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	63,288,085	1.3%	25	15,245	7.1%	11	2,028	13.8%	23	31,207	58
V. 精神及び行動の障害	300,846,072	6.1%		20,763	9.7%		1,884	12.8%		159,685	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,033,827	0.0%	112	220	0.1%	107	54	0.4%	107	19,145	76
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2,949,959	0.1%	102	446	0.2%	100	66	0.5%	103	44,696	47
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	161,385,768	3.3%	8	7,960	3.7%	29	566	3.9%	60	285,134	7

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,949,779,020	214,399	14,663

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	68,987,703	1.4%	22	9,745	4.5%	26	744	5.1%	52	92,725	23
0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	26,250,412	0.5%	49	10,191	4.8%	25	1,030	7.0%	40	25,486	66
0506 知的障害<精神遅滞>	5,005,579	0.1%	90	721	0.3%	88	79	0.5%	101	63,362	35
0507 その他の精神及び行動の障害	35,232,824	0.7%	41	1,455	0.7%	73	197	1.3%	88	178,847	13
VI. 神経系の疾患	291,420,223	5.9%		35,891	16.7%		3,507	23.9%		83,097	
0601 パーキンソン病	23,278,601	0.5%	55	2,379	1.1%	62	168	1.1%	90	138,563	18
0602 アルツハイマー病	9,363,205	0.2%	84	767	0.4%	86	98	0.7%	99	95,543	22
0603 てんかん	62,621,333	1.3%	26	4,753	2.2%	42	405	2.8%	69	154,621	15
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	21,123,613	0.4%	58	366	0.2%	102	65	0.4%	104	324,979	5
0605 自律神経系の障害	766,582	0.0%	114	571	0.3%	92	64	0.4%	105	11,978	99
0606 その他の神経系の疾患	174,266,889	3.5%	7	31,964	14.9%	5	3,187	21.7%	13	54,681	40
VII. 眼及び付属器の疾患	176,614,508	3.6%		17,983	8.4%		4,810	32.8%		36,718	
0701 結膜炎	13,145,482	0.3%	73	8,134	3.8%	28	2,218	15.1%	19	5,927	112
0702 白内障	44,593,251	0.9%	36	6,260	2.9%	35	1,596	10.9%	31	27,941	61
0703 屈折及び調節の障害	13,191,806	0.3%	72	13,026	6.1%	16	3,802	25.9%	7	3,470	118
0704 その他の眼及び付属器の疾患	105,683,969	2.1%	11	13,577	6.3%	13	3,527	24.1%	11	29,964	59
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	35,370,861	0.7%		5,926	2.8%		1,563	10.7%		22,630	
0801 外耳炎	2,646,636	0.1%	103	2,076	1.0%	63	653	4.5%	55	4,053	116
0802 その他の外耳疾患	1,782,576	0.0%	107	954	0.4%	83	409	2.8%	68	4,358	114
0803 中耳炎	4,890,395	0.1%	91	1,473	0.7%	72	357	2.4%	74	13,699	94
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	3,064,954	0.1%	101	552	0.3%	94	134	0.9%	94	22,873	71
0805 メニエール病	3,785,075	0.1%	97	1,168	0.5%	80	246	1.7%	82	15,386	88
0806 その他の内耳疾患	1,513,065	0.0%	108	350	0.2%	103	114	0.8%	98	13,273	95
0807 その他の耳疾患	17,688,160	0.4%	63	1,630	0.8%	71	527	3.6%	64	33,564	56
IX. 循環器系の疾患	750,994,116	15.2%		83,092	38.8%		6,961	47.5%		107,886	
0901 高血圧性疾患	228,053,703	4.6%	4	71,215	33.2%	1	5,329	36.3%	1	42,795	51
0902 虚血性心疾患	94,374,586	1.9%	14	11,097	5.2%	24	1,452	9.9%	33	64,996	34
0903 その他の心疾患	228,259,992	4.6%	3	17,936	8.4%	9	2,889	19.7%	14	79,010	28
0904 くも膜下出血	12,421,323	0.3%	78	276	0.1%	105	51	0.3%	108	243,555	8
0905 脳内出血	40,499,812	0.8%	40	722	0.3%	87	252	1.7%	81	160,714	14
0906 脳梗塞	64,965,900	1.3%	24	6,375	3.0%	34	836	5.7%	48	77,710	29
0907 脳動脈硬化(症)	25,163	0.0%	119	15	0.0%	120	6	0.0%	121	4,194	115
0908 その他の脳血管疾患	29,551,570	0.6%	48	2,008	0.9%	64	526	3.6%	65	56,182	39
0909 動脈硬化(症)	5,776,921	0.1%	88	1,844	0.9%	67	360	2.5%	73	16,047	82
0911 低血圧(症)	598,681	0.0%	115	223	0.1%	106	35	0.2%	109	17,105	80
0912 その他の循環器系の疾患	46,466,465	0.9%	34	4,220	2.0%	47	870	5.9%	45	53,410	43
X. 呼吸器系の疾患	293,945,829	5.9%		45,997	21.5%		8,009	54.6%		36,702	
1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,496,945	0.0%	109	1,414	0.7%	75	560	3.8%	61	2,673	122
1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	12,782,761	0.3%	76	7,035	3.3%	31	2,582	17.6%	16	4,951	113
1003 その他の急性上気道感染症	24,497,851	0.5%	52	12,116	5.7%	22	3,587	24.5%	10	6,830	111

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,949,779,020	214,399	14,663

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	30,164,036	0.6%	46	1,948	0.9%	65	793	5.4%	50	38,038	55
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	25,031,019	0.5%	51	12,266	5.7%	21	3,658	24.9%	9	6,843	110
1006 アレルギー性鼻炎	45,058,236	0.9%	35	20,005	9.3%	8	3,888	26.5%	6	11,589	100
1007 慢性副鼻腔炎	6,666,575	0.1%	86	2,695	1.3%	57	595	4.1%	58	11,204	101
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	3,214,073	0.1%	100	878	0.4%	84	363	2.5%	72	8,854	106
1009 慢性閉塞性肺疾患	30,816,088	0.6%	44	4,306	2.0%	45	621	4.2%	56	49,623	45
1010 喘息	57,362,084	1.2%	29	12,341	5.8%	20	2,064	14.1%	21	27,792	62
1011 その他の呼吸器系の疾患	56,856,161	1.1%	30	7,526	3.5%	30	2,515	17.2%	18	22,607	72
X I . 消化器系の疾患	331,190,688	6.7%		60,639	28.3%		7,315	49.9%		45,276	
1101 う蝕 ※	15,530	0.0%	122	1	0.0%	123	1	0.0%	123	15,530	86
1102 歯肉炎及び歯周疾患	24,004	0.0%	120	16	0.0%	119	8	0.1%	118	3,001	120
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	113,441	0.0%	118	64	0.0%	113	33	0.2%	110	3,438	119
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	29,806,900	0.6%	47	12,526	5.8%	19	1,626	11.1%	29	18,331	77
1105 胃炎及び十二指腸炎	41,534,151	0.8%	38	21,097	9.8%	6	3,765	25.7%	8	11,032	102
1106 痔核	4,856,156	0.1%	92	1,311	0.6%	77	304	2.1%	78	15,974	83
1107 アルコール性肝疾患	3,712,103	0.1%	98	522	0.2%	97	77	0.5%	102	48,209	46
1108 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	2,297,243	0.0%	104	1,098	0.5%	81	145	1.0%	93	15,843	85
1109 肝硬変 (アルコール性のものを除く)	11,233,263	0.2%	79	1,182	0.6%	78	166	1.1%	91	67,670	31
1110 その他の肝疾患	14,526,798	0.3%	65	6,132	2.9%	37	1,720	11.7%	26	8,446	108
1111 胆石症及び胆のう炎	22,788,082	0.5%	56	2,738	1.3%	56	528	3.6%	63	43,159	49
1112 膵疾患	4,755,318	0.1%	94	706	0.3%	89	203	1.4%	87	23,425	70
1113 その他の消化器系の疾患	195,527,699	4.0%	6	39,132	18.3%	3	4,655	31.7%	3	42,004	54
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	96,528,896	2.0%		23,496	11.0%		4,749	32.4%		20,326	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	9,417,362	0.2%	83	2,556	1.2%	58	997	6.8%	41	9,446	104
1202 皮膚炎及び湿疹	40,568,877	0.8%	39	15,992	7.5%	10	3,327	22.7%	12	12,194	98
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	46,542,657	0.9%	33	11,324	5.3%	23	2,564	17.5%	17	18,152	79
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	490,403,644	9.9%		50,967	23.8%		6,051	41.3%		81,045	
1301 炎症性多発性関節障害	76,000,206	1.5%	19	6,889	3.2%	33	997	6.8%	41	76,229	30
1302 関節症	108,072,374	2.2%	10	13,170	6.1%	15	1,649	11.2%	27	65,538	33
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	76,760,695	1.6%	18	12,798	6.0%	17	1,784	12.2%	25	43,027	50
1304 椎間板障害	14,055,628	0.3%	66	3,163	1.5%	54	512	3.5%	66	27,452	63
1305 頸腕症候群	5,039,633	0.1%	89	3,375	1.6%	53	545	3.7%	62	9,247	105
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	30,684,763	0.6%	45	13,590	6.3%	12	1,994	13.6%	24	15,389	87
1307 その他の脊柱障害	20,014,642	0.4%	60	1,806	0.8%	68	395	2.7%	70	50,670	44
1308 肩の傷害<損傷>	12,669,503	0.3%	77	5,877	2.7%	38	866	5.9%	46	14,630	91
1309 骨の密度及び構造の障害	80,495,271	1.6%	17	12,674	5.9%	18	1,374	9.4%	34	58,585	37
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	66,610,929	1.3%	23	13,417	6.3%	14	2,608	17.8%	15	25,541	65

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,949,779,020	214,399	14,663

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	328,359,082	6.6%		19,771	9.2%		3,608	24.6%		91,009	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	15,236,137	0.3%	64	2,435	1.1%	61	603	4.1%	57	25,267	67
1402 腎不全	221,015,571	4.5%	5	3,565	1.7%	51	391	2.7%	71	565,257	3
1403 尿路結石症	13,600,573	0.3%	69	1,172	0.5%	79	318	2.2%	77	42,769	52
1404 その他の腎尿路系の疾患	32,811,800	0.7%	43	8,751	4.1%	27	2,062	14.1%	22	15,913	84
1405 前立腺肥大(症)	25,768,243	0.5%	50	4,789	2.2%	41	585	4.0%	59	44,048	48
1406 その他の男性生殖器の疾患	1,366,556	0.0%	110	511	0.2%	99	130	0.9%	95	10,512	103
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	4,774,614	0.1%	93	1,454	0.7%	74	319	2.2%	76	14,967	90
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	13,785,588	0.3%	68	1,753	0.8%	69	673	4.6%	54	20,484	75
XⅤ. 妊娠、分娩及び産じょく	10,637,578	0.2%		333	0.2%		140	1.0%		75,983	
1501 流産	2,198,171	0.0%	105	41	0.0%	115	22	0.2%	114	99,917	21
1502 妊娠高血圧症候群	9,171	0.0%	123	5	0.0%	122	4	0.0%	122	2,293	123
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	8,430,236	0.2%	85	294	0.1%	104	125	0.9%	97	67,442	32
XⅥ. 周産期に発生した病態	13,507,173	0.3%		48	0.0%		31	0.2%		435,715	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	10,245,266	0.2%	82	23	0.0%	117	15	0.1%	117	683,018	2
1602 その他の周産期に発生した病態	3,261,907	0.1%	99	31	0.0%	116	23	0.2%	113	141,822	17
XⅦ. 先天奇形、変形及び染色体異常	10,104,649	0.2%		1,131	0.5%		342	2.3%		29,546	
1701 心臓の先天奇形	5,828,098	0.1%	87	74	0.0%	112	25	0.2%	112	233,124	9
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	4,276,551	0.1%	95	1,079	0.5%	82	327	2.2%	75	13,078	96
XⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84,467,900	1.7%		20,763	9.7%		4,652	31.7%		18,157	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84,467,900	1.7%	16	20,763	9.7%	7	4,652	31.7%	4	18,157	78
XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	182,270,097	3.7%		9,558	4.5%		2,750	18.8%		66,280	
1901 骨折	97,230,136	2.0%	13	3,465	1.6%	52	793	5.4%	50	122,611	19
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	13,422,842	0.3%	70	217	0.1%	108	126	0.9%	96	106,530	20
1903 熱傷及び腐食	19,818,875	0.4%	61	143	0.1%	109	62	0.4%	106	319,659	6
1904 中毒	1,095,869	0.0%	111	555	0.3%	93	272	1.9%	79	4,029	117
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	50,702,375	1.0%	32	6,149	2.9%	36	2,076	14.2%	20	24,423	69
XⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,246,037	0.3%		5,040	2.4%		865	5.9%		15,313	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	114,027	0.0%	117	20	0.0%	118	7	0.0%	119	16,290	81
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	18,921	0.0%	121	10	0.0%	121	7	0.0%	119	2,703	121
2104 菌の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,949,779,020	214,399	14,663

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	13,113,089	0.3%	74	5,015	2.3%	39	853	5.8%	47	15,373	89
X X II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		849,079	0.0%		98	0.0%		31	0.2%		27,390	
9999	分類外	849,079	0.0%	113	98	0.0%	110	31	0.2%	111	27,390	64

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

第2章 第2期データヘルス計画

1. 計画策定について

(1) 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

(2) 基本方針

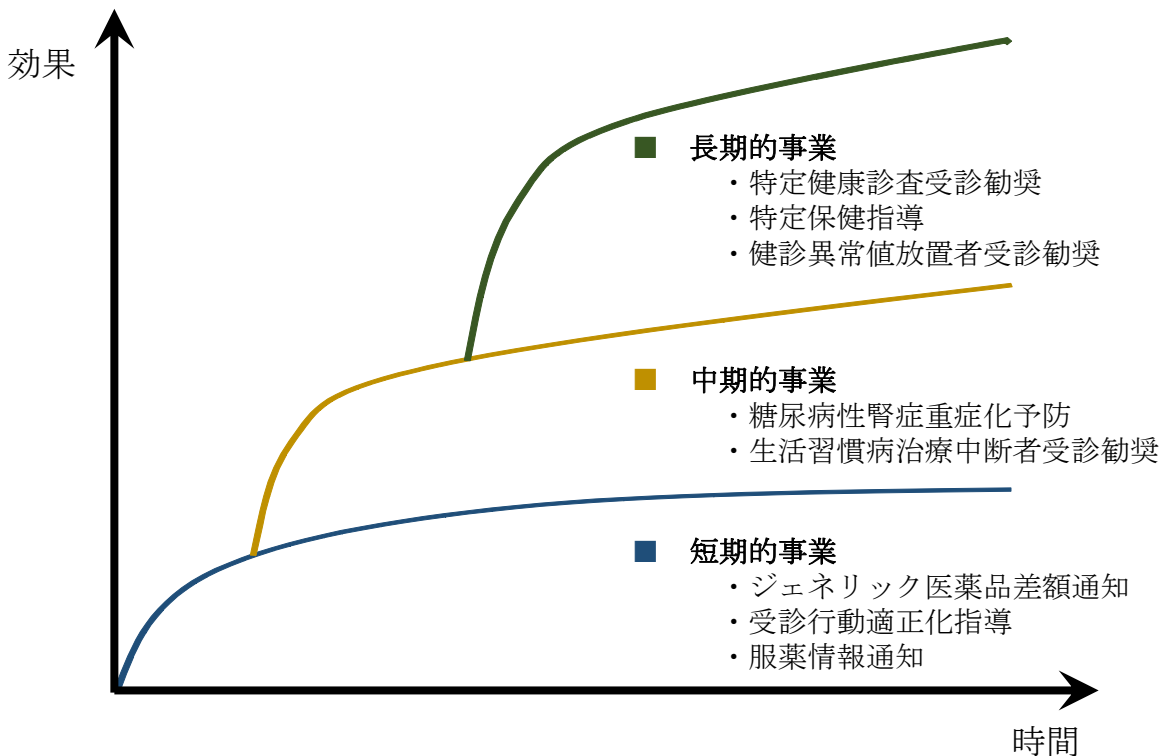
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を常総市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



(3) データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

(4) 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、学識経験者、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成29年度…平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ

平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

2. 過去の取り組みの振り返りと評価

第2期データヘルス計画に基づき実施した事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は a：改善している、b：変わらない、c：悪化している、d：評価困難、そして「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものは「a*」と記載する。

データヘルス計画全体

指標	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
平均自立期間	計画に記載した個別 保健事業の実施状況	平均自立期間の延伸	男78.2歳 女83.1歳	男78.5歳 女83.3歳

個別保健事業計画

事業名		目標値		実績値	
		アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
特定健診にかかわる事業	特定健康診査 未受診者対策事業	対象者へのあらゆる方法での情報提供を実施することにより、周知徹底を図る。	特定健康診査受診率35%を目指す。 35%以降は、順次増加を目指す。（最終目標60%）	周知100% 受診率31.5%	周知100% 受診率31.5%
	医療機関 特定健診の充実	対象者への周知の徹底 医療機関への協力依頼		医療機関数 18	医療機関数 18
	ドック検診	特定健診受診の機会の拡大		助成実施 人間ドック2万円 脳ドック3万円	助成実施 人間ドック2万円 脳ドック3万円
特定保健指導事業		対象者へあらゆる方法でアプローチすることにより、指導実績の向上を図る。	特定保健指導率25%を目指す。 25%以降は、順次増加を目指す。（最終目標60%）	21.2%	27.4%

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a：改善している b：変わらない c：悪化している d：評価困難
：「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a」と記載

実績値		評価 (※)	達成につながる 取組・要素	今後の方向性	最終 目標値
平成30年度	令和元年度				
男79.1歳 女83.4歳	男78.8歳 女83.7歳	a	介護予防、高齢者保健事業など、関係各課が連携し一体的に推進していく必要がある。	健診受診率、特定保健指導実施率の向上を図りつつ、通いの場における保健指導や健康教室を実施するなど、適宜関係者との連携を図り取組の検討を行う。また、働き世代のうちから働きかけることで、平均自立期間の延伸につなげる。	平均自立期間の延伸

実績値		評価 (※)	成功・未達要因	今後の方向性	最終 目標値
平成30年度	令和元年度				
周知96% 受診率33.9%	周知100% 受診率36.5%	a	KDBシステムを活用した分析により対象者を特定し、健診予約日に合わせて年齢、受診歴に応じた資料による受診勧奨を実施。	特定健診予約日に合わせて、年齢、受診歴等に応じた資料による受診勧奨を実施し受診率向上に努める。また、働き世代に対しても保健指導を実施。	周知100% 受診率60%
医療機関数 18	医療機関数 17	a	広報、健康カレンダー、個人通知等により医療機関検診を周知した。	広報等に加えSNSを活用した周知を実施。 医療機関については市内、近隣市の主な医療機関についてはすでに実施済。	協力医療機関の増加
助成実施 人間ドック2万円 脳ドック3万円	助成実施 人間ドック2万円 脳ドック3万円	a	ドック検診利用者に対し、健診費用を助成した。	今後も、助成を継続に加え、対応医療機関の拡大を図り受診機会の拡大に努める。	協力医療機関の増加
20.3%	27.4%	a	対象者に対し、適宜勧奨を実施しているが保健指導につながるケースが少ない。	実施率が伸びていないため、保健指導の必要性を周知するなど積極的な勧奨を実施し、実施率向上につなげる。	実施率60%

事業名	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
若年者健診事業 (生活習慣病の一次予防に 重点を置いた取り組み)	対象者への受診通知率 100%	健診受診の周知によ り、受診者数を増加 させる。	勧奨率81.7% 受診者数70人	勧奨率79.6% 受診者数36人
健康づくり事業 (ポピュレーションアプ ローチ)	生活習慣病予防のため、 講演会等各種事業を展 開し、参加者数を増加 させる。	市民自らが健康づく りを意識し、健康増 進事業へ参加するこ とを支援する。	9教室 1062人	9教室 1151人
生活習慣病予防 対策事業	対象者への受診勧奨率 100%	対象者の医療機関受 診率を増加させる。	勧奨率61% －	勧奨率100% 受診率10.5%
糖尿病性腎症重症化 予防事業	個人プログラム達成率 40% 個人プログラム達成者 のうちの 生活習慣改善率 50%	指導完了者の糖尿病 性腎症における病期 進行者を増加させな い。	－	達成率57.7% 改善率40.0%
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	指導対象者の 指導実施率 80%	指導対象者のうち、 重複・頻回受診者、 重複服薬者 20% 減 少	指導実施率 96.3%	指導実施率 93.1%

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a：改善している b：変わらない c：悪化している d：評価困難
：「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a」と記載

実績値		評価 (※)	成功・未達要因	今後の方向性	最終 目標値
平成30年度	令和元年度				
勸奨率72.4% 受診者数40人	勸奨率100% 受診者数56人	a	受診勸奨後の未受診者に対し、再勸奨、再々勸奨を実施し受診喚起に努めた。	今後も個人のライフステージに合わせ、生活習慣が改善できるようなプランを作成し、保健指導を実施していく。	受診者数増
11教室 1140人	16教室 1521人	a	国保部門、介護部門と連携し教室を開催。	今後においても計画の段階から関係課と連携しスムーズに事業実施する。また、市民自ら健康づくりに取組めるような事業を計画する。	参加者増
勸奨率98% 受診率71.4%	勸奨率100% 受診率38.7%	a	KDBシステムを活用した分析により健診異常値放置者を選定し、保健師が電話や面談により受診勸奨を実施した。	今後も、的確なタイミングでの保健指導及び勸奨を行い、行動変容につなげていく。	受診率増
達成率100% 改善率50%	達成率100% 改善率100%	a	KDBシステムにより対象者を抽出し、面談や電話等にて、治療や服薬状況、食事内容等、約6か月間をフォロー期間とし個別保健指導を展開し、期間中、体組成測定を用いた運動トレーニング教室の開催や、応援支援レターを用いながら継続支援を実施した。	今後も医療機関と連携し事業継続していくことで対象者の生活習慣改善、維持に努め、人工透析への移行を防止する。	参加者の生活習慣改善率100% 人工透析移行防止率100%
指導実施率 100%	指導実施率 93.3%	a	レセプト調査により選定された対象者に訪問等の個別指導を行うことで適正な受診へ導いた。	重複・頻回受診者についてはレセプト調査の精度を上げ個別指導を中心に行う。重複服薬者対象者に対しては服薬状況を提示するなどした個別指導を行う。	指導対象者の指導実施率 95%

事業名	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
ジェネリック 医薬品差額通知事業	対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネ リック医薬品普及率 (数量ベース) 20%	普及率 (数量ベース) 67.93%	数量ベース 70.21%
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌防止の ための講演会等を展 開し、参加者数を増 加させる。	市民自らが薬剤併用 禁忌について意識で きるよう支援する。	講演会参加者 26人	講演会参加者 13人
COPD啓発事業	COPDを知っている人 の割合	特定健診受診者にお ける知っている人の 割合を増加させる。	啓発活動のみでア ンケート調査なし	啓発活動のみでア ンケート調査なし
ロコモティブシンドローム 予防事業	ロコモを知っている 人の割合	特定健診受診者にお ける知っている人の 割合を増加させる。	啓発活動のみでア ンケート調査なし	啓発活動のみでア ンケート調査なし

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a：改善している b：変わらない c：悪化している d：評価困難
：「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a」と記載

実績値		評価 (※)	成功・未達要因	今後の方向性	最終 目標値
平成30年度	令和元年度				
数量ベース 74.81%	数量ベース 76.93%	a	削減効果の高い方を選定して通知対象者としているため、普及率の増加につながった。	年2回程度実施。調剤費の自己負担がない公費受給者や服薬の量が増える50代、60代を重点的に通知対象とすることで、ジェネリック医薬品への切替を促す。	数量ベース 80%
講演会参加者 16人	講演会参加者 37人 (うち薬剤併用 禁忌者11人)	a	講演会ポスターを、医療機関だけでなく、スーパー等にも掲示して広く広報を行った。	薬剤併用禁忌についてSNSや広報紙など各年代に合わせた啓発活動を行う。適正化指導事業と連携させ、個別指導を行う。	薬剤併用禁忌による 健康被害0%
16.2%	19.6%	a	全戸配布の健康カレンダー掲載、健診会場でのポスター掲示やリーフレット配布、健康教室、後援会開催など啓発に努めた結果、認知率が上昇した。	今後もリーフレット配布、ポスター掲示、講演会の開催など啓発を実施し、認知増に努める。	認知率増
17.7%	24.1%	a	全戸配布の健康カレンダー掲載、健診会場でのポスター掲示やリーフレット配布、健康教室、後援会開催など啓発に努めた結果、認知率が上昇した。	今後もリーフレット配布、ポスター掲示、講演会の開催など啓発を実施し、認知増に努める。	認知率増

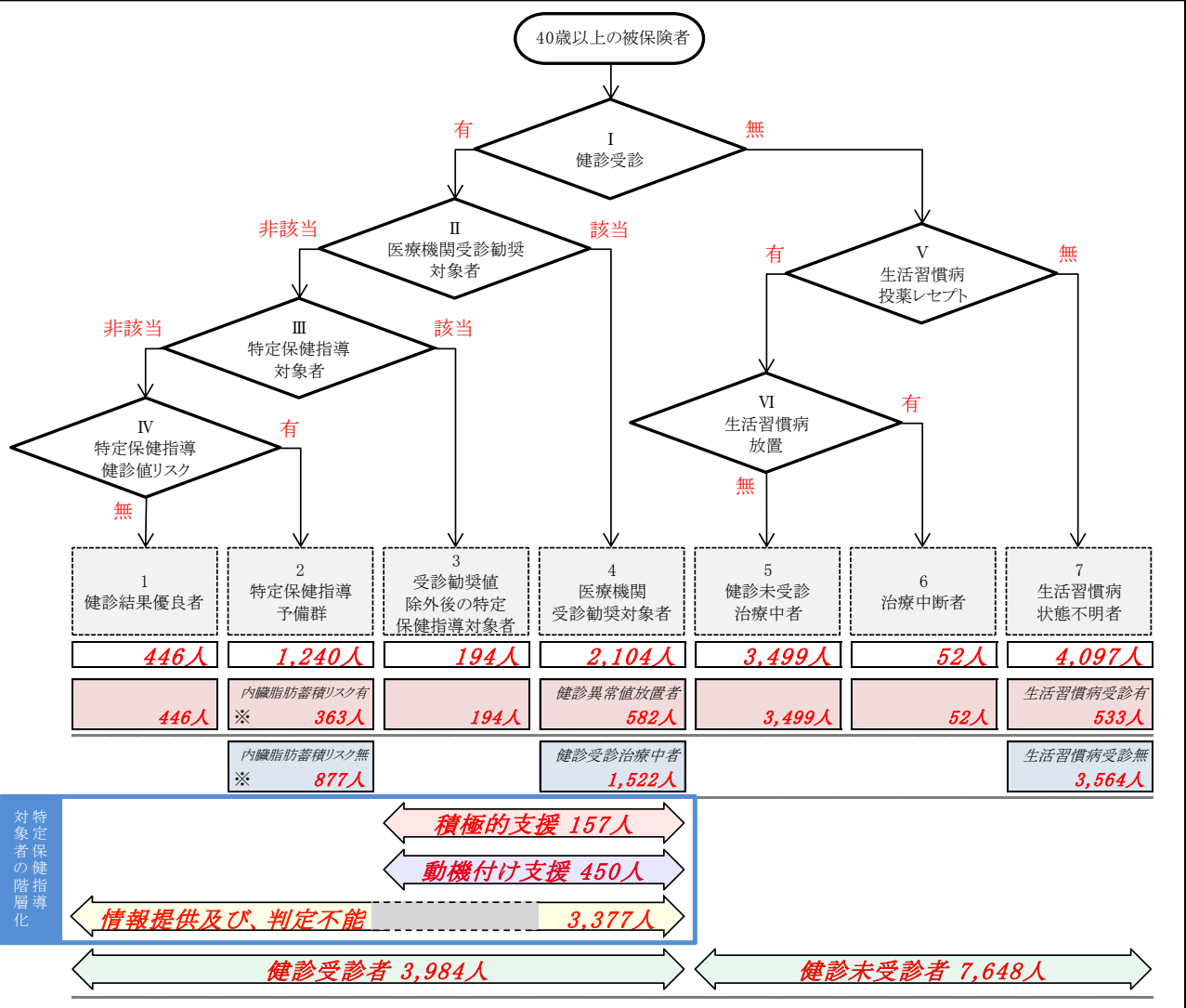
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は607人である。このうち、積極的支援の対象者は157人、動機付け支援の対象者は450人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血 糖	② 血 圧	③ 脂 質	④ 喫 煙			607人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	12人	157人 26%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	25人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	11人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	12人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	9人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	32人	
	●		●			血糖＋脂質	21人	
		●	●			血圧＋脂質	4人	
	●			●		血糖＋喫煙	7人	
		●		●		血圧＋喫煙	9人	
			●	●		脂質＋喫煙	10人	
	●				因子数1	血糖	1人	
		●				血圧	3人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	1人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	12人	450人 74%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	57人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	12人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	5人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	87人	
	●		●			血糖＋脂質	35人	
		●	●			血圧＋脂質	18人	
	●			●		血糖＋喫煙	14人	
		●		●		血圧＋喫煙	11人	
			●	●		脂質＋喫煙	1人	
	●				因子数1	血糖	103人	
		●				血圧	65人	
			●			脂質	24人	
				●		喫煙	1人	
					因子数0	なし	3人	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。
リスク判定の詳細は以下の通りとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

(3) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する582人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

Ⅰ.条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	582 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

Ⅱ.除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	156 人
除外患者を除いた候補者数		426 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者426人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位

↑高

効果

低↓

医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 2人	候補者C 3人
医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 12人	候補者D 68人
医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 66人	候補者F 275人
	喫煙	非喫煙

←良

効率

悪→

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数	426人
------------------------	------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(4) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者73人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	52 人
	上記以外のグループ	21 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		73 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	1 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		72 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者72人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 1人	候補者A2 2人	候補者A3 1人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 2人	候補者B2 3人	候補者B3 3人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 7人	候補者C2 32人	候補者C3 21人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				72人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病の医療機関受診を中断している判定を行う。

(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

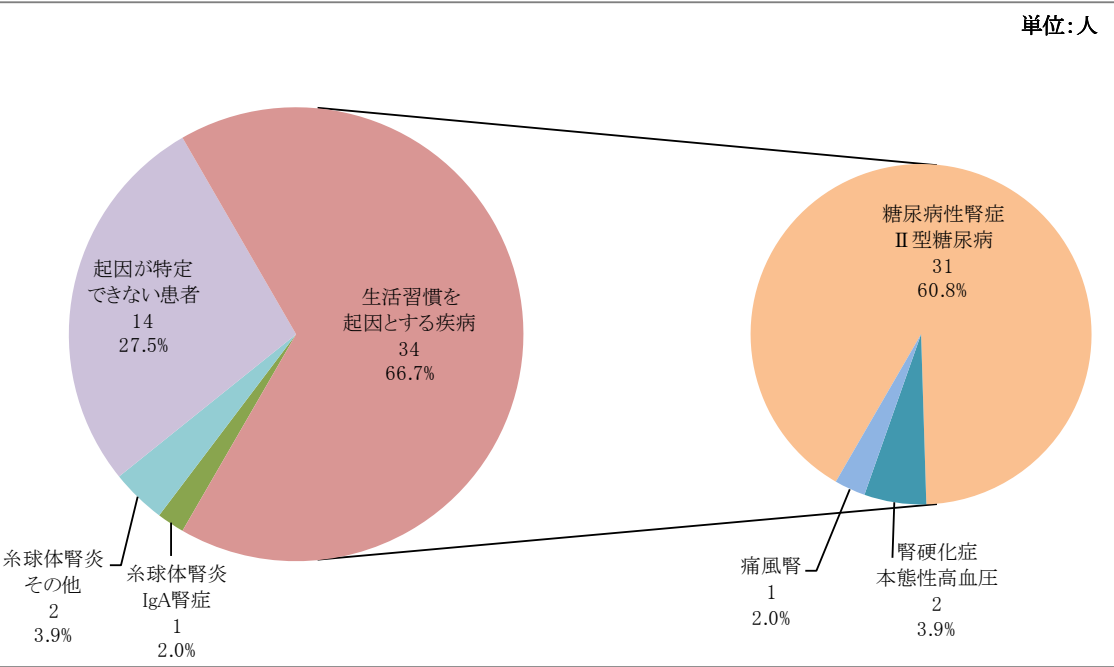
人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、66.7%が生活習慣を起因とするものであり、その60.8%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	50
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	51

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

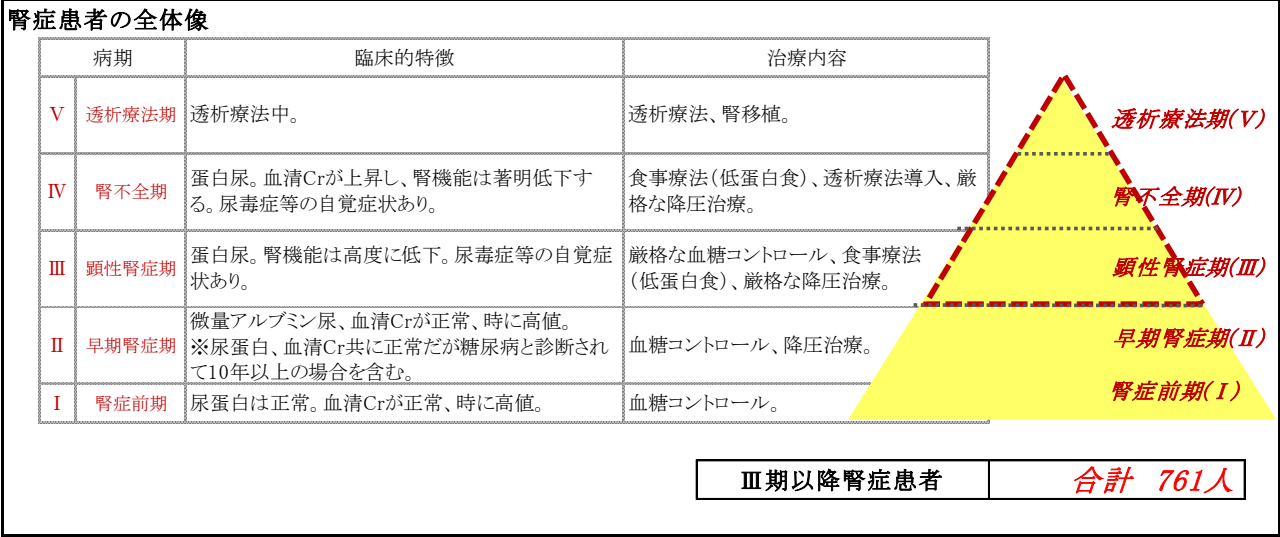


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者761人中248人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

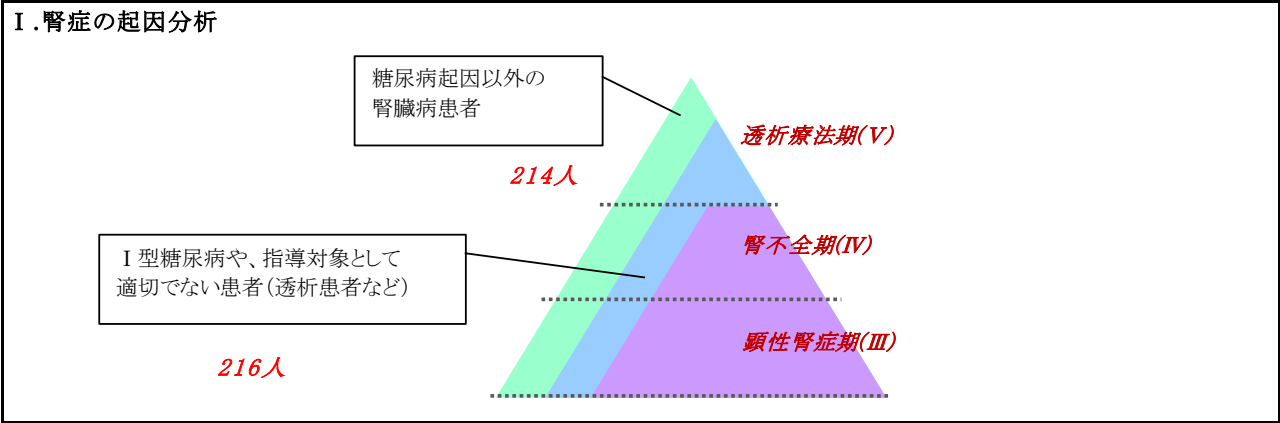
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、214人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、216人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

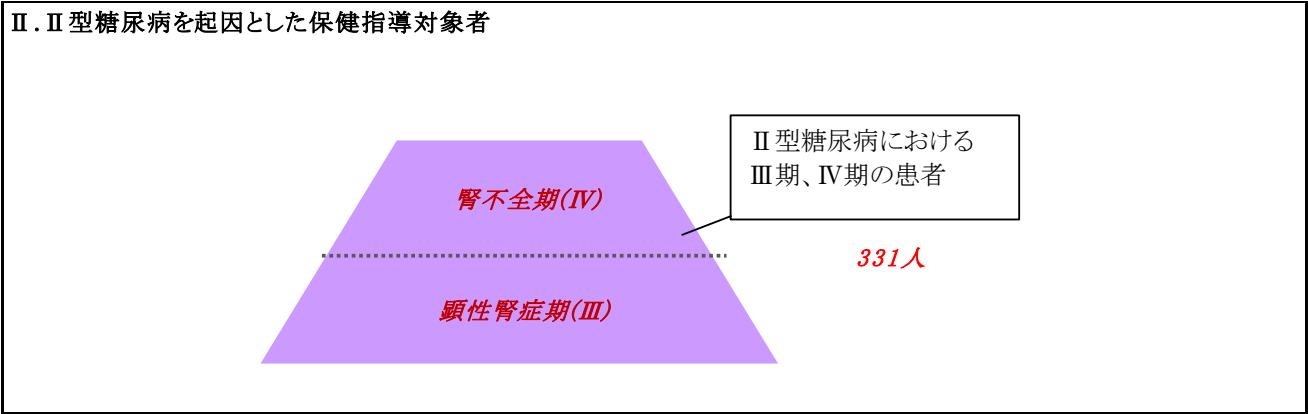
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて331人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

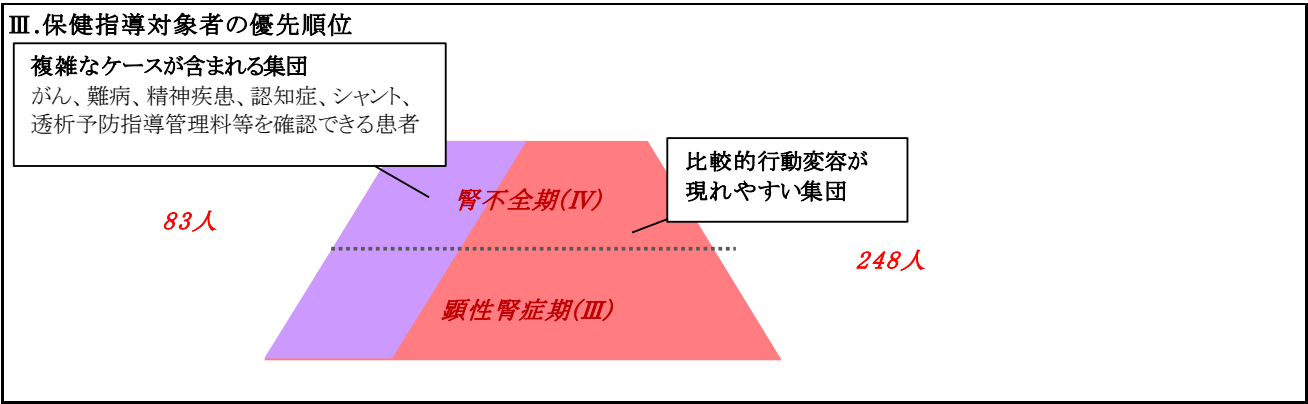


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。331人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、83人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、248人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

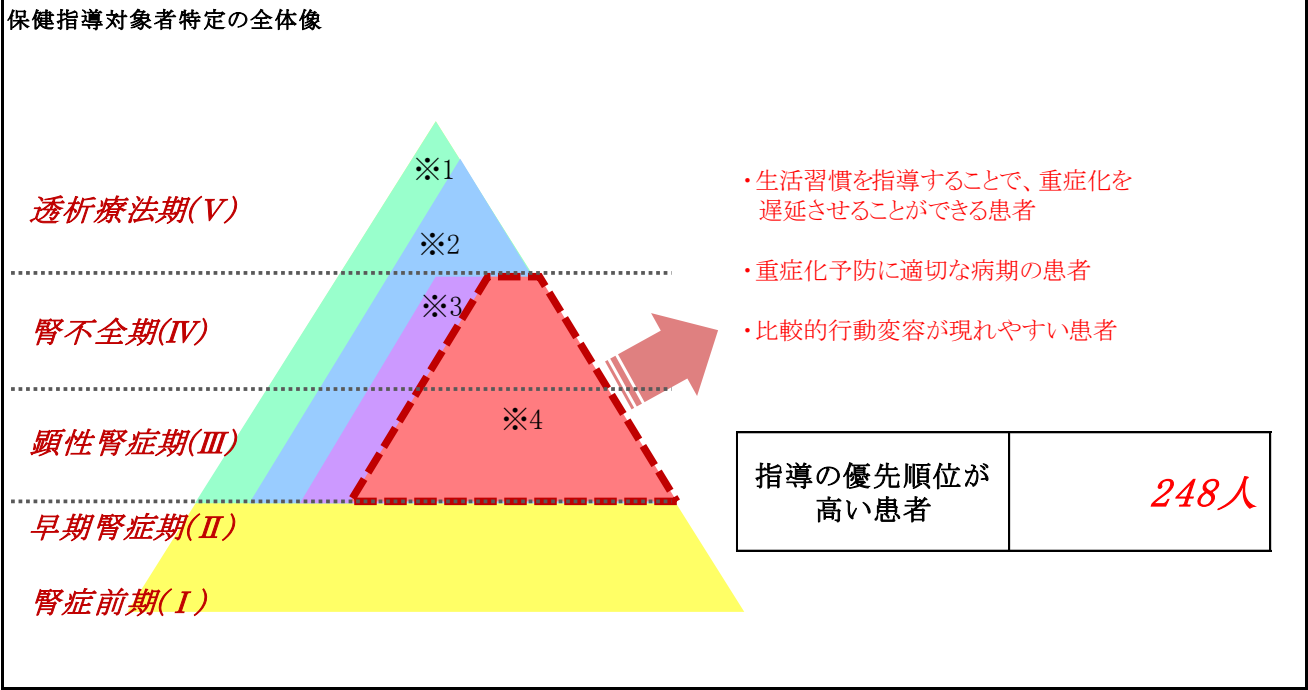
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、248人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。
※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複受診者数(人) ※	18	15	15	14	9	10	16	9	16	8	14	10
12カ月間の延べ人数											154人	
12カ月間の実人数											125人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
頻回受診者数(人) ※	96	91	113	113	84	97	101	106	76	82	68	91
12カ月間の延べ人数											1,118人	
12カ月間の実人数											405人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。
※頻回受診者数…1 カ月間で8回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複服薬者数(人) ※	59	51	41	52	39	36	38	43	56	44	66	54
12カ月間の延べ人数											579人	
12カ月間の実人数											313人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。
※重複服薬者数…1 カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は125人、頻回受診者は405人、重複服薬者は313人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に8回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者	
条件設定により候補者となった患者数	776人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※人工透析
	520人
除外患者を除き、候補者となった患者数	256人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者256人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは20人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 4人	候補者C 0人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 10人	候補者D 1人
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 5人	候補者F 0人
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者	236人	
		60歳以上	50～59歳
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			20人

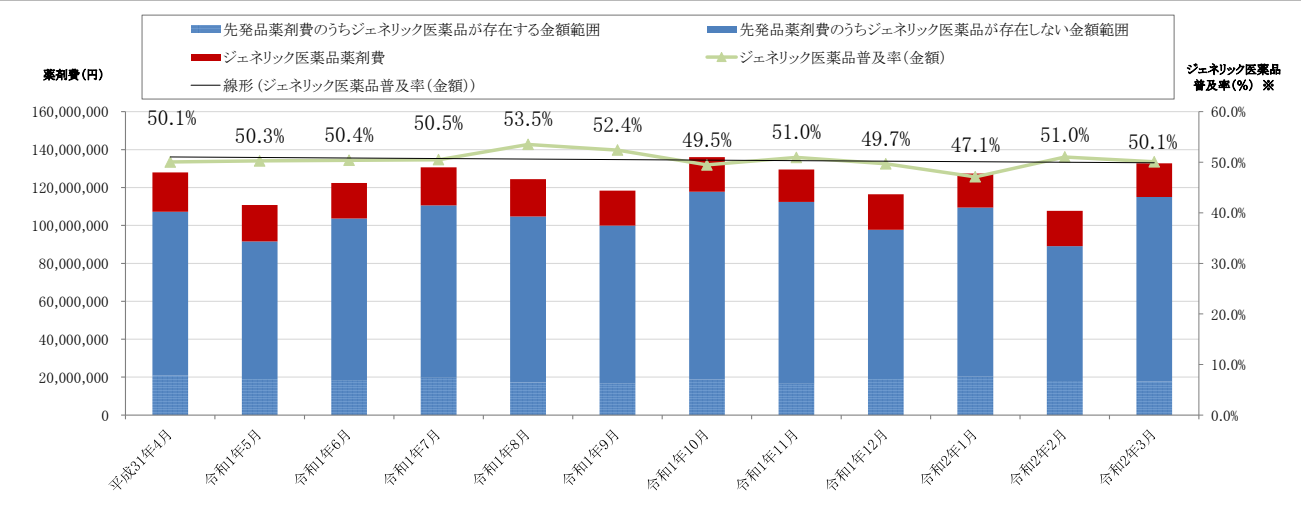
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

(7)ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は50.4%(金額ベース)、77.6%(数量ベース)である。

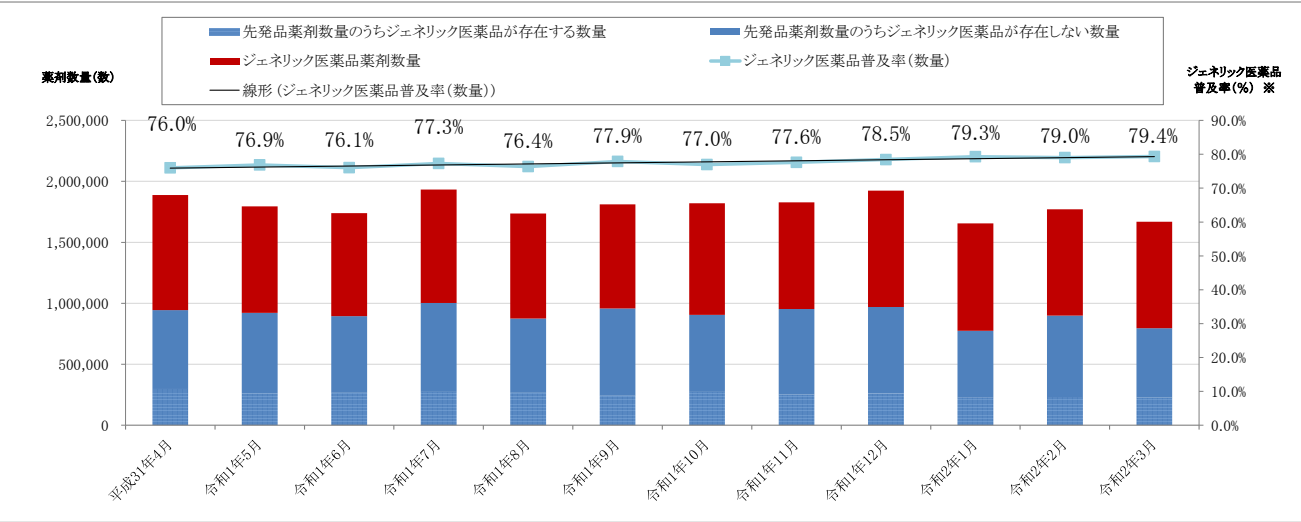
ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

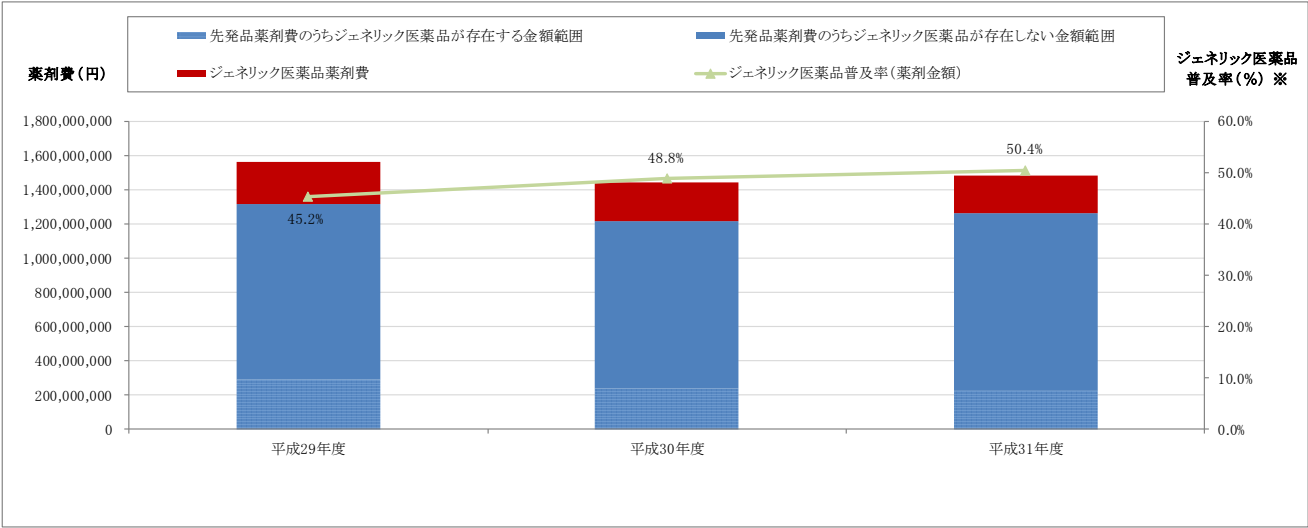


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

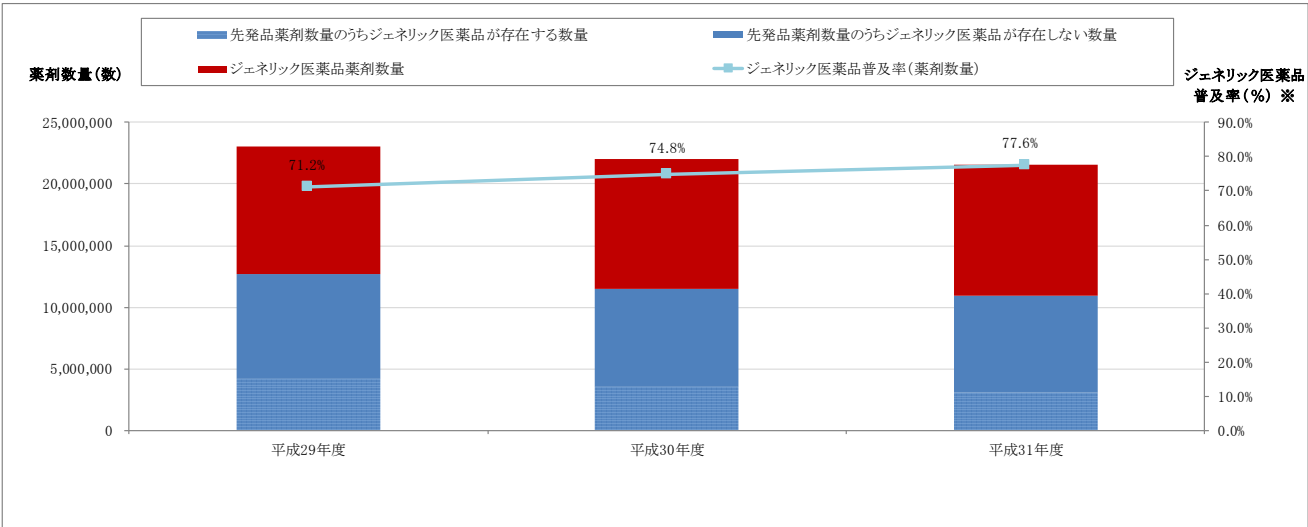
平成29年度から平成31年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成31年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)50.4%は、平成29年度45.2%より5.2ポイント上昇しており、平成31年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)77.6%は、平成29年度71.2%より6.4ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

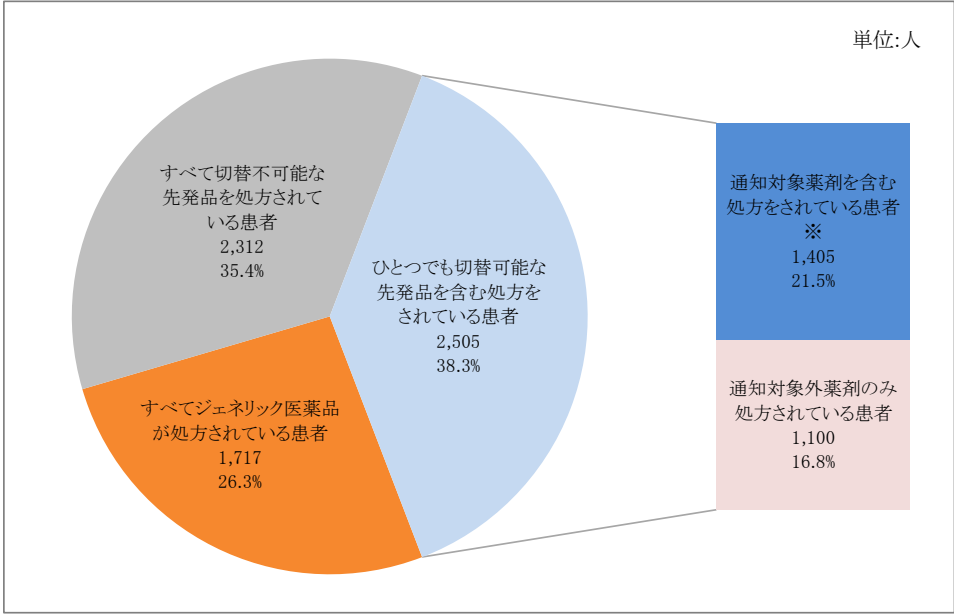
年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、令和2年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は6,534人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,505人で患者数全体の38.3%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,405人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の56.1%を占める。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年3月診療分(1カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方 of のものは含まない)。
※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(8) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は492人、実人数は341人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	41	38	31	34	30	33	48	52	54	62	35	34

12カ月間の延べ人数		492 人
12カ月間の実人数		341 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	341
件数合計(件)	589

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	35
2	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	621975402	リスベリドン内服液1mg/mL「MEEK」 0.1%	31
3	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	23
4	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	21
5	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	21
6	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620005604	リスベリドン錠1mg「アメル」	20
7	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	20
8	内服	612120303	タンボコール錠50mg	内服	622093301	ベタニス錠50mg	18
9	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	16
10	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	15
11	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	13
12	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	13
13	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	12
14	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	12
15	内服	622521001	ミチグリニドCa・OD錠10mg「三和」	内服	622033001	グリメビル錠0.5mg「NP」	11
16	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	10
17	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	9
18	内服	621220802	スルトブリド塩酸塩錠200mg「ヨシトミ」	内服	622494101	オランザピンOD錠10mg「ファイザー」	9
19	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	8
20	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	8
21	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622426401	アノーロエリブタ30吸入用	8
22	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	7
23	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	6
24	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	6
25	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	5
26	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	622023601	グリメビル錠3mg「JG」	5
27	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムビコートタービュヘイラー60吸入	5
28	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004835	メブチン吸入液0.01%	5
29	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	4
30	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
31	内服	622556901	アセトアミノフェン錠300mg「マルイシ」	内服	622081101	トラムセット配合錠	4
32	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	4
33	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	4
34	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	4
35	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	4
36	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622494101	オランザピンOD錠10mg「ファイザー」	4
37	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004229	ツロブテロールテープ1mg「HMT」	4
38	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622279201	レルベア100エリブタ14吸入用	4
39	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	3
40	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	3
41	内服	620002510	カロナールシロップ2%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	3
42	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	3
43	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	3
44	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
45	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	3
46	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	3
47	内服	621981002	スルトブリド塩酸塩錠50mg「ヨシトミ」	内服	611170727	コントミン糖衣錠25mg	3
48	内服	621981002	スルトブリド塩酸塩錠50mg「ヨシトミ」	内服	621474401	ファモチジン錠10mg「テバ」	3
49	内服	621981002	スルトブリド塩酸塩錠50mg「ヨシトミ」	内服	621807402	リスベリドン錠2mg「ファイザー」	3
50	内服	621981002	スルトブリド塩酸塩錠50mg「ヨシトミ」	内服	620006783	ロナセン錠4mg	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※リストは51件以上省略

(9)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の対象者は734人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層		対象者数(人)								合計
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	
被保険者数(人)		4,142	824	934	893	790	1,518	3,135	3,581	15,817
薬剤種類数	2種類	14	5	4	4	8	12	30	28	105
	3種類	13	4	8	9	7	26	55	59	181
	4種類	24	5	10	7	8	27	54	81	216
	5種類	11	5	3	8	8	21	57	75	188
	6種類	11	5	5	7	7	17	44	79	175
	7種類	7	5	6	5	6	15	30	72	146
	8種類	5	2	3	2	1	7	39	53	112
	9種類	3	6	4	4	7	11	14	38	87
	10種類	4	4	2	5	1	8	18	27	69
	11種類	0	0	1	2	1	10	14	21	49
	12種類	2	1	1	0	4	6	8	14	36
	13種類	0	0	2	2	0	3	1	4	12
	14種類	0	0	0	0	2	1	2	7	12
	15種類	0	0	1	0	1	0	1	4	7
	16種類	1	0	0	0	0	1	2	9	13
	17種類	0	1	1	0	1	1	0	3	7
	18種類	1	0	1	0	0	0	0	3	5
	19種類	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	20種類	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	21種類以上	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計		96	43	52	55	63	168	369	578	1,424



長期多剤服薬者数(人) ※	734
------------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4ヵ月分)。
長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。
※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

また、長期多剤服薬者734人が被保険者全体に占める割合は4.6%、長期服薬者全体に占める割合は51.5%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	4,142	824	934	893	790	1,518	3,135	3,581	15,817
B	長期服薬者数(人)※	96	43	52	55	63	168	369	578	1,424
C	長期多剤服薬者数(人)※	34	24	27	27	32	82	173	335	734
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合 (%)	0.8%	2.9%	2.9%	3.0%	4.1%	5.4%	5.5%	9.4%	4.6%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合 (%)	35.4%	55.8%	51.9%	49.1%	50.8%	48.8%	46.9%	58.0%	51.5%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。
※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。
※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

(10)COPD患者の実態

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通り示す。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。一方、常総市国民健康保険の被保険者を対象に平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は190人であった。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、常総市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は3,800人程度と想定する。

COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
常総市国民健康保険被保険者	190人 内訳: 男性140人 (74%) 女性50人 (26%)	推定3,800人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

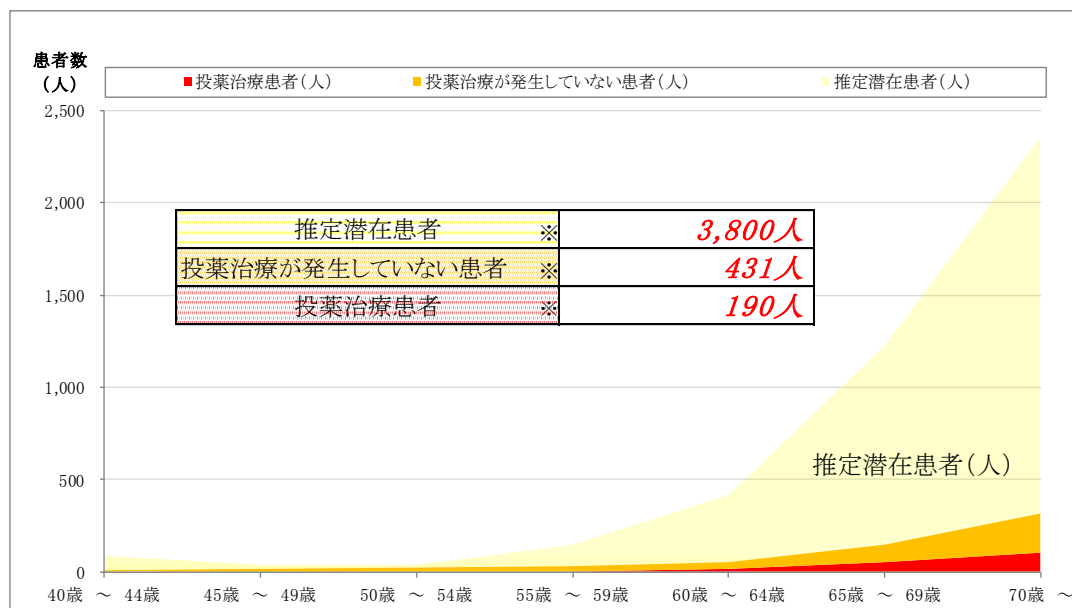
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数、性・年齢階層×傷病小分類別)

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001141596(アクセス日:令和2年3月31日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, Respirology. 2004Nov;9(4):458-65

以下の通り、COPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

また、COPD患者全体621人の医療費を分析したところ、以下の通りとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は98万円程度、このうちCOPD関連の医療費が5万円程度、COPD関連以外の医療費が94万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎に見ると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

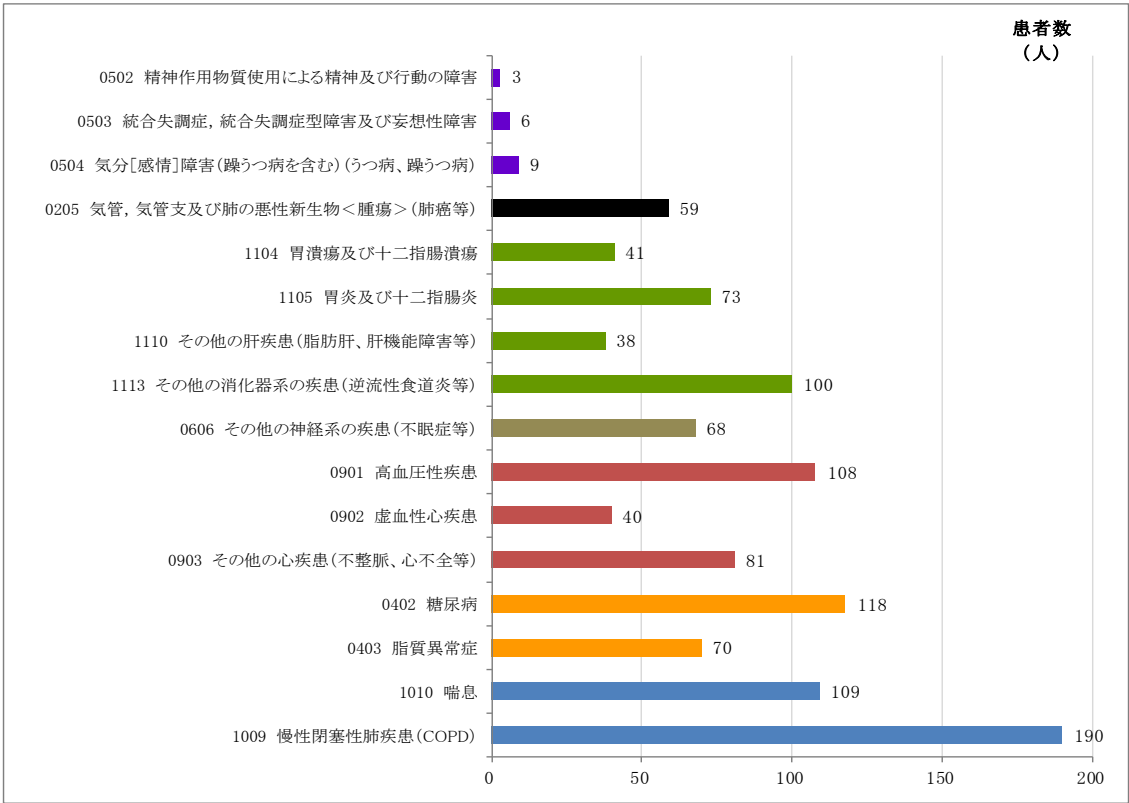
COPD患者の医療費平均

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	984,973
COPD関連	49,623
COPD関連以外	935,350

データ化範囲(分析対象)
…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者190人が併存している疾患を以下の通り示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは190人のうち31.1%の59人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの全身併存症		肺の合併症
●全身性炎症	●骨粗鬆症	●喘息
●骨格筋機能障害・サルコペニア・フレイル	●心・血管疾患	●肺がん
●消化器疾患	●不安・抑うつ	●気腫合併肺線維症
●代謝性疾患		
●閉塞性睡眠時無呼吸 (obstructive sleep apnea ; OSA)		

出典：日本呼吸器学会COPDガイドライン第5版作成委員会「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン2018[第5版]」
ISBN: 978-4-7792-2074-6

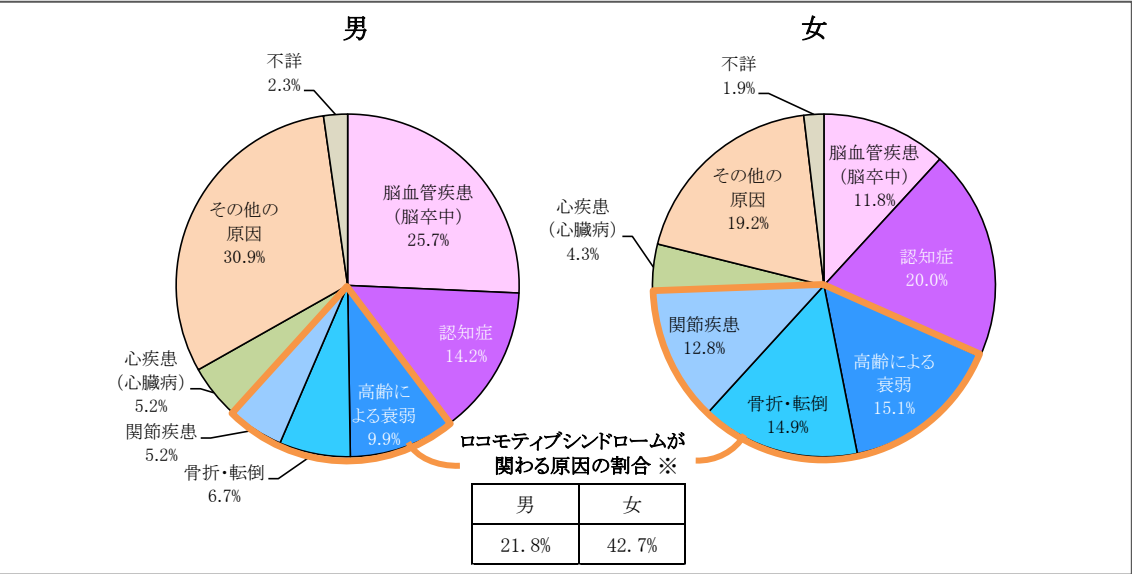
(11)ロコモティブシンドロームの実態

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

●ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年
※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総 数	認知症	18.0	脳血管疾患(脳卒中)	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援1	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患(脳卒中)	11.5
要支援2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患(脳卒中)	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護1	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患(脳卒中)	11.9
要介護2	認知症	22.8	脳血管疾患(脳卒中)	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護3	認知症	30.3	脳血管疾患(脳卒中)	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護4	認知症	25.4	脳血管疾患(脳卒中)	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

●ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

常総市国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

I.条件設定による指導対象者の特定

原因疾患のレセプトが存在し、候補者となった患者数

3,101人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

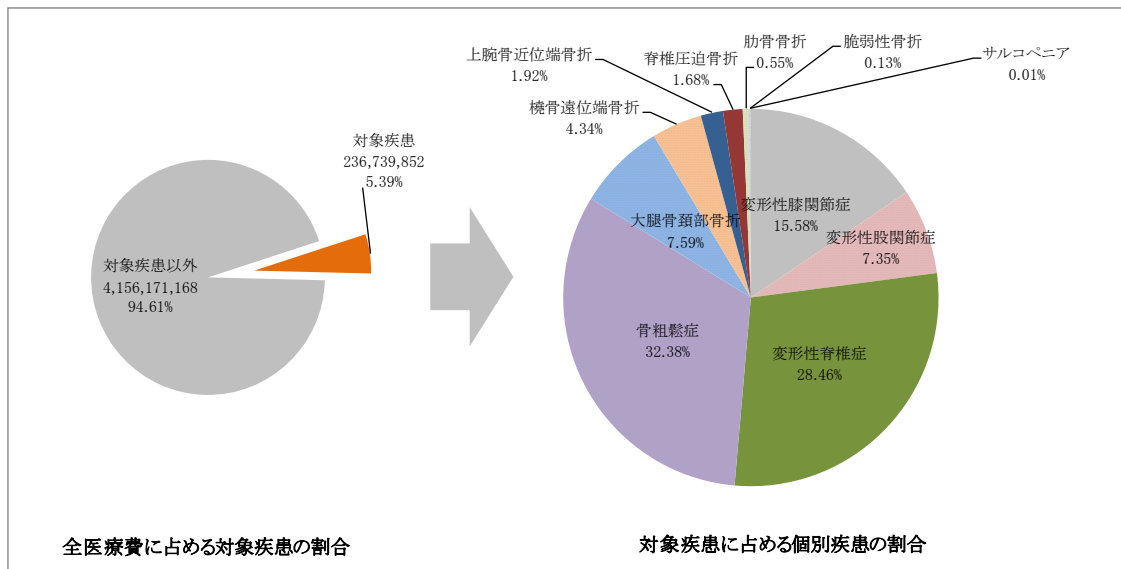
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約5.39%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



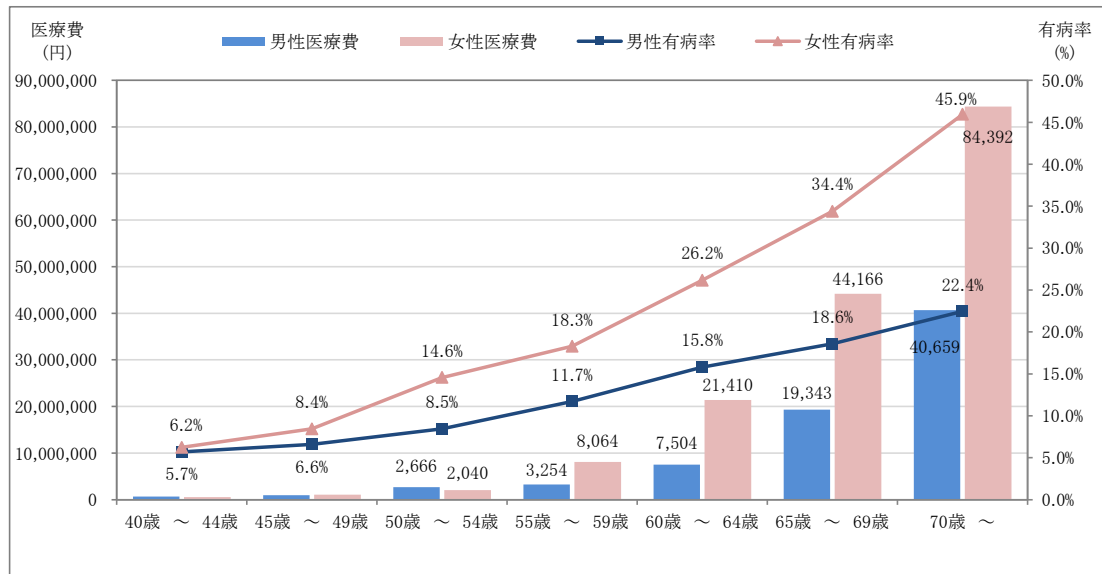
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大している。特に女性が多いため、女性への対策を図ることがロコモティブシンドローム原因疾患医療費削減に有効と考えられる。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)における分析結果と平成29年度から平成31年度における分析結果を以下にまとめた。

常総市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

①疾病大分類

【平成31年度】

医療費では循環器系の疾患が2位、内分泌、栄養及び代謝疾患が3位、患者数では内分泌、栄養及び代謝疾患が2位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物は医療費が1位であった。患者一人当たり医療費の1位が周産期に発生した病態、3位が精神及び行動の障害であった。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費が高い疾病		構成比
1位	新生物＜腫瘍＞	15.9%
2位	循環器系の疾患	15.2%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	10.1%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	8,009人
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	7,344人
3位	消化器系の疾患	7,315人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	435,715円
2位	新生物＜腫瘍＞	189,165円
3位	精神及び行動の障害	159,685円

【平成29年度～平成31年度】

大分類で医療療費が高い疾病を3年度で見ると、上位2疾病は新生物、循環器系の疾患であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成29年度	1位	循環器系の疾患	16.3%
	2位	新生物＜腫瘍＞	13.1%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%
平成30年度	1位	循環器系の疾患	16.8%
	2位	新生物＜腫瘍＞	13.5%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.8%
平成31年度	1位	新生物＜腫瘍＞	15.9%
	2位	循環器系の疾患	15.2%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	10.1%

②疾病中分類

【平成31年度】

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、高血圧性疾患が患者数で1位、糖尿病が医療費で2位、患者数で2位であった。また、生活習慣病が起因となる疾病では、腎不全が患者一人当たりの医療費で3位であった。

医療費が高い疾病		構成比
1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	6.3%
2位	糖尿病	5.6%
3位	その他の心疾患	4.6%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	5,329人
2位	糖尿病	5,155人
3位	その他の消化器系の疾患	4,655人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	726,033円
2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	683,018円
3位	腎不全	565,257円

【平成29年度～平成31年度】

中分類で医療費が高い疾病を3年度でみると、平成29年度の1位は高血圧性疾患、2位は糖尿病、3位はその他の悪性新生物であった。平成30年度の1位は糖尿病、2位はその他の悪性新生物、3位はその他の心疾患で、平成31年度は1位と2位が入れ替わっている。

医療費が高い疾病			構成比
平成29年度	1位	高血圧性疾患	5.4%
	2位	糖尿病	5.3%
	3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	4.8%
平成30年度	1位	糖尿病	5.4%
	2位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	5.4%
	3位	その他の心疾患	5.0%
平成31年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	6.3%
	2位	糖尿病	5.6%
	3位	その他の心疾患	4.6%

③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、平成29年度は0.6%で、平成30年度と平成31年度は0.7%であった。医療費全体における割合では、平成29年度は30.3%、平成30年度は33.3%、平成31年度は33.9%で、医療費割合は増えている。

平成29年度	高額レセプト件数	1,481件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	30.3%
平成30年度	高額レセプト件数	1,511件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	33.3%
平成31年度	高額レセプト件数	1,537件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	33.9%

高額レセプトの患者一人当たりの医療費の高い疾病では、貧血が3年連続で1位であった。くも膜下出血が平成29年度に4位、平成31年度に2位と上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者数	患者一人当たりの 医療費
平成 29 年度	1位	貧血	3人	15,530,893円
	2位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2人	9,589,820円
	3位	血管性及び詳細不明の認知症	1人	9,084,860円
	4位	くも膜下出血	3人	7,564,680円
	5位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1人	7,088,230円
平成 30 年度	1位	貧血	3人	20,590,407円
	2位	白血病	2人	10,356,775円
	3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4人	8,254,983円
	4位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1人	7,412,300円
	5位	その他の脊柱障害	4人	5,678,535円
平成 31 年度	1位	貧血	2人	33,064,910円
	2位	くも膜下出血	1人	16,889,990円
	3位	真菌症	2人	10,060,435円
	4位	心臓の先天奇形	1人	9,942,750円
	5位	白血病	2人	9,211,665円

高額レセプトが発生している患者数の多い疾病では、3年連続でその他の悪性新生物が1位であり、1位から4位まで変動はなかった。骨折は、患者数は増えているが、患者一人当たりの医療費は減っている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)			患者数	患者一人当たりの 医療費
平成 29 年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	68人	3,103,970円
	2位	その他の心疾患	43人	3,714,634円
	3位	骨折	33人	2,618,163円
	4位	虚血性心疾患	31人	3,029,499円
	5位	その他の消化器系の疾患	29人	1,929,419円
平成 30 年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	76人	3,197,476円
	2位	その他の心疾患	54人	3,327,686円
	3位	骨折	38人	2,564,396円
	4位	虚血性心疾患	35人	2,961,722円
	5位	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	25人	1,839,706円
	5位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	25人	2,761,568円
平成 31 年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	79人	3,719,502円
	2位	その他の心疾患	46人	3,022,416円
	3位	骨折	45人	2,191,274円
	4位	虚血性心疾患	30人	2,251,419円
	5位	関節症	29人	2,801,182円

④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成31年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、健診異常値を放置している人は582人、生活習慣病の治療を中断している人は73人、生活習慣病の状態不明者は4,097人であった。

健診異常値放置者	582人
生活習慣病治療中断者	73人
生活習慣病状態不明者	4,097人

⑤人工透析患者の実態

平成31年度のレセプトデータより、人工透析患者は51人いた。そのうち、31人がⅡ型糖尿病が起因であった。

人工透析患者	51人
（うちⅡ型糖尿病起因患者）	31人

⑥医療機関受診状況

平成31年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が125人、頻回受診者が405人、重複服薬者が313人にいた。また、服薬に問題のある薬剤併用禁忌対象者は341人、長期多剤服薬者は734人いた。

重複受診者	125人
頻回受診者	405人
重複服薬者	313人
薬剤併用禁忌対象者	341人
長期多剤服薬者	734人

⑦ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成29年度が71.2%、平成30年度が74.8%、平成31年度が77.6%であった。直近の令和2年3月の普及率は、79.4%である。

※2020年度末までに普及率80%目標/厚生労働省

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ジェネリック医薬品 普及率	71.2%	74.8%	77.6%

⑧COPD患者の実態

平成31年度のレセプトデータより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の投薬治療がある患者は190人、投薬はまだないが病名があるものが431人いた。潜在患者は3,800人いると考えられる。

投薬治療患者	190人
投薬治療が発生していない患者	431人
推定潜在患者	3,800人

⑨ロコモティブシンドロームの実態

平成31年度のレセプトデータより、ロコモティブシンドロームの原因疾患を持つ40歳以上は、3,101人いた。

ロコモの原因疾患を持つ患者	3,101人
---------------	--------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題
・医療費及び有病率は減少傾向がみられるが、レセプト一件当たりの医療費は増加傾向がみられる。
・高額(5万点以上)レセプトに注目した際、12ヶ月平均の総レセプト件数に占める高額レセプトの割合:0.7%に対し、総医療費に占める高額レセプトの割合:33.9%である
・高額レセプト件数及び総レセプト件数に占める高額レセプトの割合、総医療費に占める高額レセプトの割合が上昇傾向である
・高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)に注目した際、骨折(大腿骨頸部骨折)が毎年上位に出ている
・大分類による医療費に注目した際、循環器系、内分泌・栄養及び代謝疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患が課題であることが読み取れる
・循環器系の疾患の中でも、高血圧性疾患の患者数が構成比として高く、関連疾病として、その他の疾患(Ex, 心不全・不整脈)の医療費が高くなっていることが推測される
・また、高血圧性疾患及び脂質異常の患者数が構成比として高いため、糖尿病の患者数も構成比として高くなっていることが推測される
・「透析」に関する診療行為が行われている患者数51名の内、60.8%の31名がⅡ型糖尿病である
・頻回受診及び重複服薬の実人数が、重複受診と比べて大きく差が出ていることが読み取れる
・多剤に注目した際、21種類以上の薬剤を処方されている対象者が1名いるため、重複服薬に関連していることが推測される
・また、長期服薬者数に占める長期多剤服薬者割合が51.5%であり、長期服薬者の半数以上が多剤に該当していることが読み取れる
・ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費に注目した際、骨粗しょう症関連(骨粗しょう症:32.38%、大腿骨頸部骨折:7.59%、脊椎圧迫骨折:1.68%)の割合が高いことが読み取れる



上記踏まえ、今後必要と思われる事業は以下：

- 骨粗しょう症対策
- 糖尿病性腎症重症化予防指導
- 多剤対策
- 情報提供制度(特定健康診査受診率の向上)

5. 保健事業実施計画

(1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名		事業目的	事業概要
特定健診にかかわる事業	特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
	医療機関特定健診の充実		集団検診以外での、特定健診を受診する機会の充実に図る。
	ドック検診		30歳以上のドック検診利用者に対して検診費用の助成を実施し、特定健診の受診機会の充実に図る。
特定保健指導事業		被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
若年者健診事業 (生活習慣病の一次予防に重点を置いた取り組み)		健診受診の意識付け及び生活習慣病予防	30歳代の国民健康被保険者を対象に、特定健康診査に準ずる健康診査を実施する。
健康づくり事業 (ポピュレーションアプローチ)		生活習慣病等の知識普及啓発	生活習慣病予防及び生活習慣改善に取り組める意識・意欲の向上を図るために、健康教室等の開催及び健康情報の提供をする。
生活習慣病予防対策事業		特定健診後の未治療者や治療中断者等への医療機関受診勧奨	特定健診結果で、生活習慣病有所見者の未治療者及び治療中断者への受診勧奨及び指導を実施する。
糖尿病性腎症重症化予防事業		糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるよう専門職より対象者個人におおよそ6カ月間の面談指導と電話指導等のかかりつけ医と連携しながら行う。
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)		重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

実施内容	ストラクチャー	目標値	
		アウトプット	アウトカム
平成30年度～令和5年度			
対象者を選定し、各階層毎の内容別に応じた受診勧奨を実施する。医療機関と連携をとり、治療中の人への検診受診勧奨を積極的に実施する。	保健推進課 健康保険課	対象者へのあらゆる方法での情報提供を実施することにより、周知徹底を継続する。地区別の受診率データを活用し、受診率の低い地域への受診勧奨を強化する。	特定健康診査受診率は当初の中間目標35%を達成したので、今後は順次増加を目指す（最終目標60%）。
関係機関と連携し、個別契約の医療機関数を増やす。	保健推進課 健康保険課	対象者への周知の徹底 医療機関への協力依頼	
30歳以上の被保険者のドック検診利用者に検診費用の助成を実施する。	保健推進課 健康保険課	特定健診受診の機会の拡大 医療機関への協力依頼	
特定健診の結果から、動機付け支援及び積極的支援に階層化された者に対して、自らが特定健診の結果を理解し、生活習慣改善のための行動目標を設定し、実践できるよう支援する。	保健推進課	対象者へあらゆる方法でアプローチすることで対象者の保健指導の必要性認識を向上し、生活習慣病予防に努める。	特定保健指導率は当初の中間目標25%を達成したため、今後は順次増加を目指す（最終目標60%）。
30歳代の国民健康保険被保険者を対象に、健診受診の意識づけをし、更に保健指導を実施することにより、健康意識の向上及び生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療を目的に実施する。	保健推進課 健康保険課	対象者への受診通知は 100%実施できていることから、未受診者に対し、再勧奨、再々勧奨を行い受診増を図る。 また、対象が就労世代であることから休日健診の機会の拡大を図る。	受診者数を増加させる。
①生活習慣病予防対策として、高血圧や糖尿病等の講演会や健康相談を実施する。 ②高血圧予防対策として、関連各課及び団体と協力し、栄養及び運動教室を数回実施する。 ③①、②の取り組みにより地域の現状を周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援する。	保健推進課 健康保険課 幸せ長寿課	生活習慣病予防のため、関係各課と連携して講演会等各種事業を展開し、参加者数を増加させる。 特に高血圧治療者が多いことから高血圧重症化予防を強化する。	市民自らが率先して健康づくりに取組めるよう支援する。
左記に同じ	保健推進課	未治療者や治療中断者等への受診勧奨は100%を達成しているが、今後は医療機関受診率向上に向けた確なタイミングでの保健指導、受診勧奨を継続する。	対象者の医療機関受診率を増加させる。
指導対象者に対して個人プログラムのもと適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	保健推進課	適切な個人プログラムにより、個人プログラム達成率 40%、生活習慣改善率 50%を達成した。今後は100%に近づくよう継続する。 実施者増に向け医療機関との連携を密にする。	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者を増加させない。
重複・頻回受診者及び重複服薬者に対する訪問指導を実施し、医療費の適正化を図るとともに、被保険者の心身機能の低下防止及び健康の保持増進を図る。	健康保険課	指導対象者の指導実施率 95%	指導対象者のうち、重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少

事業名	事業目的	事業概要
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率 向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の周知を図る	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を確認する。服薬情報の通知や受診行動適正化指導事業と連携した個別指導を行い、服薬状況や副作用の改善を促す。
COPD啓発事業	COPDの認知度の普及 呼吸器疾患予防	COPDの認知度向上を目指し、健診会場で禁煙指導及びチラシ配付や健康講座を実施する。
ロコモティブシン ドローーム予防事業	ロコモティブシン ドローームの啓発と予防	骨折、関節症の治療者が増加傾向にあることから、チラシの配付や健康教室等により、ロコモティブシン ドローームを広く市民に啓発するとともに、シルバークラブでの体操教室等を活用して要介護状態の予防を目指す。

実施内容 平成30年度～令和5年度	ストラクチャー	目標値	
		アウトプット	アウトカム
年2回程度実施。調剤費の自己負担がない公費受給者や服薬の量が増える年代を重点的に通知対象とする。	健康保険課	対象者への通知率 100%	普及率(数量ベース) 80%
SNSや広報誌等、各年代に合わせた啓発活動を行う。個別指導を実施し、副作用の影響を認識させるとともに、医師会、薬剤師会と連携した支援を行う。	健康保険課	広報と個別指導による薬剤併用禁忌、重複・多剤服薬の副作用を周知徹底させる。	薬剤併用禁忌対象者数前年比20%減
健診会場にて禁煙指導とチラシを配付する。健康講座の実施。	保健推進課	呼吸器系の医療費が年々減少していることから、COPD啓発事業も一定の効果があつた。今後も周知活動、健康講座を実施していく。	COPD認知度を高め、呼吸器系疾患を予防する。
健診会場にてチラシの配付をする。健康教室の実施。	保健推進課 健康保険課 幸せ長寿課	ロコモを知っている人の割合を増やす。 関係各課と連携し健康教室、体操教室等を開催しロコモ予防に努める。	特定健診受診者における知っている人の割合を増加させる。 要介護状態への移行増加を抑制する。

(2) 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

< 特定健診にかかわる事業 >

① 特定健康診査未受診者対策事業

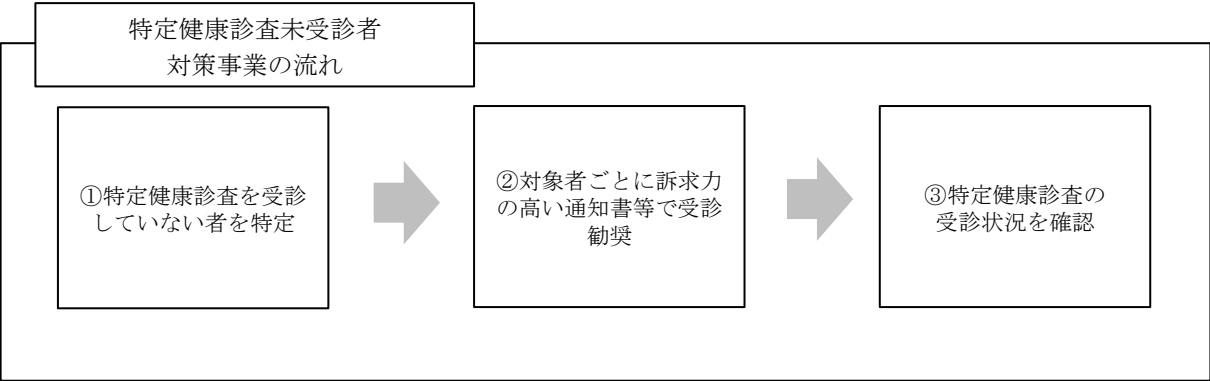
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健診を受診していない人に、健康保持・増進のために健診受診の必要があることおよび生活習慣病予防の観点から健診を受診するように個別通知を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者へのあらゆる方法での情報提供を実施することにより、周知徹底を図る	特定健康診査受診率35% (最終目標60%)	特定健康診査受診率を確認する。

②医療機関特定健診の充実

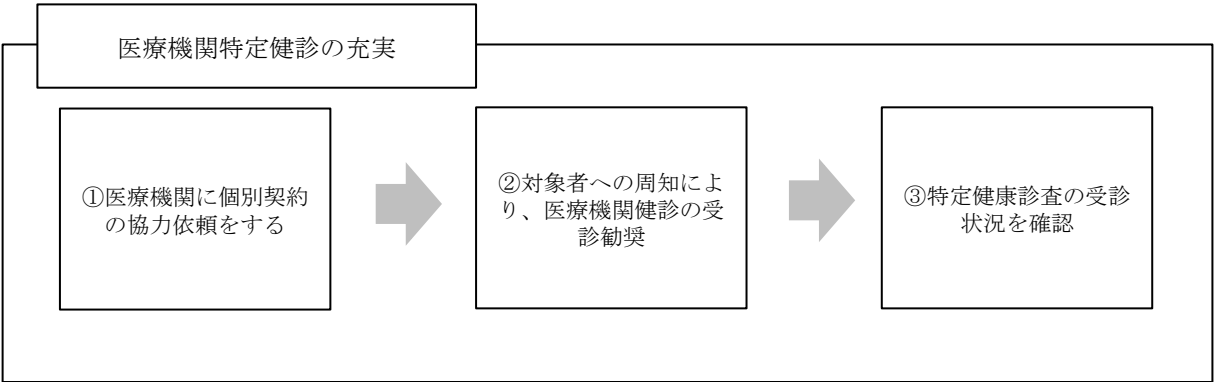
【事業目的】

特定健診受診率の向上

【実施概要】

集団検診以外での、特定健診を受診する機会の充実を図る。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への周知徹底 医療機関への協力依頼	特定健康診査受診率 35% (最終目標60%)	特定健康診査受診率を確認する。

③ドック検診

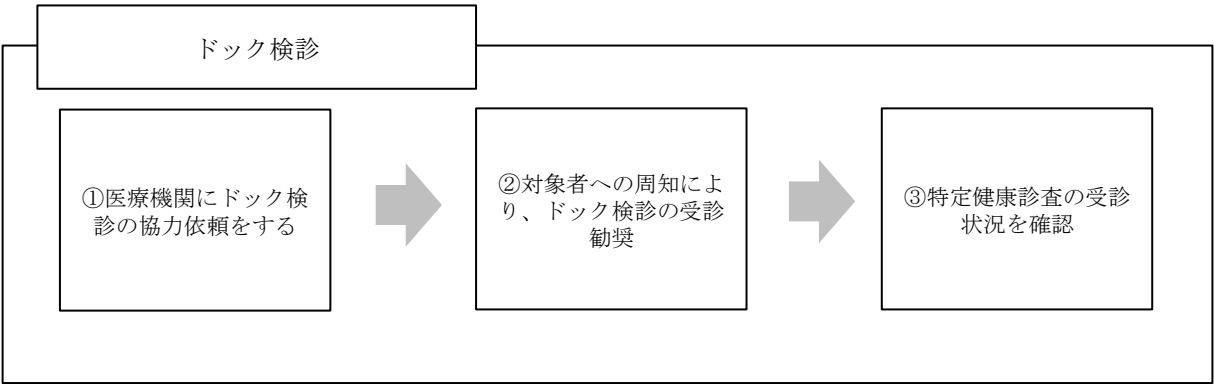
【事業目的】

特定健診受診率の向上

【実施概要】

特定健康診査の受診機会の充実に図るため、30歳以上のドック検診利用の方に、健診費用の助成を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への周知徹底 ドック検診機関への協力依頼	特定健康診査受診率 35%	特定健康診査受診率を確認する。

④特定保健指導事業

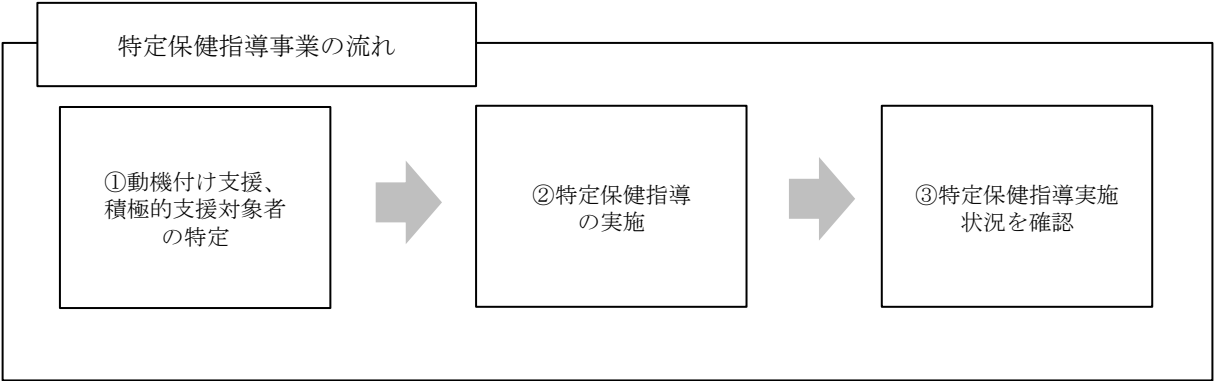
【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者へのアプローチ	特定保健指導率 25% (最終目標60%)	特定保健指導率を確認する。

⑤若年者健診事業（生活習慣病一次予防に重点を置いた取り組み）

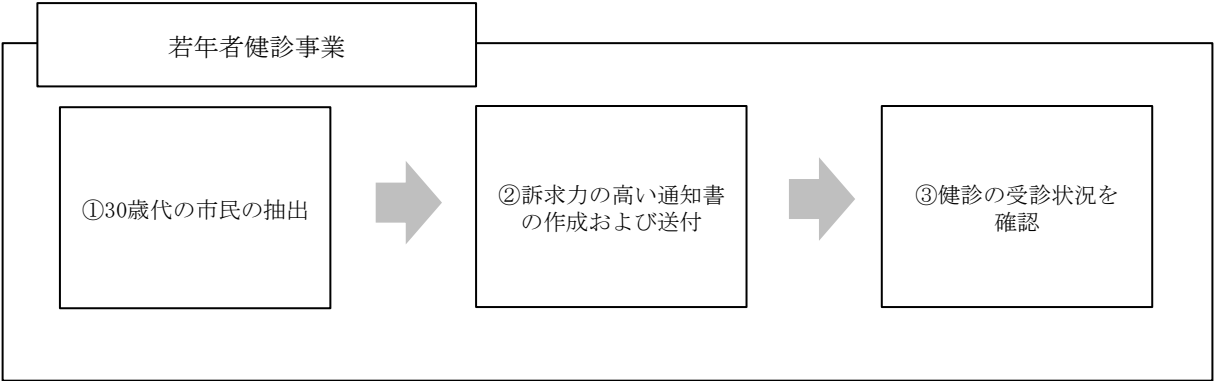
【事業目的】

特定健診の対象者となる前から健診受診の意識づけや定着化を図り、生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療につなげる。

【実施概要】

特定健診前の30歳代の市民を対象に、特定健診に準ずる健康診査を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診券の通知率 100%	健診受診の周知による受診者数の増加	健診終了後の受診者数の確認

⑥健康づくり事業（ポピュレーションアプローチ）

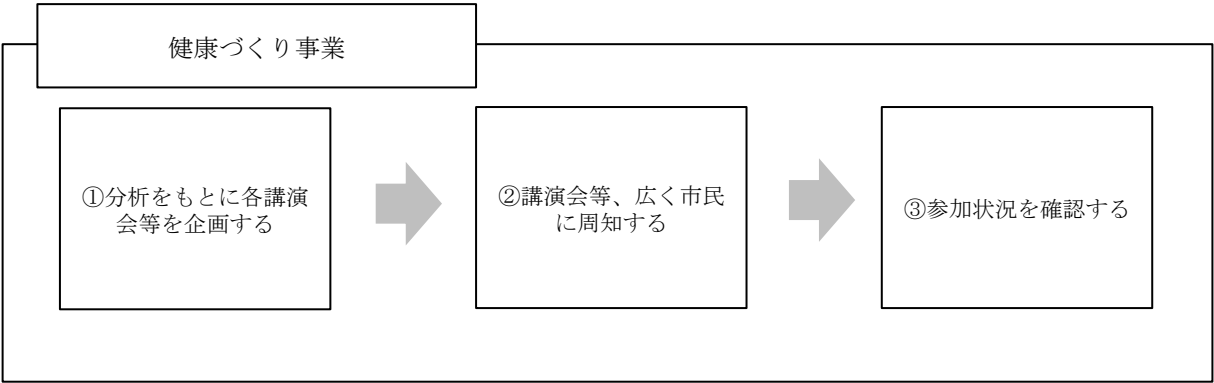
【事業目的】

生活習慣病等について正しい知識の普及

【実施概要】

生活習慣病予防対策や高血圧予防対策として、講演会や関連各課及び団体と協力し、各種事業への参加を促す。それとともに、地域の現状を広報やチラシ等で周知啓発し、市民自らが生活習慣改善に取り組めるよう支援する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
生活習慣病予防のため、教室や講演会等各種事業への参加者を増加させる	健康増進事業へ参加することを支援する	講演会等への参加状況を確認する

⑦生活習慣病予防事業

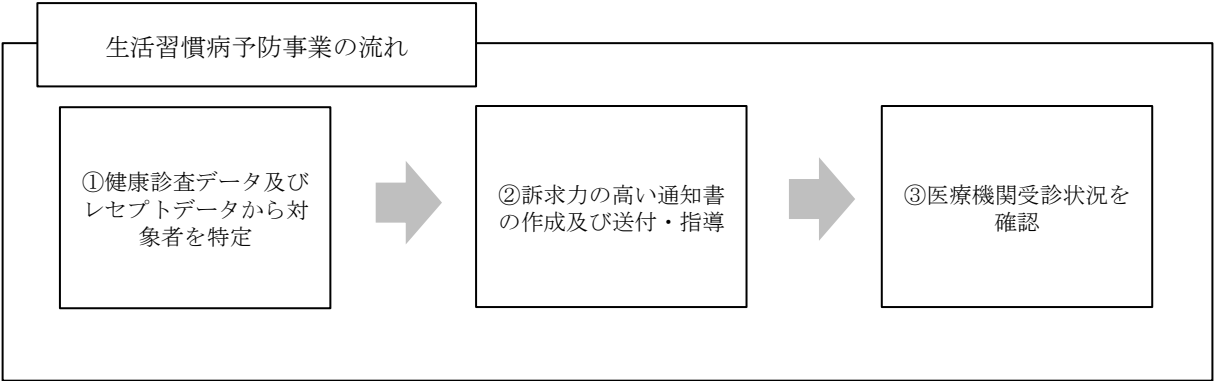
【事業目的】

特定健診後の未治療者や治療中断者等への医療機関受診勧奨

【実施概要】

特定健診後で生活習慣病有所見者の未治療者及び治療中断者への受診勧奨及び指導を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診勧奨知率 100%	医療機関への受診率を増加させる	医療機関受診状況を確認する

⑧糖尿病性腎症重症化予防事業

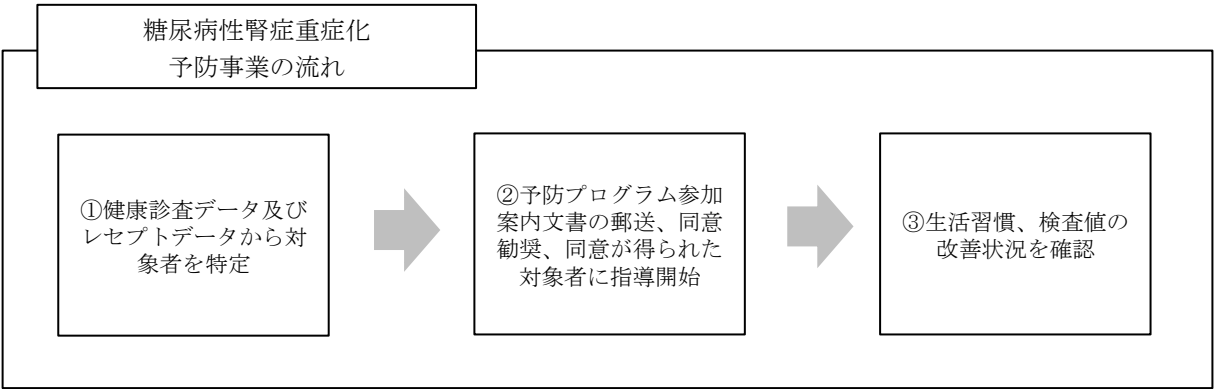
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるよう、かかりつけ医と連携しながら専門職より対象者におおよそ6カ月間の面談指導と電話指導等を行う。また、県の糖尿病対策推進会議等と連携し事業を進める。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
・個人プログラム達成率 40% ・個人プログラム達成者のうちの生活習慣改善率 50%	指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行者を抑制	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する

⑨受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）

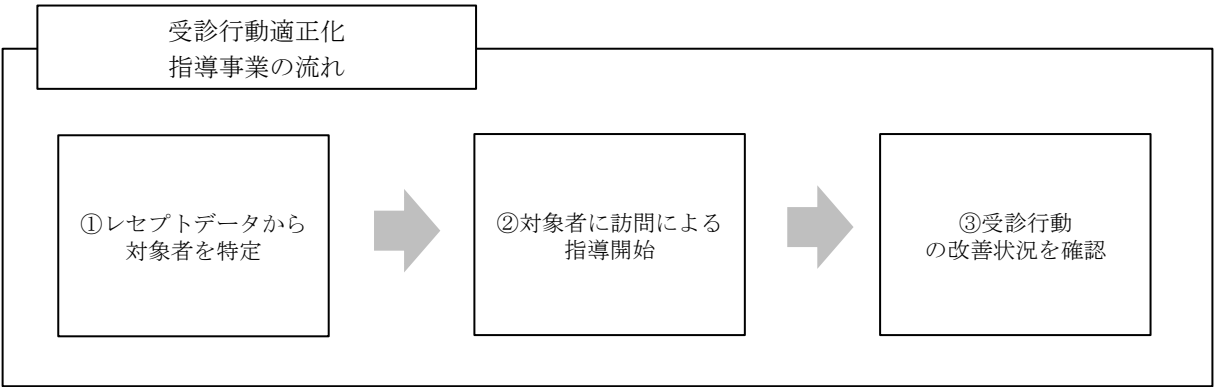
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 80% 以上	指導対象者のうち、重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少	指導後の医療機関受診状況及び服薬状況を確認する

⑩ジェネリック医薬品差額通知事業

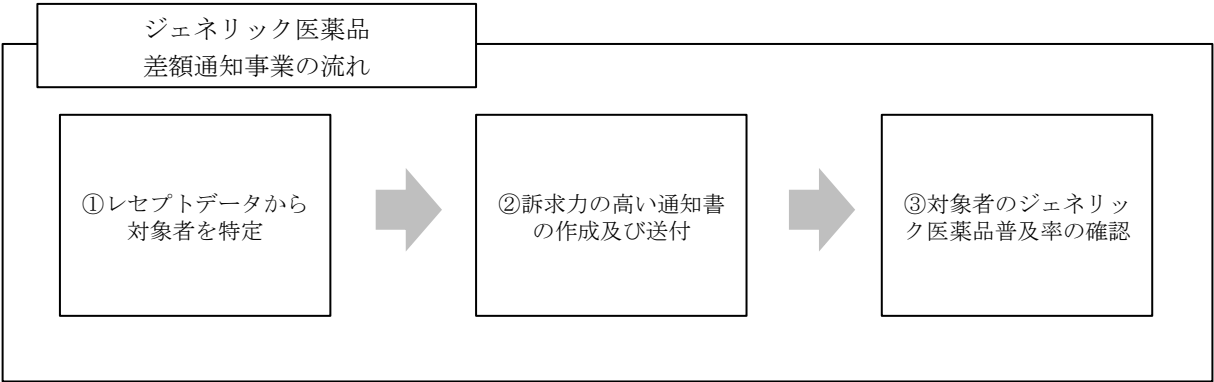
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。年2回程度、通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 20%	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する

⑪薬剤併用禁忌防止事業

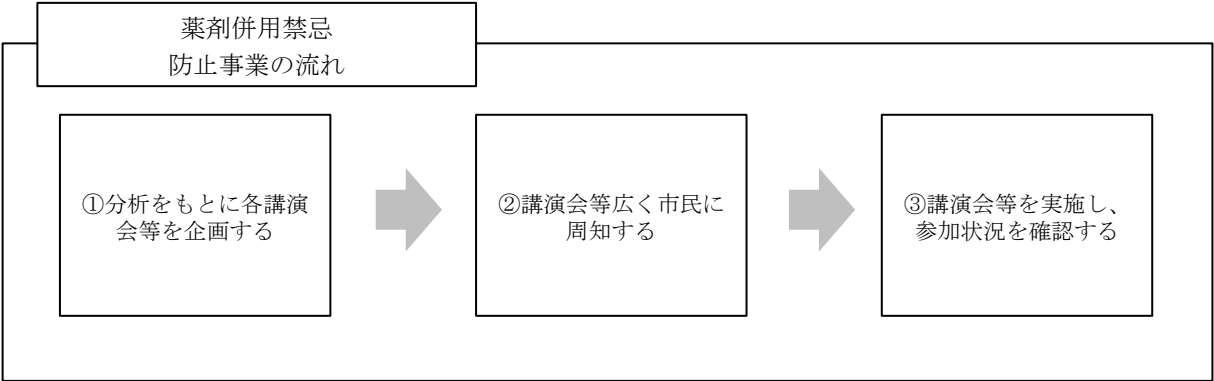
【事業目的】

薬剤併用禁忌の周知を図る。

【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を確認の上、周知方法を検討し、講演会等を開催する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
薬剤併用禁忌のための講演会等を開催し、参加者数を増加させる	薬剤併用禁忌について意識できるよう支援する	講演会参加状況を確認

⑫COPD啓発事業

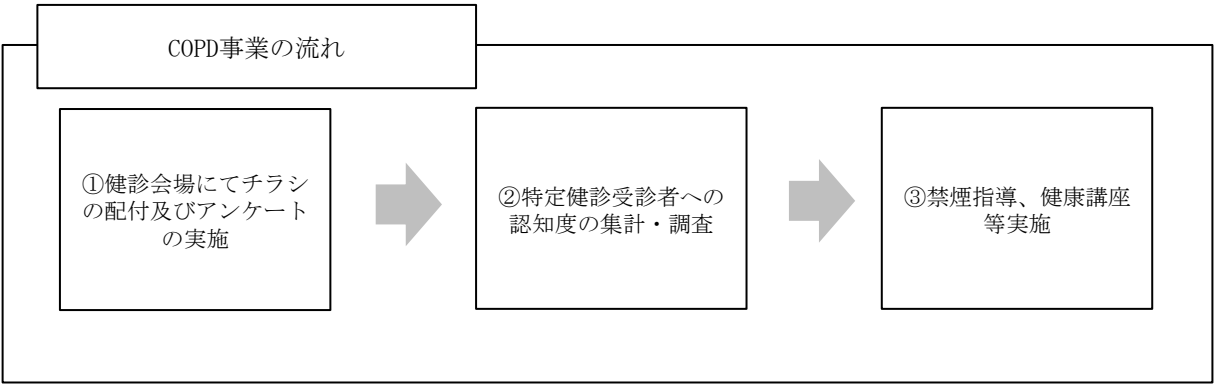
【事業目的】

COPDの認知度の普及

【事業概要】

COPDの認知度向上をめざし、健診会場で禁煙指導及びチラシ配付や健康講座を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
COPDを知っている人の割合	知っている人の割合を増加させる	特定健診受診者の認知度を確認する

⑬ロコモティブシンドローム予防事業

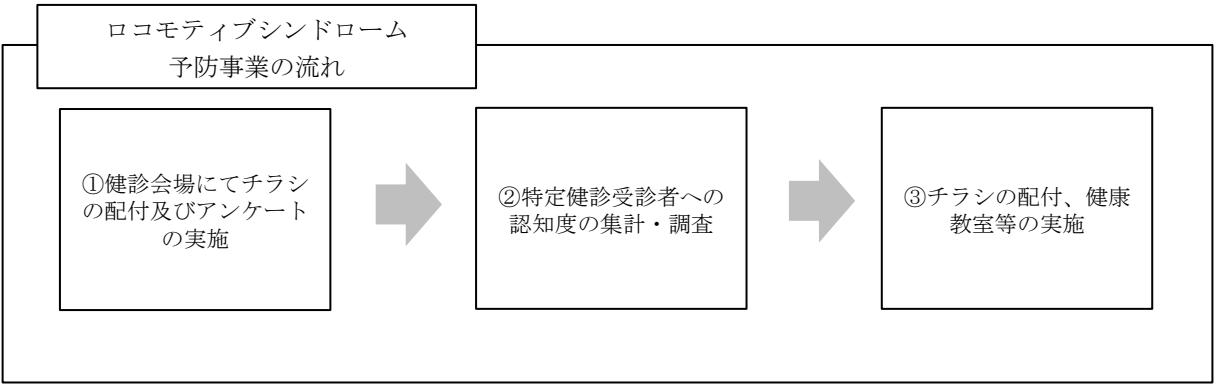
【事業目的】

ロコモティブシンドロームの啓発と予防

【事業概要】

要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

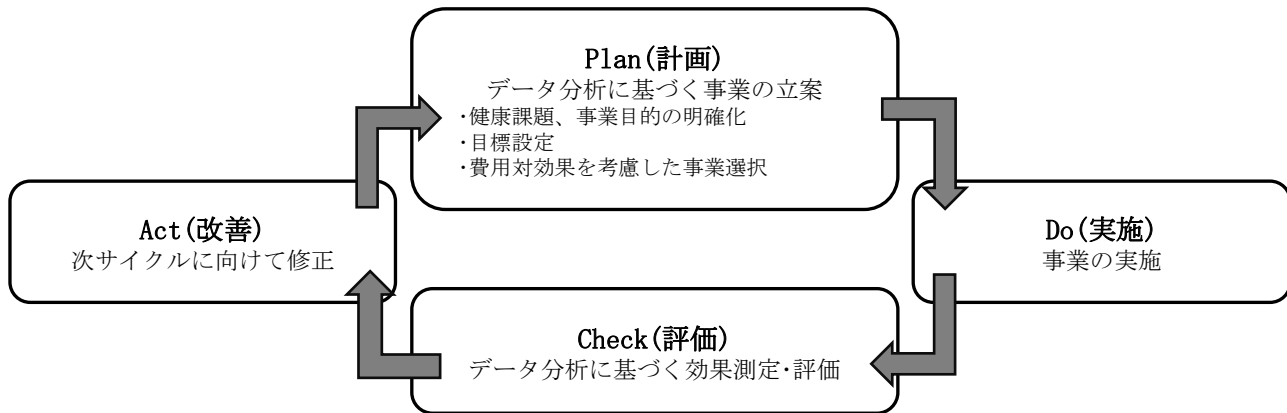
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
ロコモを知っている人の割合	知っている人の割合を増加させる	特定健診受診者へ認知度を確認する

6. その他

(1) データヘルス計画の見直し

① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

(2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

(3) 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、一般衛生部門等との連携が重要になる。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は一般衛生部門との連携により事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護部門と連携する。

(4) 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

(5) 地域包括ケアに係る取り組み及びその他留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、福祉サービス等を総合的、包括的に提供するため地域包括ケアの充実を図り、介護・福祉部門全般と連携する。また、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

卷末資料

1. 地区分析
2. 年度別 特定健康診査結果分析
3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方
4. 用語解説集
5. 疾病分類
6. 分析方法

■データ分析期間

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)
平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)
平成31年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

1. 地区分析

(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【水海道】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,739,293	2.7%	13	2,837	10	751	7	27,616	16
II. 新生物<腫瘍>	119,675,582	15.7%	1	2,828	11	666	10	179,693	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	78,340,753	10.3%	3	1,346	14	326	15	240,309	2
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	77,766,728	10.2%	4	10,800	2	1,153	2	67,447	9
V. 精神及び行動の障害	42,702,113	5.6%	9	4,145	7	355	14	120,288	5
VI. 神経系の疾患	34,938,559	4.6%	10	6,164	6	555	11	62,952	11
VII. 眼及び付属器の疾患	29,286,760	3.8%	11	2,774	12	760	6	38,535	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,716,124	0.4%	18	899	16	251	16	10,821	19
IX. 循環器系の疾患	90,943,361	11.9%	2	11,812	1	1,045	4	87,027	7
X. 呼吸器系の疾患	50,453,336	6.6%	6	7,727	4	1,297	1	38,900	13
X I. 消化器系の疾患	※ 43,571,582	5.7%	8	9,044	3	1,101	3	39,575	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,372,655	1.8%	14	3,738	8	745	8	17,950	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	63,043,756	8.3%	5	7,436	5	905	5	69,662	8
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	48,523,436	6.4%	7	2,773	13	547	12	88,708	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	※ 2,795,189	0.4%	17	56	19	20	19	139,759	4
X VI. 周産期に発生した病態	※ 2,399,967	0.3%	19	8	21	5	21	479,993	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	438,592	0.1%	20	268	18	85	18	5,160	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,905,636	1.6%	15	3,005	9	689	9	17,280	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	25,988,919	3.4%	12	1,307	15	386	13	67,329	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,413,202	0.6%	16	798	17	132	17	33,433	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	16,807	0.0%	21	13	20	6	20	2,801	21
合計	764,032,350			32,126		2,263		337,619	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊岡】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,703,737	1.4%	15	1,525	13	397	10	16,886	18
II. 新生物<腫瘍>	101,097,635	21.3%	1	1,636	11	410	9	246,580	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,939,144	1.0%	16	619	15	166	15	29,754	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	48,048,714	10.1%	3	7,060	1	728	1	66,001	8
V. 精神及び行動の障害	27,486,434	5.8%	8	2,070	7	188	14	146,204	3
VI. 神経系の疾患	28,136,059	5.9%	6	3,338	6	330	12	85,261	5
VII. 眼及び付属器の疾患	20,385,383	4.3%	10	1,621	12	429	7	47,518	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,679,678	0.4%	18	499	16	139	16	12,084	19
IX. 循環器系の疾患	70,032,469	14.7%	2	7,019	2	661	4	105,949	4
X. 呼吸器系の疾患	26,234,176	5.5%	9	3,734	5	680	3	38,580	12
X I. 消化器系の疾患 ※	28,660,197	6.0%	5	5,221	3	696	2	41,178	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,391,074	1.6%	14	2,044	8	430	6	17,189	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	39,968,348	8.4%	4	4,465	4	575	5	69,510	7
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	27,996,523	5.9%	7	1,902	9	372	11	75,259	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	112,015	0.0%	20	47	19	21	19	5,334	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,494,228	1.8%	13	5	20	2	21	4,247,114	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	702,677	0.1%	19	99	18	28	18	25,096	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,605,466	2.2%	12	1,878	10	417	8	25,433	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13,210,093	2.8%	11	818	14	234	13	56,453	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,120,311	0.7%	17	467	17	84	17	37,147	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	11,749	0.0%	21	5	20	3	20	3,916	21
合計	475,016,110			18,318		1,276		372,270	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅原】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,793,574	2.2%	12	855	12	223	8	25,980	13
II. 新生物<腫瘍>	46,390,480	17.4%	1	884	11	221	9	209,912	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,337,337	0.5%	16	316	15	89	15	15,026	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	29,446,986	11.0%	4	3,803	2	360	2	81,797	8
V. 精神及び行動の障害	16,663,157	6.2%	6	995	9	105	14	158,697	2
VI. 神経系の疾患	14,554,317	5.5%	8	1,675	6	180	12	80,857	9
VII. 眼及び付属器の疾患	5,794,855	2.2%	11	770	13	224	7	25,870	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,159,934	3.1%	10	273	16	62	16	131,612	3
IX. 循環器系の疾患	43,796,074	16.4%	2	4,074	1	351	4	124,775	4
X. 呼吸器系の疾患	14,366,338	5.4%	9	2,169	5	359	3	40,018	12
X I. 消化器系の疾患 ※	16,373,805	6.1%	7	3,337	3	379	1	43,203	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,725,433	1.4%	15	1,121	7	220	10	16,934	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	31,692,645	11.9%	3	2,748	4	335	5	94,605	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	18,338,106	6.9%	5	1,066	8	201	11	91,234	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	535,875	0.2%	17	8	19	6	19	89,313	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	450,279	0.2%	18	64	18	18	18	25,016	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,809,346	1.4%	14	991	10	235	6	16,210	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,332,624	2.0%	13	380	14	130	13	41,020	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	368,877	0.1%	19	196	17	42	17	8,783	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,848	0.0%	20	1	20	1	20	4,848	20
合計	266,934,890			10,418		675		395,459	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大花羽】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,435,530	1.4%	13	409	11	115	9	12,483	14
II. 新生物<腫瘍>	11,485,096	11.4%	3	362	13	99	10	116,011	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	828,091	0.8%	15	145	16	34	16	24,356	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,413,841	10.3%	5	2,019	1	187	2	55,689	7
V. 精神及び行動の障害	7,607,071	7.5%	6	588	7	48	14	158,481	1
VI. 神経系の疾患	10,557,218	10.5%	4	895	6	85	11	124,203	2
VII. 眼及び付属器の疾患	4,788,521	4.7%	9	503	9	122	7	39,250	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	779,003	0.8%	16	150	15	37	15	21,054	13
IX. 循環器系の疾患	17,401,995	17.2%	1	1,901	2	161	4	108,087	4
X. 呼吸器系の疾患	5,450,467	5.4%	8	1,051	5	189	1	28,838	11
X I. 消化器系の疾患 ※	6,257,649	6.2%	7	1,217	4	175	3	35,758	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,445,451	1.4%	12	509	8	120	8	12,045	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	13,468,629	13.3%	2	1,288	3	144	5	93,532	5
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	4,751,791	4.7%	10	369	12	80	12	59,397	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	19,067	0.0%	19	5	19	2	19	9,534	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	730	0.0%	20	1	20	1	20	730	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	62,599	0.1%	18	30	18	14	18	4,471	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,060,310	1.1%	14	479	10	123	6	8,620	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,905,688	2.9%	11	234	14	73	13	39,804	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	231,623	0.2%	17	94	17	19	17	12,191	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	100,950,370			5,258		350		288,430	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【三妻】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	9,250,177	2.6%	13	1,299	13	332	9	27,862	15
II. 新生物＜腫瘍＞	68,853,479	19.0%	1	1,517	10	321	10	214,497	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,912,489	0.5%	15	529	15	134	15	14,272	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	42,766,760	11.8%	4	6,587	2	586	1	72,981	6
V. 精神及び行動の障害	15,190,087	4.2%	8	1,531	9	136	14	111,692	3
VI. 神経系の疾患	13,145,219	3.6%	9	2,717	6	253	11	51,957	9
VII. 眼及び付属器の疾患	12,647,905	3.5%	10	1,440	12	356	6	35,528	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,183,618	0.3%	16	321	17	115	16	10,292	19
IX. 循環器系の疾患	52,449,496	14.5%	2	6,780	1	519	4	101,059	5
X. 呼吸器系の疾患	18,355,425	5.1%	7	3,178	5	563	2	32,603	12
X I. 消化器系の疾患 ※	20,062,685	5.5%	6	4,745	3	530	3	37,854	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,693,445	2.7%	12	1,787	7	335	8	28,936	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	48,696,286	13.4%	3	4,208	4	446	5	109,184	4
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	31,527,674	8.7%	5	1,492	11	252	12	125,110	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	320,489	0.1%	18	19	19	6	19	53,415	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	30,194	0.0%	20	2	21	1	20	30,194	13
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	354,998	0.1%	17	106	18	28	18	12,679	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,318,100	1.2%	14	1,708	8	347	7	12,444	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,600,951	3.2%	11	930	14	205	13	56,590	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	304,181	0.1%	19	421	16	71	17	4,284	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	8,622	0.0%	21	3	20	1	20	8,622	20
合計	362,672,280			16,484		1,021		355,213	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【五箇】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,889,793	1.3%	15	595	9	141	9	13,403	16
II. 新生物<腫瘍>	12,077,107	8.4%	6	544	11	144	8	83,869	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,304,556	0.9%	16	182	15	54	14	24,158	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,728,140	8.8%	4	2,318	2	232	4	54,863	8
V. 精神及び行動の障害	3,954,477	2.7%	11	493	12	53	15	74,613	5
VI. 神経系の疾患	12,345,491	8.5%	5	1,049	6	116	11	106,427	2
VII. 眼及び付属器の疾患	4,817,344	3.3%	9	586	10	162	6	29,737	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,553,228	1.8%	13	141	17	35	16	72,949	6
IX. 循環器系の疾患	38,518,085	26.7%	1	2,777	1	236	3	163,212	1
X. 呼吸器系の疾患	7,861,488	5.4%	7	1,267	5	244	2	32,219	10
X I. 消化器系の疾患 ※	13,699,943	9.5%	3	2,046	3	251	1	54,581	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,192,493	2.2%	12	698	8	136	10	23,474	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,363,347	12.0%	2	1,674	4	197	5	88,139	3
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	2,356,162	1.6%	14	493	12	98	12	24,042	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	6,070	0.0%	19	1	20	1	19	6,070	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	289	0.0%	21	1	20	1	19	289	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	40,623	0.0%	18	18	18	6	18	6,771	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,584,090	3.2%	10	726	7	159	7	28,831	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,032,725	3.5%	8	265	14	76	13	66,220	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	103,032	0.1%	17	175	16	30	17	3,434	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,907	0.0%	20	4	19	1	19	3,907	19
合計	144,432,390			6,585		437		330,509	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大生】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,539,142	1.3%	15	927	13	234	9	15,125	17
II. 新生物<腫瘍>	45,601,237	16.4%	1	1,160	7	242	8	188,435	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,132,987	0.4%	16	493	15	117	14	9,684	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	32,257,349	11.6%	3	4,269	2	390	1	82,711	7
V. 精神及び行動の障害	7,314,647	2.6%	11	963	12	90	15	81,274	8
VI. 神経系の疾患	21,018,577	7.6%	6	1,832	6	165	12	127,385	3
VII. 眼及び付属器の疾患	9,584,028	3.5%	10	1,009	11	265	6	36,166	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,742,940	1.7%	14	319	16	86	16	55,150	10
IX. 循環器系の疾患	40,554,335	14.6%	2	4,845	1	383	3	105,886	4
X. 呼吸器系の疾患	10,051,809	3.6%	9	2,116	5	387	2	25,974	14
X I. 消化器系の疾患 ※	18,063,299	6.5%	7	3,180	3	377	4	47,913	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,291,852	1.9%	13	1,123	8	250	7	21,167	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	31,975,236	11.5%	4	2,871	4	328	5	97,485	5
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	23,201,329	8.4%	5	1,070	10	176	11	131,826	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	520,702	0.2%	18	14	19	8	19	65,088	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,400	0.0%	20	1	21	1	20	12,400	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	913,900	0.3%	17	136	18	29	18	31,514	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,625,322	2.0%	12	1,101	9	226	10	24,891	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,540,359	5.6%	8	616	14	161	13	96,524	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	302,000	0.1%	19	228	17	41	17	7,366	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	10,200	0.0%	21	2	20	1	20	10,200	19
合計	277,253,650			11,670		761		364,328	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【坂手】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,755,357	1.8%	14	465	13	135	11	20,410	13
II. 新生物<腫瘍>	24,442,962	16.1%	1	643	12	153	8	159,758	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,149,670	0.8%	15	227	15	57	15	20,170	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,964,003	10.5%	3	2,550	2	268	3	59,567	6
V. 精神及び行動の障害	13,046,302	8.6%	5	919	7	68	14	191,857	1
VI. 神経系の疾患	13,555,047	8.9%	4	1,298	6	123	12	110,204	3
VII. 眼及び付属器の疾患	5,869,640	3.9%	10	664	11	172	6	34,126	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	752,181	0.5%	16	193	16	52	16	14,465	16
IX. 循環器系の疾患	23,891,808	15.7%	2	3,128	1	279	1	85,634	4
X. 呼吸器系の疾患	9,817,054	6.4%	8	1,471	5	261	4	37,613	8
X I. 消化器系の疾患 ※	10,198,539	6.7%	7	2,196	3	275	2	37,086	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,197,680	2.1%	13	837	8	160	7	19,986	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,757,605	8.4%	6	1,830	4	241	5	52,936	7
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	4,376,781	2.9%	11	695	10	141	10	31,041	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	36,574	0.0%	18	15	18	9	18	4,064	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,339	0.0%	19	8	19	4	19	3,585	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,718,029	2.4%	12	760	9	146	9	25,466	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,610,237	4.3%	9	294	14	92	13	71,850	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	106,139	0.1%	17	165	17	31	17	3,424	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,703	0.0%	20	4	20	1	20	4,703	17
合計	152,264,650			7,529		501		303,921	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【内守谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,719,615	1.9%	12	329	13	88	10	30,905	14
II. 新生物<腫瘍>	20,542,415	14.4%	2	401	12	93	9	220,886	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	249,432	0.2%	17	162	15	39	15	6,396	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,181,827	7.8%	6	1,712	2	162	4	69,024	8
V. 精神及び行動の障害	25,135,513	17.6%	1	614	8	46	14	546,424	1
VI. 神経系の疾患	7,030,963	4.9%	9	934	6	85	11	82,717	6
VII. 眼及び付属器の疾患	5,133,328	3.6%	10	433	11	106	7	48,428	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,104,449	0.8%	15	136	16	25	16	44,178	11
IX. 循環器系の疾患	12,802,509	9.0%	5	1,812	1	164	2	78,064	7
X. 呼吸器系の疾患	7,142,062	5.0%	8	1,150	5	195	1	36,626	13
X I. 消化器系の疾患 ※	7,626,037	5.3%	7	1,507	3	164	2	46,500	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,386,584	1.7%	13	672	7	141	6	16,926	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,273,402	12.1%	3	1,482	4	145	5	119,127	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	17,065,614	12.0%	4	502	10	64	13	266,650	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	748,900	0.5%	16	5	19	2	19	374,450	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	12,791	0.0%	19	20	18	7	18	1,827	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,232,836	0.9%	14	587	9	106	7	11,631	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,325,198	2.3%	11	303	14	82	12	40,551	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	27,883	0.0%	18	94	17	16	17	1,743	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,282	0.0%	20	2	20	1	20	3,282	18
合計	142,744,640			5,108		336		424,835	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【きぬの里】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,655,969	7.0%	6	393	11	103	9	64,621	6
II. 新生物＜腫瘍＞	27,210,574	28.6%	1	347	12	80	11	340,132	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	148,257	0.2%	16	107	16	23	16	6,446	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,211,606	6.5%	7	1,195	2	147	3	42,256	9
V. 精神及び行動の障害	8,261,321	8.7%	2	616	7	55	14	150,206	2
VI. 神経系の疾患	5,792,296	6.1%	8	863	5	84	10	68,956	4
VII. 眼及び付属器の疾患	3,386,403	3.6%	11	484	9	127	5	26,665	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	423,936	0.4%	15	115	15	43	15	9,859	16
IX. 循環器系の疾患	7,978,731	8.4%	3	1,295	1	131	4	60,906	7
X. 呼吸器系の疾患	7,447,166	7.8%	4	1,171	3	217	1	34,319	11
X I. 消化器系の疾患 ※	7,136,577	7.5%	5	1,028	4	154	2	46,341	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,449,748	1.5%	13	512	8	122	6	11,883	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,829,312	5.1%	10	697	6	121	7	39,912	10
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	1,636,538	1.7%	12	274	13	62	12	26,396	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	68,662	0.1%	17	3	19	1	19	68,662	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	23,168	0.0%	19	10	18	6	18	3,861	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,234,252	1.3%	14	433	10	114	8	10,827	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,114,518	5.4%	9	174	14	56	13	91,331	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40,027	0.0%	18	101	17	15	17	2,668	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,349	0.0%	20	2	20	1	19	2,349	20
合計	95,051,410			4,571		370		256,896	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅生】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,888,324	1.6%	13	859	13	218	10	22,424	16
II. 新生物<腫瘍>	50,527,066	16.4%	1	1,146	9	261	8	193,590	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,204,252	0.4%	15	481	15	111	14	10,849	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	38,656,120	12.5%	3	5,039	2	465	1	83,131	7
V. 精神及び行動の障害	17,999,254	5.8%	8	990	12	97	15	185,559	3
VI. 神経系の疾患	12,109,835	3.9%	10	2,020	6	210	12	57,666	8
VII. 眼及び付属器の疾患	12,708,772	4.1%	9	1,094	11	267	7	47,598	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	834,472	0.3%	16	235	17	88	16	9,483	19
IX. 循環器系の疾患	39,304,785	12.8%	2	5,229	1	437	2	89,942	6
X. 呼吸器系の疾患	19,583,436	6.4%	7	2,393	5	433	3	45,227	14
X I. 消化器系の疾患 ※	20,547,478	6.7%	6	3,548	3	428	4	48,008	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,366,093	2.4%	12	1,403	7	273	6	26,982	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,917,338	11.3%	4	3,127	4	380	5	91,888	5
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	32,707,844	10.6%	5	1,291	8	211	11	155,013	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	584,575	0.2%	19	24	19	11	18	53,143	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	584,681	0.2%	18	3	21	2	21	292,341	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	626,073	0.2%	17	46	18	11	18	56,916	9
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,809,668	1.6%	14	1,100	10	244	9	19,712	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,998,046	2.6%	11	677	14	176	13	45,443	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	230,671	0.1%	20	285	16	53	17	4,352	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	23,027	0.0%	21	13	20	4	20	5,757	20
合計	308,211,810			12,694		850		362,602	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【石下】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,826,867	2.5%	12	2,024	12	496	9	27,877	14
II. 新生物<腫瘍>	56,843,524	10.2%	3	1,720	13	411	11	138,305	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,404,266	0.6%	16	782	16	217	14	15,688	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	51,332,077	9.2%	4	8,846	2	807	3	63,609	9
V. 精神及び行動の障害	41,902,846	7.5%	7	2,202	10	210	15	199,537	1
VI. 神経系の疾患	32,676,381	5.9%	9	4,477	6	433	10	75,465	7
VII. 眼及び付属器の疾患	18,414,448	3.3%	10	2,098	11	576	6	31,970	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,450,842	0.6%	15	850	15	201	16	17,168	18
IX. 循環器系の疾患	87,100,041	15.7%	1	9,559	1	766	4	113,708	5
X. 呼吸器系の疾患	37,878,338	6.8%	8	5,807	5	957	1	39,580	12
X I. 消化器系の疾患 ※	51,318,508	9.2%	5	7,021	3	835	2	61,459	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,467,390	2.4%	13	2,984	7	561	7	24,006	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	65,520,080	11.8%	2	6,154	4	666	5	98,378	6
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	46,931,848	8.4%	6	2,284	9	395	12	118,815	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,017,788	0.5%	17	49	19	17	19	177,517	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	344,163	0.1%	19	8	21	5	21	68,833	8
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	131,777	0.0%	20	98	18	35	18	3,765	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,245,908	2.0%	14	2,302	8	529	8	21,259	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16,010,541	2.9%	11	1,084	14	324	13	49,415	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	553,161	0.1%	18	509	17	101	17	5,477	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	109,036	0.0%	21	37	20	6	20	18,173	17
合計	555,479,830			25,584		1,706		325,604	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,678,399	2.0%	11	693	12	179	9	20,550	15
II. 新生物＜腫瘍＞	21,505,505	11.8%	3	723	11	173	10	124,309	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,162,080	1.7%	14	305	16	69	16	45,827	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19,851,561	10.9%	4	3,173	2	300	4	66,172	8
V. 精神及び行動の障害	13,526,122	7.4%	5	632	13	70	15	193,230	2
VI. 神経系の疾患	12,026,014	6.6%	6	1,436	6	152	11	79,119	6
VII. 眼及び付属器の疾患	5,819,701	3.2%	9	734	10	206	6	28,251	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	961,351	0.5%	16	334	15	80	14	12,017	17
IX. 循環器系の疾患	40,741,521	22.3%	1	3,575	1	307	2	132,709	3
X. 呼吸器系の疾患	11,725,983	6.4%	7	1,922	5	314	1	37,344	10
X I. 消化器系の疾患 ※	9,350,820	5.1%	8	2,377	3	304	3	30,759	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,363,302	1.8%	13	956	7	197	8	17,073	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	25,043,840	13.7%	2	2,218	4	249	5	100,578	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	5,171,476	2.8%	10	782	9	144	12	35,913	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	683,596	0.4%	18	3	19	1	19	683,596	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,240	0.0%	20	1	20	1	19	5,240	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	689,551	0.4%	17	22	18	10	18	68,955	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,065,895	1.1%	15	947	8	200	7	10,329	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,473,083	1.9%	12	370	14	117	13	29,684	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	115,560	0.1%	19	228	17	33	17	3,502	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	182,960,600			8,896		589		310,629	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【玉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,100,471	1.4%	15	575	11	141	8	14,897	18
II. 新生物<腫瘍>	18,885,366	12.4%	2	498	13	126	10	149,884	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,016,441	0.7%	16	273	15	60	14	16,941	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,662,879	10.3%	4	2,766	2	230	4	68,099	8
V. 精神及び行動の障害	7,383,767	4.8%	9	588	10	56	16	131,853	4
VI. 神経系の疾患	17,121,506	11.2%	3	1,294	6	120	11	142,679	3
VII. 眼及び付属器の疾患	3,621,643	2.4%	11	522	12	146	7	24,806	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	738,598	0.5%	17	190	16	59	15	12,519	19
IX. 循環器系の疾患	25,175,604	16.5%	1	3,275	1	242	2	104,031	6
X. 呼吸器系の疾患	11,200,799	7.3%	7	1,540	5	267	1	41,951	12
X I. 消化器系の疾患 ※	12,473,462	8.2%	5	2,346	3	241	3	51,757	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,851,006	1.9%	12	745	8	152	6	18,757	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,379,863	6.8%	8	1,675	4	182	5	57,032	9
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	6,756,557	4.4%	10	841	7	119	12	56,778	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	18,240	0.0%	20	4	19	1	19	18,240	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	345,800	0.2%	18	3	20	1	19	345,800	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	37,559	0.0%	19	17	18	9	18	4,173	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,380,208	1.6%	14	656	9	135	9	17,631	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,759,588	7.7%	6	335	14	102	13	115,290	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,595,403	1.7%	13	180	17	35	17	74,154	7
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	152,504,760			7,446		484		315,092	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【岡田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,135,585	2.9%	12	1,415	13	391	9	33,595	15
II. 新生物<腫瘍>	89,835,979	19.6%	1	1,549	11	370	11	242,800	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,742,439	1.3%	15	679	15	191	14	30,065	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	40,639,574	8.9%	3	7,070	2	645	3	63,007	9
V. 精神及び行動の障害	24,405,209	5.3%	9	1,509	12	136	16	179,450	3
VI. 神経系の疾患	17,206,607	3.8%	10	2,593	6	297	12	57,935	10
VII. 眼及び付属器の疾患	15,734,142	3.4%	11	1,654	10	456	6	34,505	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,735,676	0.4%	16	532	16	140	15	12,398	19
IX. 循環器系の疾患	75,029,897	16.4%	2	7,535	1	604	4	124,222	4
X. 呼吸器系の疾患	28,175,280	6.1%	7	4,448	4	797	1	35,352	13
X I. 消化器系の疾患 ※	25,901,923	5.6%	8	5,394	3	684	2	37,868	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,368,115	2.0%	13	2,155	7	431	8	21,736	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,172,136	7.9%	4	4,340	5	560	5	64,593	8
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	35,828,035	7.8%	5	2,046	8	375	10	95,541	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	723,282	0.2%	18	54	19	19	19	38,067	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	813,946	0.2%	17	10	20	7	20	116,278	6
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	71,260	0.0%	21	56	18	22	18	3,239	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,589,337	1.7%	14	1,714	9	444	7	17,093	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	29,753,827	6.5%	6	841	14	246	13	120,951	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	289,501	0.1%	20	522	17	91	17	3,181	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	637,010	0.1%	19	7	21	2	21	318,505	1
合計	458,788,760			20,087		1,469		312,314	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【飯沼】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,473,823	1.4%	15	1,493	13	386	9	16,772	17
II. 新生物<腫瘍>	67,320,829	14.2%	2	1,588	11	359	10	187,523	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	40,792,373	8.6%	4	730	15	189	14	215,833	2
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	43,698,415	9.2%	3	7,170	2	622	3	70,255	8
V. 精神及び行動の障害	24,760,056	5.2%	8	1,603	10	140	15	176,858	5
VI. 神経系の疾患	36,366,095	7.7%	6	2,788	6	274	12	132,723	6
VII. 眼及び付属器の疾患	18,226,226	3.9%	11	1,500	12	401	8	45,452	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,430,381	0.7%	17	694	16	138	16	24,858	15
IX. 循環器系の疾患	80,709,658	17.1%	1	8,010	1	617	4	130,810	7
X. 呼吸器系の疾患	24,220,434	5.1%	9	4,343	5	735	1	32,953	14
X I. 消化器系の疾患 ※	37,046,663	7.8%	5	5,966	3	644	2	57,526	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,393,529	1.8%	13	1,987	8	416	7	20,177	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	35,408,247	7.5%	7	4,350	4	504	5	70,254	9
X IV. 泌尿路生殖生殖器系の疾患	18,569,108	3.9%	10	1,764	9	337	11	55,101	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	61,596	0.0%	20	14	19	10	19	6,160	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	456,957	0.1%	18	3	21	2	20	228,479	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,517,370	1.2%	16	109	18	27	18	204,347	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,966,664	1.5%	14	2,153	7	483	6	14,424	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,267,753	3.0%	12	827	14	248	13	57,531	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	442,166	0.1%	19	563	17	67	17	6,599	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	10,707	0.0%	21	4	20	2	20	5,354	21
合計	473,139,050			19,996		1,352		349,955	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	917,701	2.5%	12	203	10	64	4	14,339	14
II. 新生物<腫瘍>	4,064,623	10.9%	3	102	13	28	14	145,165	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	553,560	1.5%	14	78	15	26	15	21,291	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,315,065	6.2%	9	338	6	62	5	37,340	9
V. 精神及び行動の障害	3,507,696	9.4%	5	305	7	31	13	113,151	2
VI. 神経系の疾患	2,840,039	7.6%	7	518	1	45	9	63,112	7
VII. 眼及び付属器の疾患	395,409	1.1%	15	97	14	35	11	11,297	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	124,450	0.3%	17	45	16	12	16	10,371	16
IX. 循環器系の疾患	4,563,747	12.2%	1	466	3	58	7	78,685	4
X. 呼吸器系の疾患	3,982,238	10.7%	4	510	2	114	1	34,932	10
X I. 消化器系の疾患 ※	2,901,521	7.8%	6	466	3	77	2	37,682	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	573,046	1.5%	13	225	8	60	6	9,551	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,893,574	5.1%	10	404	5	73	3	25,939	11
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	2,620,260	7.0%	8	127	11	34	12	77,066	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	384,958	1.0%	16	12	19	5	17	76,992	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	18,578	0.0%	18	2	20	2	20	9,289	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	17,093	0.0%	19	24	17	3	19	5,698	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,316,833	3.5%	11	223	9	55	8	23,942	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,345,947	11.6%	2	103	12	42	10	103,475	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,300	0.0%	21	14	18	4	18	575	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,832	0.0%	20	1	21	1	21	2,832	20
合計	37,341,470			1,629		223		167,451	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【水海道】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0301	貧血	71,297,636	9.3%	139
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	53,029,567	6.9%	266
3	0402	糖尿病	46,969,858	6.1%	890
4	1402	腎不全	32,919,673	4.3%	45
5	0901	高血圧性疾患	31,168,592	4.1%	765
6	0606	その他の神経系の疾患	25,294,123	3.3%	508
7	0903	その他の心疾患	24,092,615	3.2%	476
8	1113	その他の消化器系の疾患	23,890,680	3.1%	760
9	0902	虚血性心疾患	20,797,183	2.7%	207
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	20,287,542	2.7%	103

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【豊岡】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	42,320,749	8.9%	156
2	0402	糖尿病	25,626,732	5.4%	513
3	0901	高血圧性疾患	18,974,219	4.0%	498
4	0903	その他の心疾患	18,765,550	4.0%	278
5	1113	その他の消化器系の疾患	17,683,428	3.7%	442
6	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	16,655,293	3.5%	93
7	0403	脂質異常症	14,137,164	3.0%	431
8	1402	腎不全	13,743,695	2.9%	35
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	11,965,865	2.5%	342
10	0208	悪性リンパ腫	11,481,062	2.4%	11

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅原】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	16,672,922	6.2%	93
2	0402	糖尿病	12,726,658	4.8%	248
3	0901	高血圧性疾患	11,905,406	4.5%	279
4	1402	腎不全	11,348,815	4.3%	17
5	1301	炎症性多発性関節障害	11,191,379	4.2%	61
6	0903	その他の心疾患	10,685,228	4.0%	138
7	1113	その他の消化器系の疾患	10,163,874	3.8%	252
8	0905	脳内出血	9,540,481	3.6%	16
9	0606	その他の神経系の疾患	8,083,130	3.0%	166
10	1302	関節症	7,822,922	2.9%	93

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【大花羽】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606	その他の神経系の疾患	8,315,709	8.2%	73
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,940,780	6.9%	41
3	1302	関節症	6,923,235	6.9%	61
4	0402	糖尿病	5,788,940	5.7%	144
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,573,495	5.5%	22
6	0901	高血圧性疾患	5,431,615	5.4%	125
7	0903	その他の心疾患	4,143,838	4.1%	61
8	0403	脂質異常症	3,704,040	3.7%	100
9	1113	その他の消化器系の疾患	3,483,547	3.5%	106
10	1402	腎不全	3,053,165	3.0%	10

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【三妻】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	31,522,638	8.7%	114
2	0402	糖尿病	26,903,097	7.4%	445
3	1402	腎不全	23,669,686	6.5%	27
4	0903	その他の心疾患	23,221,101	6.4%	238
5	0901	高血圧性疾患	18,199,491	5.0%	417
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,857,708	3.5%	63
7	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	12,221,237	3.4%	177
8	1113	その他の消化器系の疾患	12,164,565	3.4%	342
9	0403	脂質異常症	11,697,015	3.2%	328
10	1302	関節症	10,949,647	3.0%	135

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【五箇】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	10,758,426	7.4%	101
2	1113	その他の消化器系の疾患	9,199,838	6.4%	174
3	0901	高血圧性疾患	8,740,302	6.1%	197
4	1302	関節症	8,693,042	6.0%	64
5	0606	その他の神経系の疾患	8,246,423	5.7%	108
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,721,262	4.7%	58
7	0402	糖尿病	6,559,459	4.5%	160
8	0908	その他の脳血管疾患	4,990,491	3.5%	12
9	0902	虚血性心疾患	4,597,641	3.2%	51
10	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,584,090	3.2%	159

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大生】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	19,181,048	6.9%	182
2	1402	腎不全	18,414,161	6.6%	17
3	0606	その他の神経系の疾患	17,063,253	6.2%	151
4	0402	糖尿病	14,922,271	5.4%	291
5	0901	高血圧性疾患	13,134,176	4.7%	299
6	1901	骨折	10,097,930	3.6%	49
7	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	9,911,712	3.6%	30
8	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,130,110	3.3%	106
9	1113	その他の消化器系の疾患	9,074,570	3.3%	251
10	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	9,063,730	3.3%	117

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【坂手】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	14,596,547	9.6%	59
2	0901	高血圧性疾患	9,813,716	6.4%	223
3	0402	糖尿病	8,914,051	5.9%	175
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,230,091	4.7%	27
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,226,380	4.7%	2
6	0903	その他の心疾患	6,636,460	4.4%	113
7	1113	その他の消化器系の疾患	5,991,122	3.9%	169
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,624,407	3.7%	32
9	0902	虚血性心疾患	4,484,867	2.9%	55
10	0403	脂質異常症	4,231,270	2.8%	155

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【内守谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	20,369,961	14.3%	18
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	15,888,211	11.1%	38
3	1402	腎不全	14,385,600	10.1%	12
4	0402	糖尿病	6,881,940	4.8%	116
5	1113	その他の消化器系の疾患	5,657,396	4.0%	110
6	0901	高血圧性疾患	5,075,076	3.6%	126
7	0606	その他の神経系の疾患	4,347,668	3.0%	78
8	0903	その他の心疾患	4,270,127	3.0%	55
9	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	4,209,010	2.9%	21
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,995,314	2.8%	73

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【きぬの里】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	10,089,123	10.6%	15
2	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	5,556,665	5.8%	5
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,944,435	5.2%	17
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,662,822	4.9%	95
5	0606	その他の神経系の疾患	4,356,762	4.6%	74
6	1901	骨折	4,179,083	4.4%	14
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	3,903,282	4.1%	19
8	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,821,135	4.0%	28
9	0901	高血圧性疾患	3,757,084	4.0%	96
10	0402	糖尿病	3,565,746	3.8%	98

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅生】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	25,125,311	8.2%	21
2	0402	糖尿病	23,670,600	7.7%	321
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	19,093,717	6.2%	118
4	0901	高血圧性疾患	14,967,737	4.9%	337
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,753,003	4.5%	39
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	13,472,542	4.4%	30
7	1113	その他の消化器系の疾患	12,432,789	4.0%	286
8	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	9,814,758	3.2%	117
9	0403	脂質異常症	9,407,826	3.1%	266
10	0903	その他の心疾患	8,323,512	2.7%	156

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【石下】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	35,568,775	6.4%	36
2	1113	その他の消化器系の疾患	29,994,452	5.4%	518
3	0402	糖尿病	26,656,968	4.8%	543
4	0901	高血圧性疾患	25,826,395	4.6%	582
5	0903	その他の心疾患	24,872,592	4.5%	294
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,270,508	4.0%	62
7	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	17,887,733	3.2%	76
8	0606	その他の神経系の疾患	16,812,359	3.0%	391
9	0403	脂質異常症	14,857,428	2.7%	432
10	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	14,676,576	2.6%	160

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	13,041,409	7.1%	113
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,094,677	6.6%	66
3	0901	高血圧性疾患	10,971,034	6.0%	250
4	0402	糖尿病	10,836,772	5.9%	185
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	9,192,651	5.0%	23
6	1302	関節症	8,504,301	4.6%	70
7	0606	その他の神経系の疾患	7,816,830	4.3%	146
8	0403	脂質異常症	5,530,538	3.0%	163
9	1113	その他の消化器系の疾患	4,963,138	2.7%	178
10	0902	虚血性心疾患	4,812,083	2.6%	70

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【玉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606	その他の神経系の疾患	13,476,130	8.8%	113
2	1901	骨折	9,439,672	6.2%	33
3	0901	高血圧性疾患	8,995,255	5.9%	184
4	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	8,132,511	5.3%	68
5	0402	糖尿病	8,098,929	5.3%	148
6	1113	その他の消化器系の疾患	7,931,548	5.2%	141
7	0902	虚血性心疾患	5,016,208	3.3%	51
8	0403	脂質異常症	4,476,862	2.9%	120
9	0903	その他の心疾患	4,226,347	2.8%	89
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	3,791,352	2.5%	12

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【岡田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	26,899,252	5.9%	126
2	1402	腎不全	25,680,137	5.6%	69
3	0402	糖尿病	24,362,005	5.3%	440
4	0901	高血圧性疾患	19,388,767	4.2%	449
5	1903	熱傷及び腐食	19,323,483	4.2%	8
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	15,526,933	3.4%	150
7	1113	その他の消化器系の疾患	13,519,670	2.9%	396
8	0903	その他の心疾患	12,829,610	2.8%	280
9	0606	その他の神経系の疾患	12,406,395	2.7%	267
10	0403	脂質異常症	11,778,719	2.6%	349

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【飯沼】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	37,781,407	8.0%	92
2	0903	その他の心疾患	36,934,128	7.8%	249
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	32,904,940	7.0%	130
4	0402	糖尿病	23,990,316	5.1%	397
5	1113	その他の消化器系の疾患	23,158,821	4.9%	389
6	0901	高血圧性疾患	20,721,314	4.4%	458
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	16,894,984	3.6%	48
8	0606	その他の神経系の疾患	15,033,020	3.2%	247
9	0603	てんかん	14,423,992	3.0%	34
10	0403	脂質異常症	12,163,338	2.6%	329

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1901	骨折	3,541,023	9.5%	12
2	0903	その他の心疾患	2,920,640	7.8%	23
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	2,681,533	7.2%	6
4	1402	腎不全	2,173,193	5.8%	4
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,124,192	5.7%	17
6	1113	その他の消化器系の疾患	1,555,439	4.2%	46
7	0402	糖尿病	1,470,552	3.9%	41
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,316,833	3.5%	55
9	0603	てんかん	1,309,748	3.5%	11
10	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1,175,061	3.1%	15

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【水海道】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	46,969,858	890	39.3%
2	0901	高血圧性疾患	31,168,592	765	33.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	23,890,680	760	33.6%
4	1006	アレルギー性鼻炎	7,756,533	717	31.7%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,905,636	689	30.4%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,163,261	689	30.4%
7	0403	脂質異常症	18,431,316	618	27.3%
8	0703	屈折及び調節の障害	2,193,009	604	26.7%
9	1003	その他の急性上気道感染症	3,166,359	595	26.3%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	15,953,532	581	25.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【豊岡】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	25,626,732	513	40.2%
2	0901	高血圧性疾患	18,974,219	498	39.0%
3	1113	その他の消化器系の疾患	17,683,428	442	34.6%
4	0403	脂質異常症	14,137,164	431	33.8%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,605,466	417	32.7%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,156,754	348	27.3%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	11,965,865	342	26.8%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,192,511	342	26.8%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,430,581	338	26.5%
10	1006	アレルギー性鼻炎	3,944,248	334	26.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅原】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	11,905,406	279	41.3%
2	1113	その他の消化器系の疾患	10,163,874	252	37.3%
3	0402	糖尿病	12,726,658	248	36.7%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,809,346	235	34.8%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,439,428	214	31.7%
6	0403	脂質異常症	6,228,848	205	30.4%
7	0703	屈折及び調節の障害	612,918	180	26.7%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,327,310	175	25.9%
9	1006	アレルギー性鼻炎	2,425,217	169	25.0%
10	0606	その他の神経系の疾患	8,083,130	166	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【大花羽】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	5,788,940	144	41.1%
2	0901	高血圧性疾患	5,431,615	125	35.7%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,060,310	123	35.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	3,483,547	106	30.3%
5	0703	屈折及び調節の障害	331,309	102	29.1%
6	0403	脂質異常症	3,704,040	100	28.6%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,470,894	98	28.0%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	540,556	93	26.6%
9	1006	アレルギー性鼻炎	849,194	91	26.0%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,050,636	90	25.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【三妻】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	26,903,097	445	43.6%
2	0901	高血圧性疾患	18,199,491	417	40.8%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,318,100	347	34.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	12,164,565	342	33.5%
5	0403	脂質異常症	11,697,015	328	32.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	994,443	300	29.4%
7	1006	アレルギー性鼻炎	3,070,189	286	28.0%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,036,843	267	26.2%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,911,473	266	26.1%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,156,594	266	26.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【五箇】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	8,740,302	197	45.1%
2	1113	その他の消化器系の疾患	9,199,838	174	39.8%
3	0402	糖尿病	6,559,459	160	36.6%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,584,090	159	36.4%
5	0403	脂質異常症	4,268,964	135	30.9%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,392,148	134	30.7%
7	0703	屈折及び調節の障害	394,592	128	29.3%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,731,414	121	27.7%
9	0606	その他の神経系の疾患	8,246,423	108	24.7%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	639,920	107	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【大生】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	13,134,176	299	39.3%
2	0402	糖尿病	14,922,271	291	38.2%
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,074,570	251	33.0%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,625,322	226	29.7%
5	0703	屈折及び調節の障害	683,735	214	28.1%
6	0403	脂質異常症	7,035,017	208	27.3%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,575,497	207	27.2%
8	1006	アレルギー性鼻炎	2,312,296	200	26.3%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,201,247	194	25.5%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,023,525	186	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【坂手】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	9,813,716	223	44.5%
2	0402	糖尿病	8,914,051	175	34.9%
3	1113	その他の消化器系の疾患	5,991,122	169	33.7%
4	0403	脂質異常症	4,231,270	155	30.9%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,718,029	146	29.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	472,192	135	26.9%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,402,365	133	26.5%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,233,059	131	26.1%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,520,065	126	25.1%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	785,042	119	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【内守谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	5,075,076	126	37.5%
2	0402	糖尿病	6,881,940	116	34.5%
3	1113	その他の消化器系の疾患	5,657,396	110	32.7%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,232,836	106	31.5%
5	1202	皮膚炎及び湿疹	1,198,259	97	28.9%
6	0403	脂質異常症	3,090,043	93	27.7%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	982,006	92	27.4%
8	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,082,156	83	24.7%
9	0703	屈折及び調節の障害	273,017	81	24.1%
10	1006	アレルギー性鼻炎	1,070,911	79	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【きぬの里】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,234,252	114	30.8%
2	1006	アレルギー性鼻炎	1,323,366	102	27.6%
2	1003	その他の急性上気道感染症	681,778	102	27.6%
4	0402	糖尿病	3,565,746	98	26.5%
5	0901	高血圧性疾患	3,757,084	96	25.9%
6	1113	その他の消化器系の疾患	4,662,822	95	25.7%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,119,364	93	25.1%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	811,876	90	24.3%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,370,012	87	23.5%
10	0703	屈折及び調節の障害	255,996	85	23.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【菅生】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	14,967,737	337	39.6%
2	0402	糖尿病	23,670,600	321	37.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	12,432,789	286	33.6%
4	0403	脂質異常症	9,407,826	266	31.3%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,809,668	244	28.7%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,389,718	224	26.4%
7	0703	屈折及び調節の障害	765,634	215	25.3%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	7,387,535	209	24.6%
9	1003	その他の急性上気道感染症	1,370,058	205	24.1%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	1,947,250	186	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【石下】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	25,826,395	582	34.1%
2	0402	糖尿病	26,656,968	543	31.8%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,245,908	529	31.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	29,994,452	518	30.4%
5	1003	その他の急性上気道感染症	4,053,274	498	29.2%
6	1006	アレルギー性鼻炎	5,607,546	467	27.4%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,537,308	443	26.0%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,746,027	442	25.9%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,542,800	441	25.8%
10	0403	脂質異常症	14,857,428	432	25.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【豊田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	10,971,034	250	42.4%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,065,895	200	34.0%
3	0402	糖尿病	10,836,772	185	31.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,963,138	178	30.2%
5	0403	脂質異常症	5,530,538	163	27.7%
6	0703	屈折及び調節の障害	612,386	162	27.5%
7	1003	その他の急性上気道感染症	1,345,633	155	26.3%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,498,676	150	25.5%
9	1006	アレルギー性鼻炎	1,980,912	148	25.1%
10	0606	その他の神経系の疾患	7,816,830	146	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【玉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	8,995,255	184	38.0%
2	0402	糖尿病	8,098,929	148	30.6%
3	1113	その他の消化器系の疾患	7,931,548	141	29.1%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,003,320	138	28.5%
4	1003	その他の急性上気道感染症	835,656	138	28.5%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,380,208	135	27.9%
7	1006	アレルギー性鼻炎	1,291,375	134	27.7%
8	0703	屈折及び調節の障害	375,496	121	25.0%
9	0403	脂質異常症	4,476,862	120	24.8%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	677,578	115	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【岡田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	19,388,767	449	30.6%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,589,337	444	30.2%
3	0402	糖尿病	24,362,005	440	30.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	13,519,670	396	27.0%
5	1003	その他の急性上気道感染症	3,269,717	387	26.3%
6	1006	アレルギー性鼻炎	4,444,012	381	25.9%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,159,813	376	25.6%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,796,207	357	24.3%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,333,996	350	23.8%
10	0403	脂質異常症	11,778,719	349	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【飯沼】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,966,664	483	35.7%
2	0901	高血圧性疾患	20,721,314	458	33.9%
3	0402	糖尿病	23,990,316	397	29.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	23,158,821	389	28.8%
5	1003	その他の急性上気道感染症	3,207,581	387	28.6%
6	1006	アレルギー性鼻炎	4,165,006	348	25.7%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,825,538	331	24.5%
8	0403	脂質異常症	12,163,338	329	24.3%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,124,570	314	23.2%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	3,249,688	309	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

水海道	豊岡	菅原	大花羽	三妻	五箇
大生	坂手	内守谷	きぬの里	菅生	石下
豊田	玉	岡田	飯沼	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	320,933	62	27.8%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,316,833	55	24.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	1,555,439	46	20.6%
4	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	191,607	45	20.2%
5	0901	高血圧性疾患	983,524	44	19.7%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	312,680	43	19.3%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	378,437	42	18.8%
8	0402	糖尿病	1,470,552	41	18.4%
8	1006	アレルギー性鼻炎	391,123	41	18.4%
10	0606	その他の神経系の疾患	1,123,277	39	17.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

2. 年度別 特定健康診査結果分析

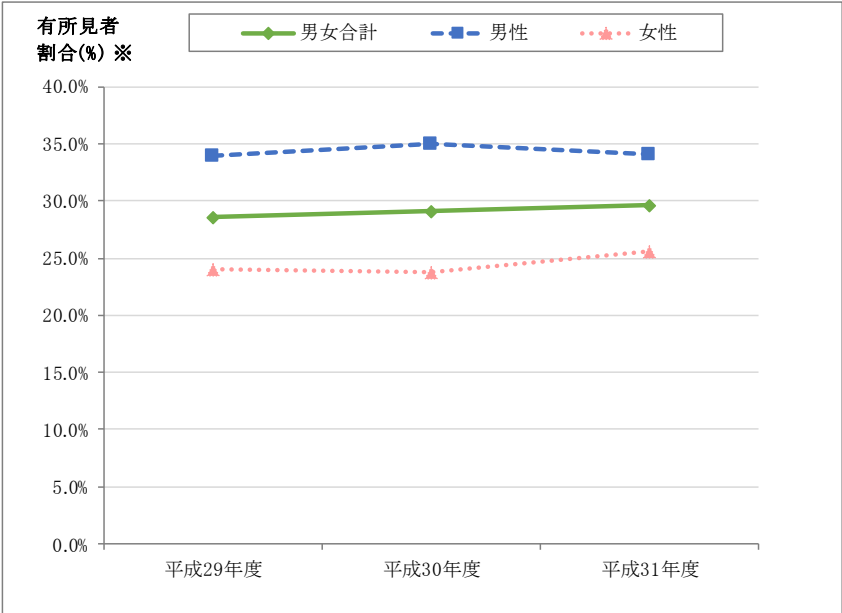
(1) 有所見者割合

平成29年度から平成31年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,858	3,982
	有所見者数(人) ※	1,078	1,121	1,180
	有所見者割合(%) ※	28.6%	29.1%	29.6%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,829	1,880
	有所見者数(人) ※	594	639	641
	有所見者割合(%) ※	33.9%	34.9%	34.1%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,102
	有所見者数(人) ※	484	482	539
	有所見者割合(%) ※	24.1%	23.8%	25.6%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

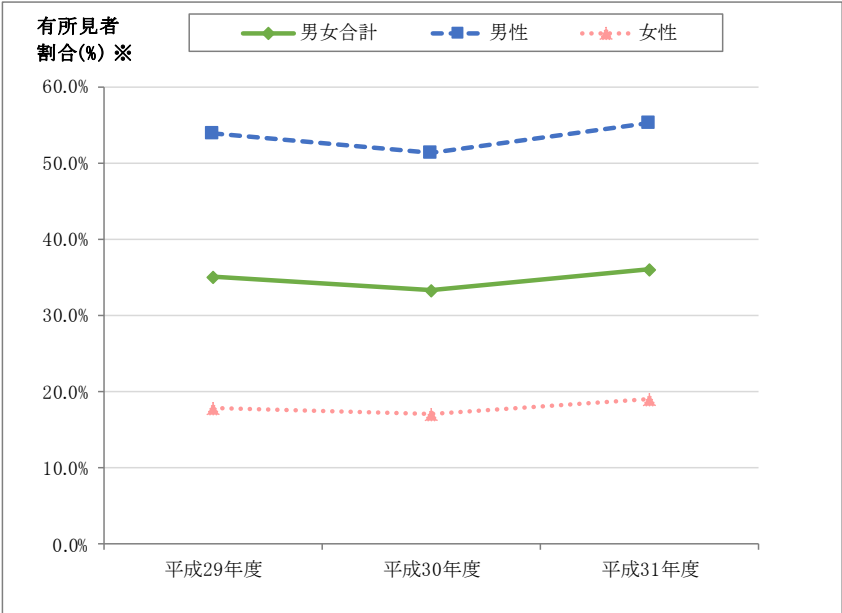
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,487	3,858	3,983
	有所見者数(人) ※	1,224	1,284	1,438
	有所見者割合(%) ※	35.1%	33.3%	36.1%
男性	対象者数(人) ※	1,674	1,829	1,880
	有所見者数(人) ※	901	938	1,037
	有所見者割合(%) ※	53.8%	51.3%	55.2%
女性	対象者数(人) ※	1,813	2,029	2,103
	有所見者数(人) ※	323	346	401
	有所見者割合(%) ※	17.8%	17.1%	19.1%

年度別 有所見者割合(腹囲)

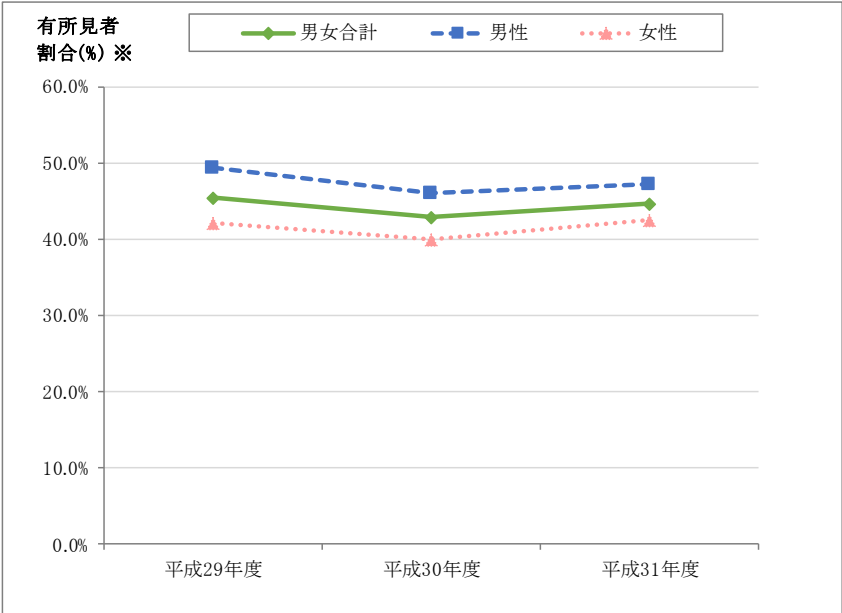


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,858	3,983
	有所見者数(人) ※	1,714	1,652	1,782
	有所見者割合(%) ※	45.5%	42.8%	44.7%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,829	1,881
	有所見者数(人) ※	866	843	889
	有所見者割合(%) ※	49.4%	46.1%	47.3%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,102
	有所見者数(人) ※	848	809	893
	有所見者割合(%) ※	42.1%	39.9%	42.5%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

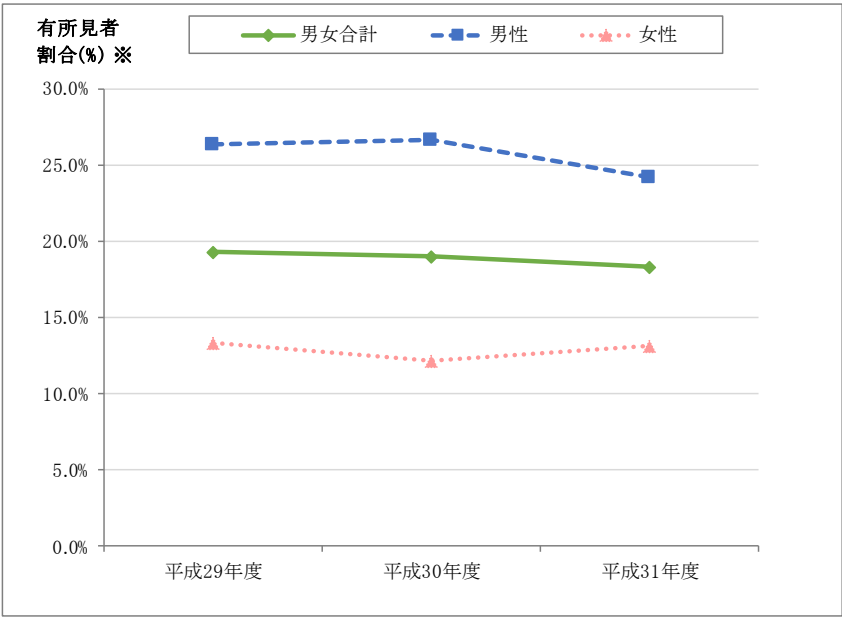


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,858	3,983
	有所見者数(人) ※	728	733	731
	有所見者割合(%) ※	19.3%	19.0%	18.4%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,829	1,881
	有所見者数(人) ※	461	487	455
	有所見者割合(%) ※	26.3%	26.6%	24.2%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,102
	有所見者数(人) ※	267	246	276
	有所見者割合(%) ※	13.3%	12.1%	13.1%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

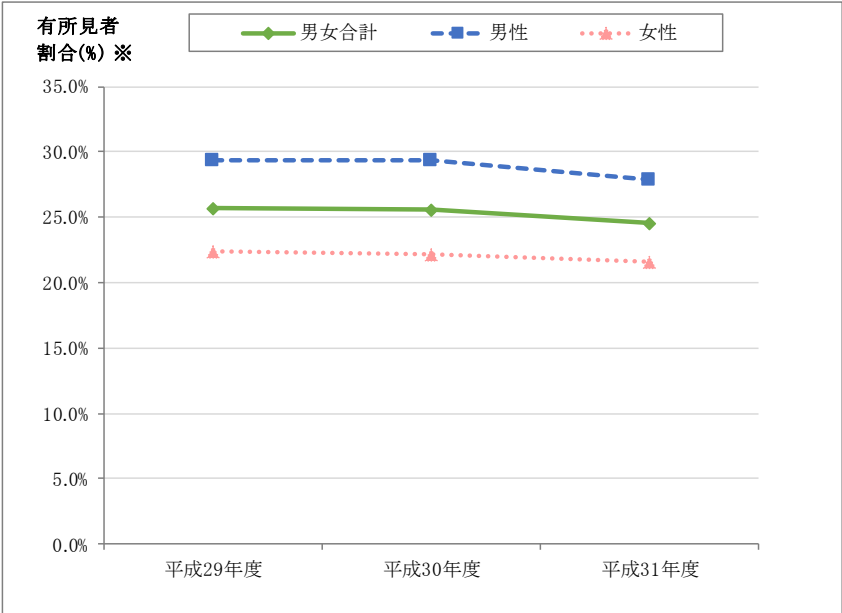


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合 (中性脂肪)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,858	3,984
	有所見者数(人) ※	966	987	978
	有所見者割合(%) ※	25.7%	25.6%	24.5%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,829	1,881
	有所見者数(人) ※	515	537	525
	有所見者割合(%) ※	29.4%	29.4%	27.9%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,103
	有所見者数(人) ※	451	450	453
	有所見者割合(%) ※	22.4%	22.2%	21.5%

年度別 有所見者割合 (中性脂肪)

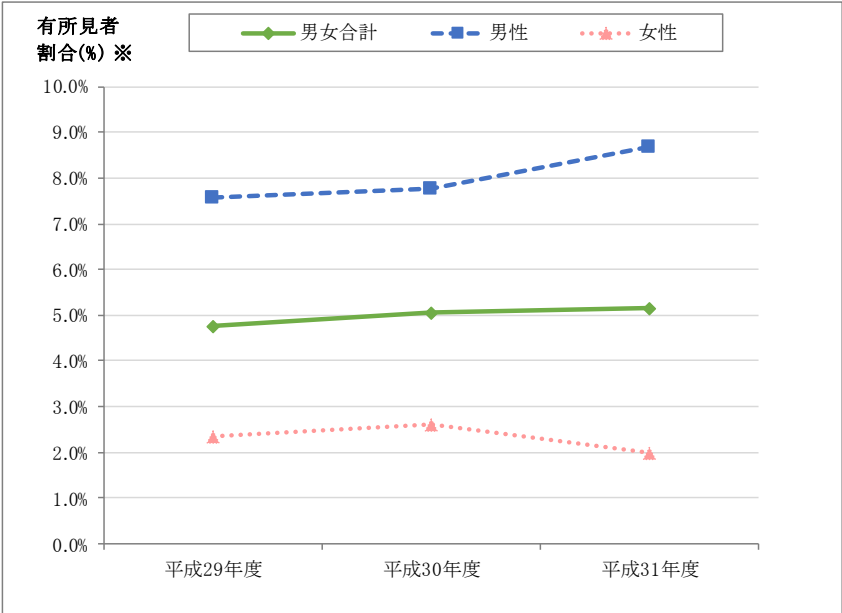


データ化範囲 (分析対象) …健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分 (36カ月分)。
資格確認日 …各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合 …健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
中性脂肪: 150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,858	3,984
	有所見者数(人) ※	180	195	205
	有所見者割合(%) ※	4.8%	5.1%	5.1%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,829	1,881
	有所見者数(人) ※	133	142	163
	有所見者割合(%) ※	7.6%	7.8%	8.7%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,103
	有所見者数(人) ※	47	53	42
	有所見者割合(%) ※	2.3%	2.6%	2.0%

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲 (分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

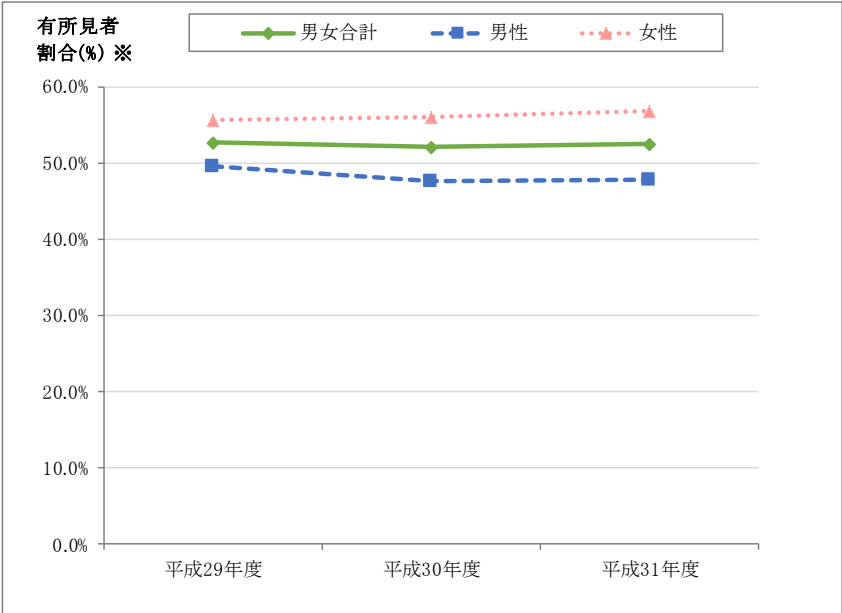
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,765	3,856	3,984
	有所見者数(人) ※	1,986	2,005	2,093
	有所見者割合(%) ※	52.7%	52.0%	52.5%
男性	対象者数(人) ※	1,753	1,827	1,881
	有所見者数(人) ※	868	869	898
	有所見者割合(%) ※	49.5%	47.6%	47.7%
女性	対象者数(人) ※	2,012	2,029	2,103
	有所見者数(人) ※	1,118	1,136	1,195
	有所見者割合(%) ※	55.6%	56.0%	56.8%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

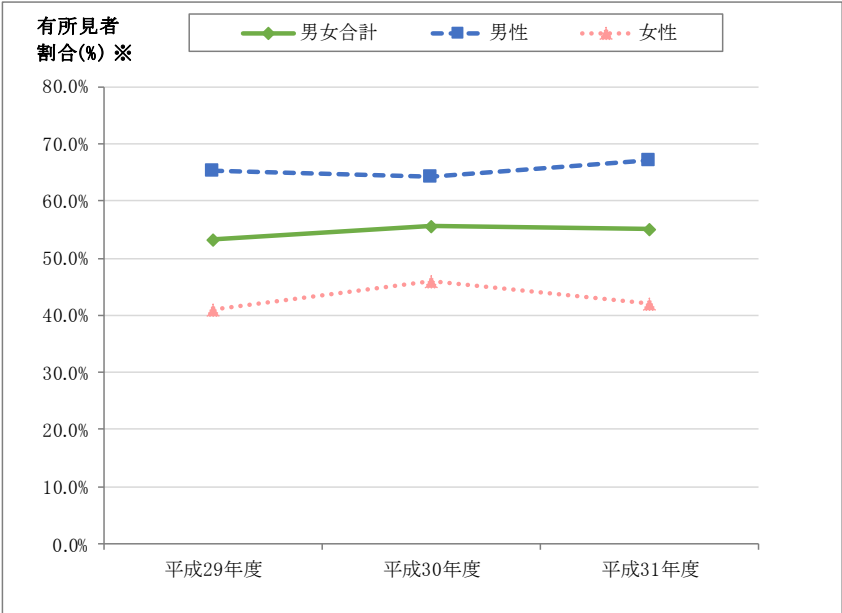


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,157	1,181	1,146
	有所見者数(人) ※	615	657	630
	有所見者割合(%) ※	53.2%	55.6%	55.0%
男性	対象者数(人) ※	575	619	593
	有所見者数(人) ※	376	398	398
	有所見者割合(%) ※	65.4%	64.3%	67.1%
女性	対象者数(人) ※	582	562	553
	有所見者数(人) ※	239	259	232
	有所見者割合(%) ※	41.1%	46.1%	42.0%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

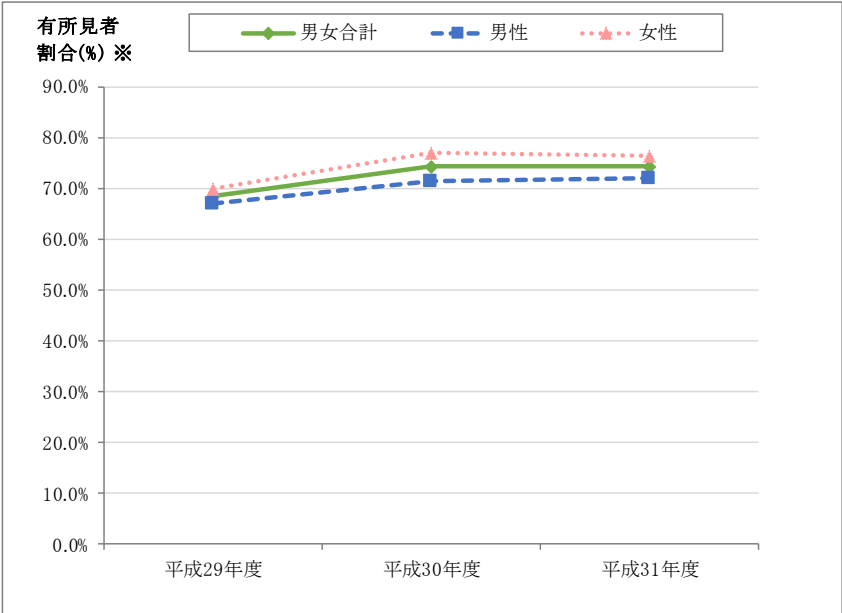


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,678	3,792	3,936
	有所見者数(人) ※	2,521	2,817	2,923
	有所見者割合(%) ※	68.5%	74.3%	74.3%
男性	対象者数(人) ※	1,716	1,802	1,858
	有所見者数(人) ※	1,148	1,284	1,335
	有所見者割合(%) ※	66.9%	71.3%	71.9%
女性	対象者数(人) ※	1,962	1,990	2,078
	有所見者数(人) ※	1,373	1,533	1,588
	有所見者割合(%) ※	70.0%	77.0%	76.4%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

(2) 質問別回答状況

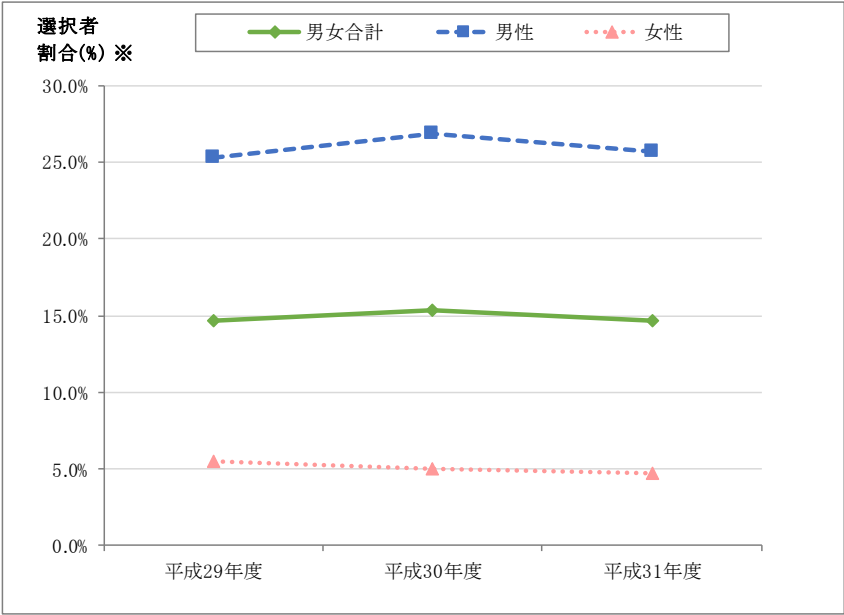
平成29年度から平成31年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,765	3,858	3,979
	選択者数(人) ※	554	592	583
	選択者割合(%) ※	14.7%	15.3%	14.7%
男性	質問回答者数(人) ※	1,753	1,829	1,879
	選択者数(人) ※	443	491	483
	選択者割合(%) ※	25.3%	26.8%	25.7%
女性	質問回答者数(人) ※	2,012	2,029	2,100
	選択者数(人) ※	111	101	100
	選択者割合(%) ※	5.5%	5.0%	4.8%

年度別「喫煙あり」の回答状況



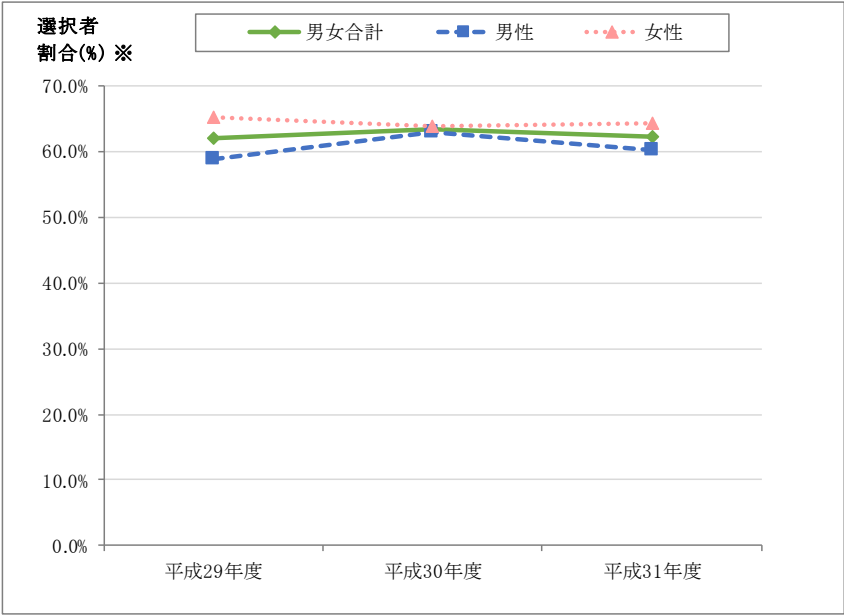
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。
※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合 …喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,188	1,204	1,166
	選択者数(人) ※	738	763	725
	選択者割合(%) ※	62.1%	63.4%	62.2%
男性	質問回答者数(人) ※	591	632	600
	選択者数(人) ※	348	398	361
	選択者割合(%) ※	58.9%	63.0%	60.2%
女性	質問回答者数(人) ※	597	572	566
	選択者数(人) ※	390	365	364
	選択者割合(%) ※	65.3%	63.8%	64.3%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

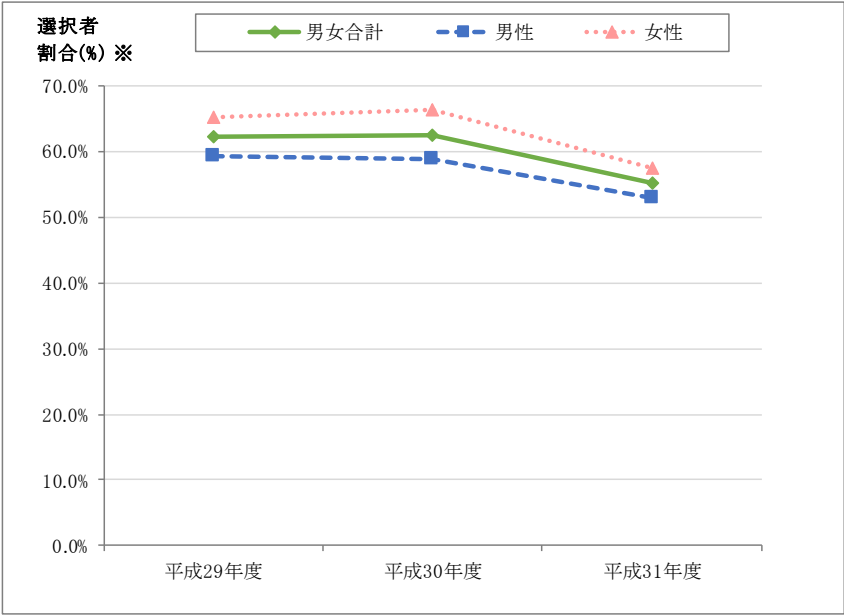


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。
1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,189	1,204	1,167
	選択者数(人) ※	740	752	644
	選択者割合(%) ※	62.2%	62.5%	55.2%
男性	質問回答者数(人) ※	591	632	600
	選択者数(人) ※	350	372	318
	選択者割合(%) ※	59.2%	58.9%	53.0%
女性	質問回答者数(人) ※	598	572	567
	選択者数(人) ※	390	380	326
	選択者割合(%) ※	65.2%	66.4%	57.5%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



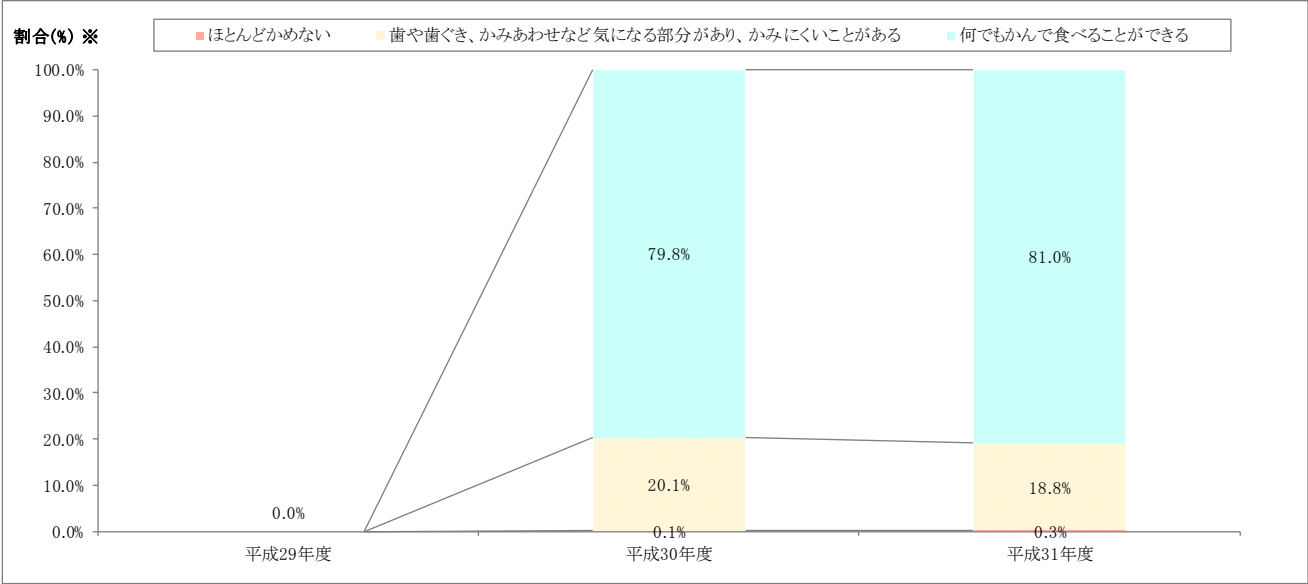
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③咀嚼

年度別 咀嚼の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	1,199	1	0.1%	241	20.1%	957	79.8%
平成31年度	1,166	3	0.3%	219	18.8%	944	81.0%

年度別 咀嚼の回答状況(全体)

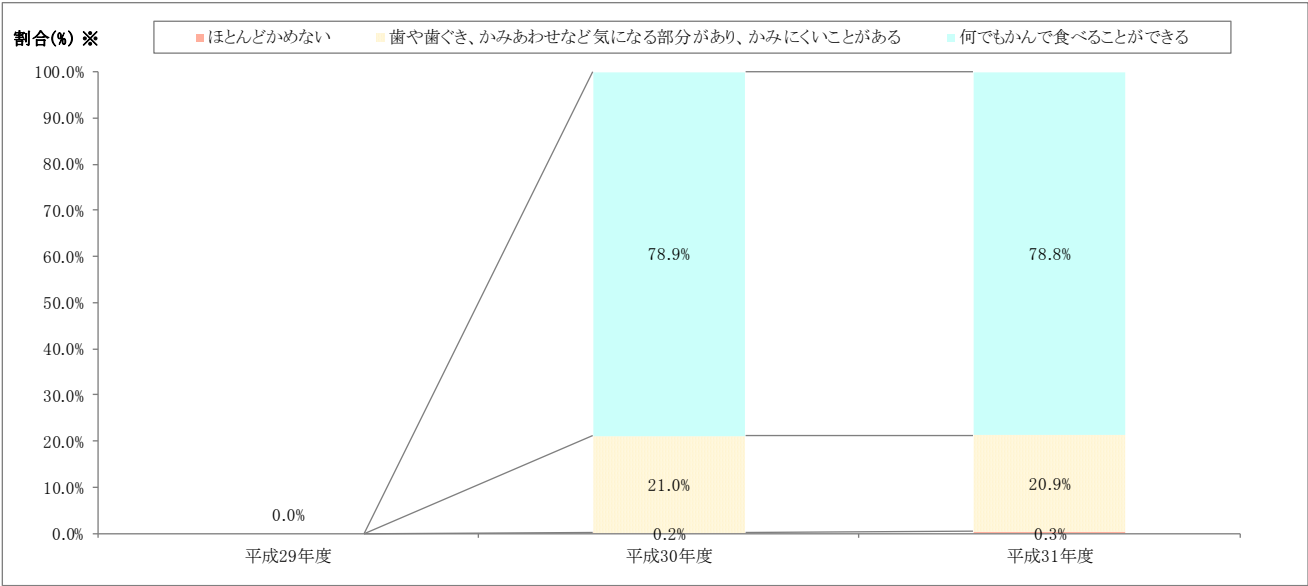


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。
※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	629	1	0.2%	132	21.0%	496	78.9%
平成31年度	599	2	0.3%	125	20.9%	472	78.8%

年度別 咀嚼の回答状況(男性)

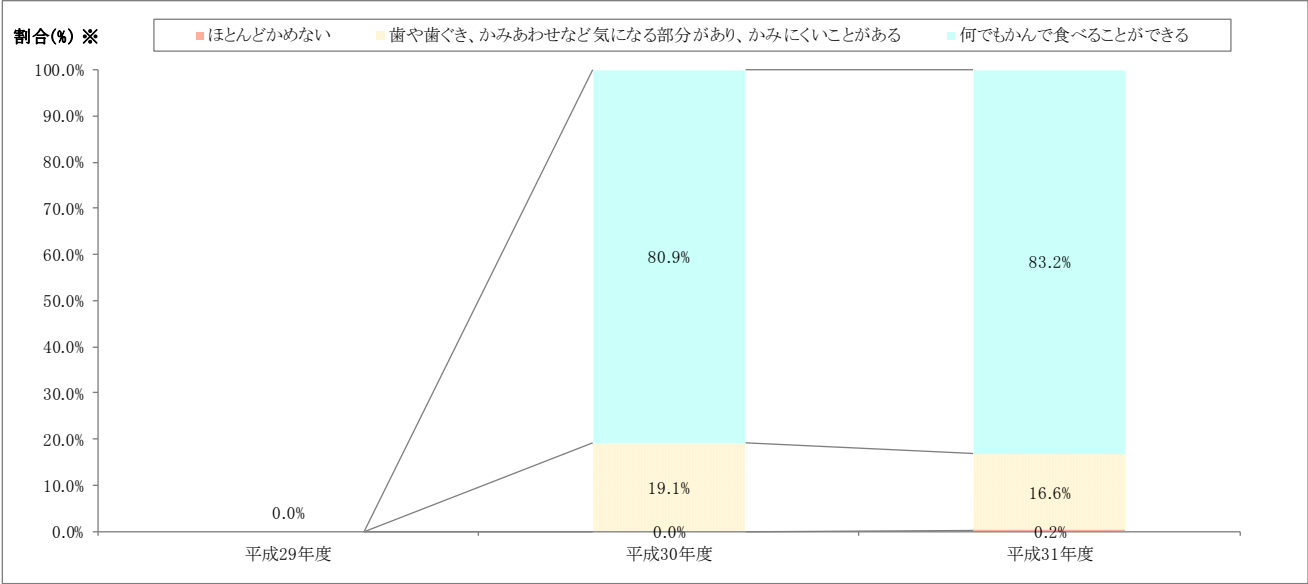


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。
※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	570	0	0.0%	109	19.1%	461	80.9%
平成31年度	567	1	0.2%	94	16.6%	472	83.2%

年度別 咀嚼の回答状況(女性)



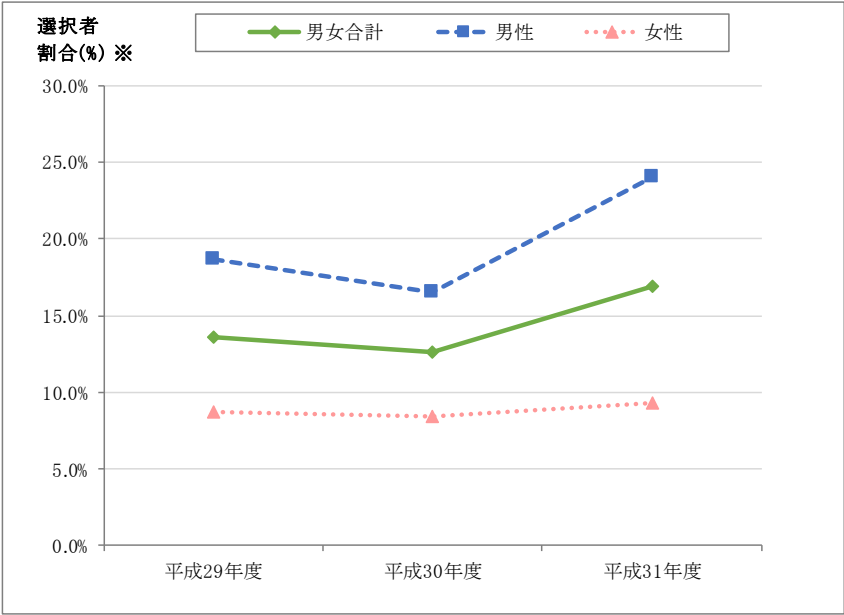
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。
※選択者数 …食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。
※割合 …食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

④食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,187	1,203	1,166
	選択者数(人) ※	162	152	197
	選択者割合(%) ※	13.6%	12.6%	16.9%
男性	質問回答者数(人) ※	589	631	599
	選択者数(人) ※	110	104	144
	選択者割合(%) ※	18.7%	16.5%	24.0%
女性	質問回答者数(人) ※	598	572	567
	選択者数(人) ※	52	48	53
	選択者割合(%) ※	8.7%	8.4%	9.3%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

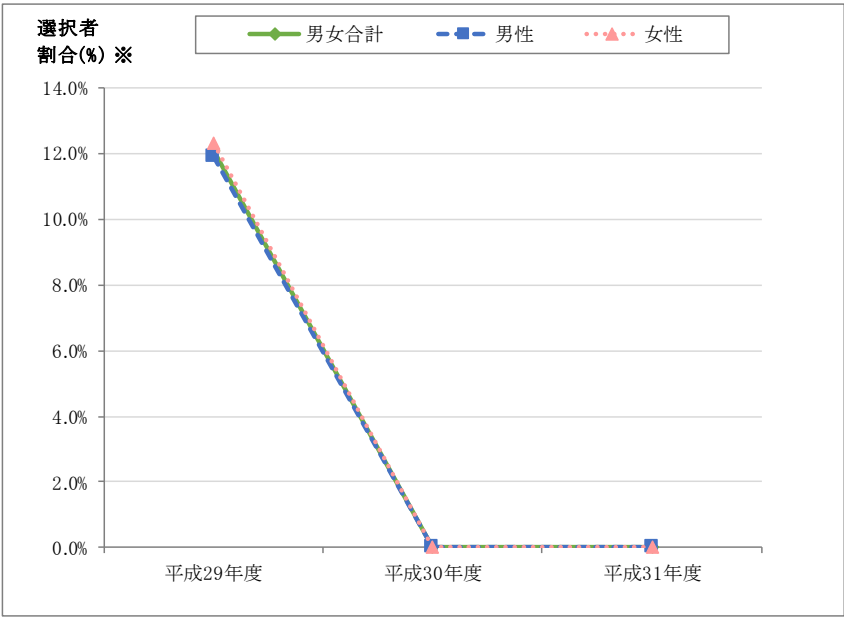


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。
週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,182	0	0
	選択者数(人) ※	143	0	0
	選択者割合(%) ※	12.1%	0.0%	0.0%
男性	質問回答者数(人) ※	589	0	0
	選択者数(人) ※	70	0	0
	選択者割合(%) ※	11.9%	0.0%	0.0%
女性	質問回答者数(人) ※	593	0	0
	選択者数(人) ※	73	0	0
	選択者割合(%) ※	12.3%	0.0%	0.0%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

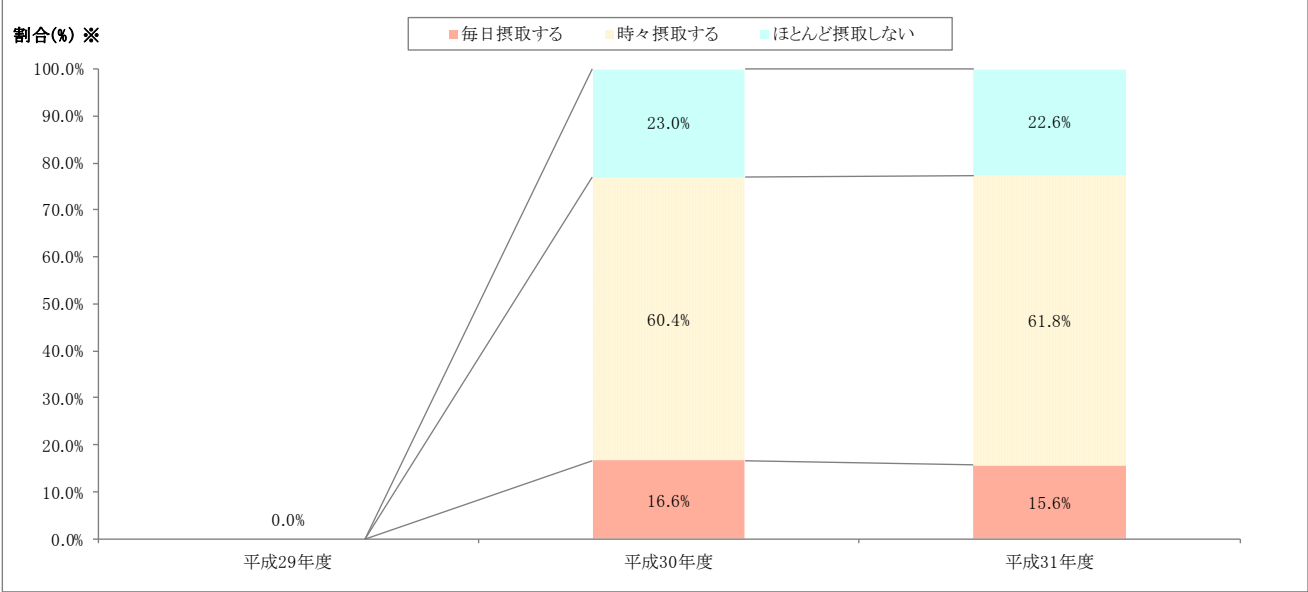


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
※平成30年度以降で廃止された質問項目。

年度別 間食の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	1,198	199	16.6%	723	60.4%	276	23.0%
平成31年度	1,165	182	15.6%	720	61.8%	263	22.6%

年度別 間食の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

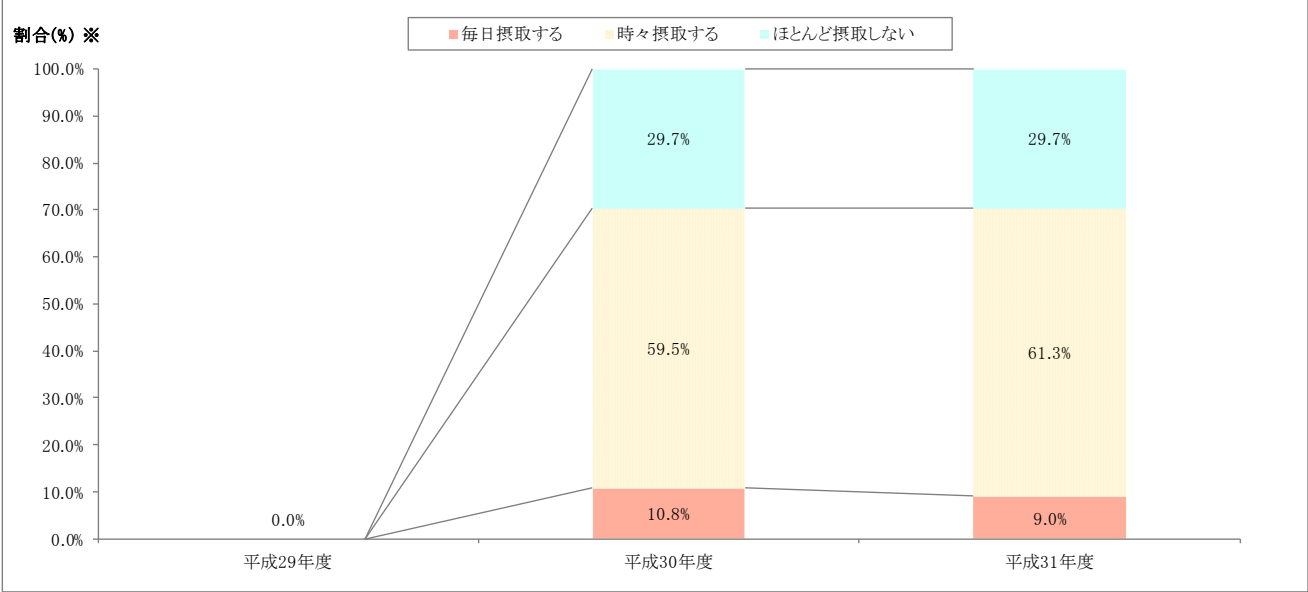
※割合 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	629	68	10.8%	374	59.5%	187	29.7%
平成31年度	600	54	9.0%	368	61.3%	178	29.7%

年度別 間食の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

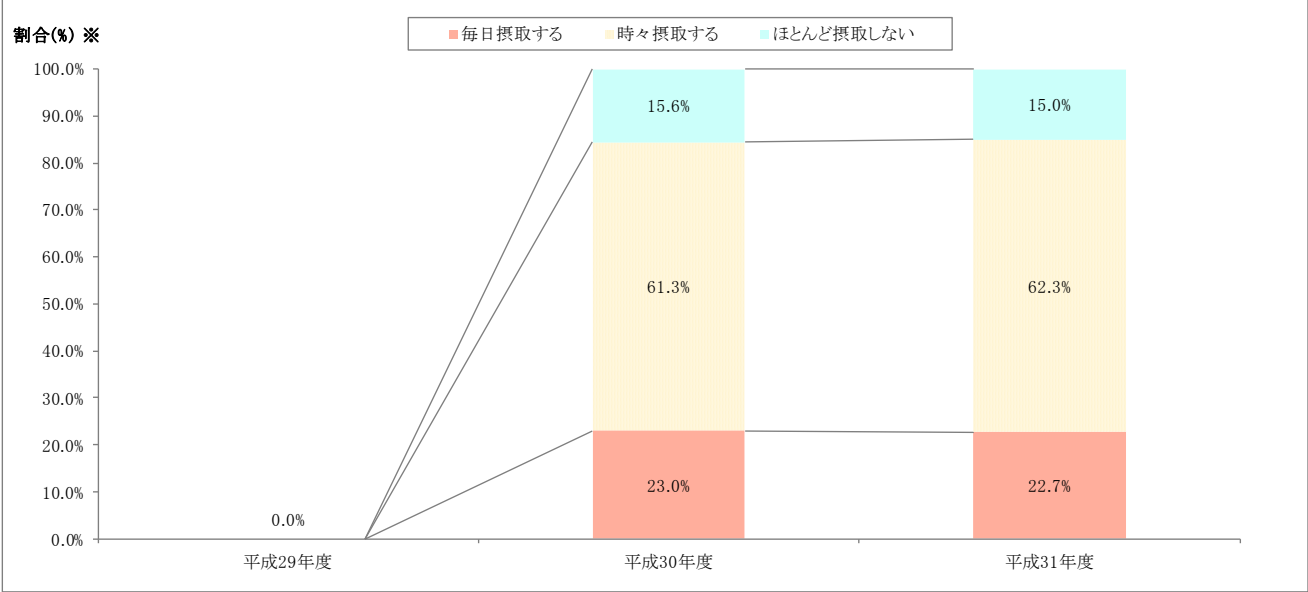
※割合 …朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	569	131	23.0%	349	61.3%	89	15.6%
平成31年度	565	128	22.7%	352	62.3%	85	15.0%

年度別 間食の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

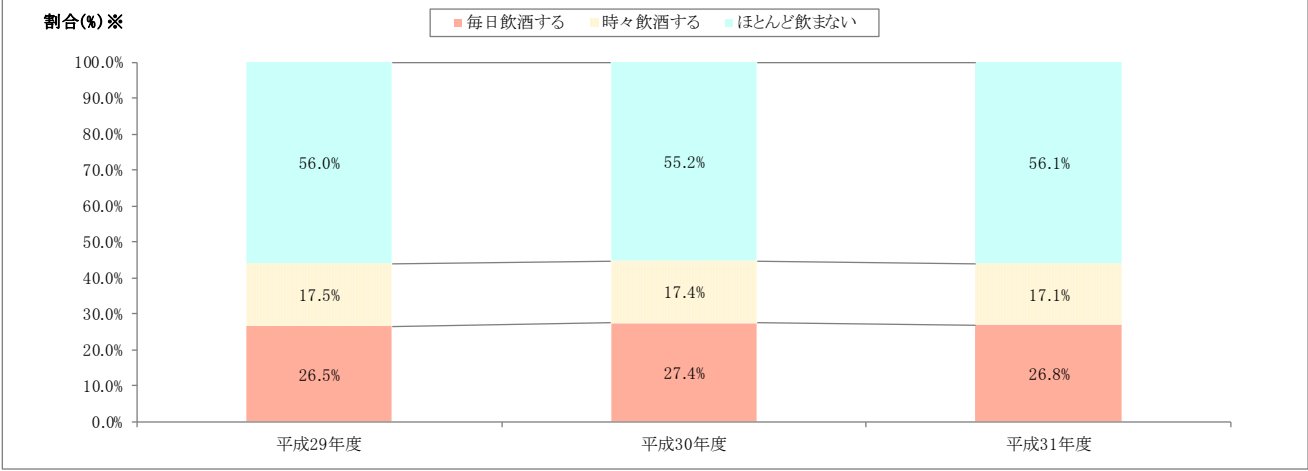
間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

⑤飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	3,742	992	26.5%	655	17.5%	2,095	56.0%
平成30年度	3,835	1,051	27.4%	667	17.4%	2,117	55.2%
平成31年度	3,962	1,063	26.8%	676	17.1%	2,223	56.1%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

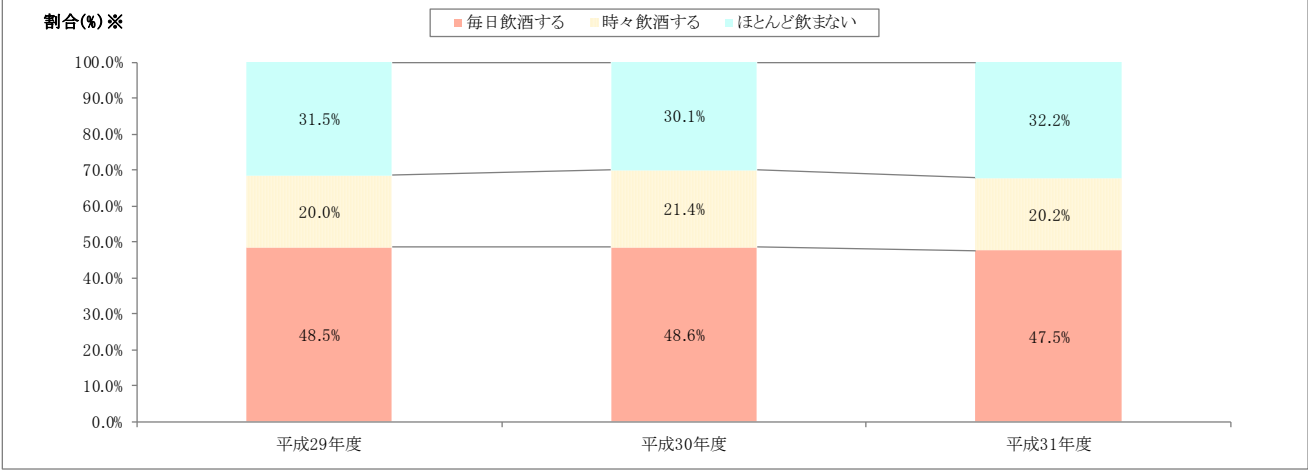
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	1,744	846	48.5%	349	20.0%	549	31.5%
平成30年度	1,820	884	48.6%	389	21.4%	547	30.1%
平成31年度	1,870	889	47.5%	378	20.2%	603	32.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

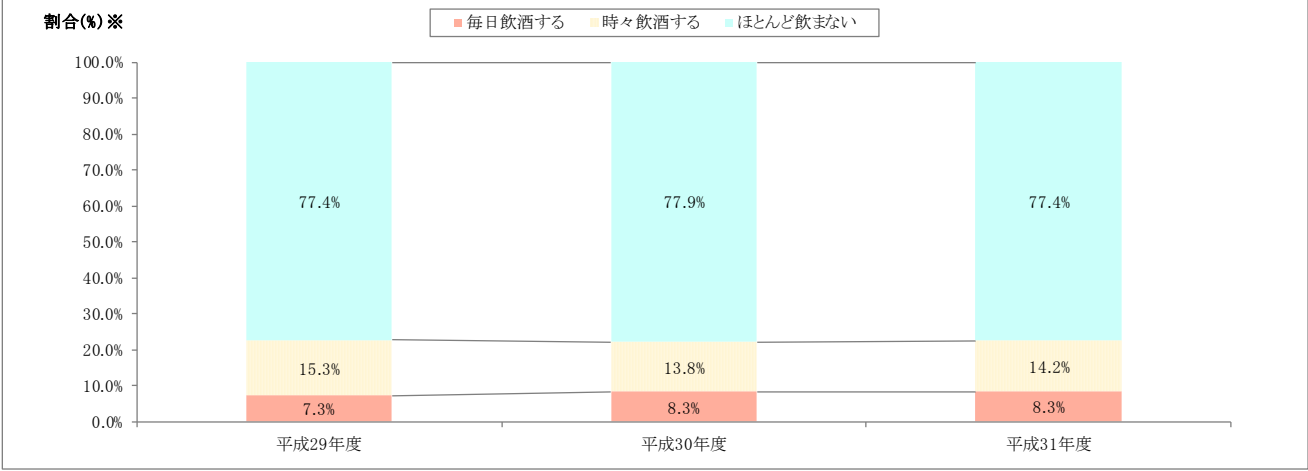
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	1,998	146	7.3%	306	15.3%	1,546	77.4%
平成30年度	2,015	167	8.3%	278	13.8%	1,570	77.9%
平成31年度	2,092	174	8.3%	298	14.2%	1,620	77.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

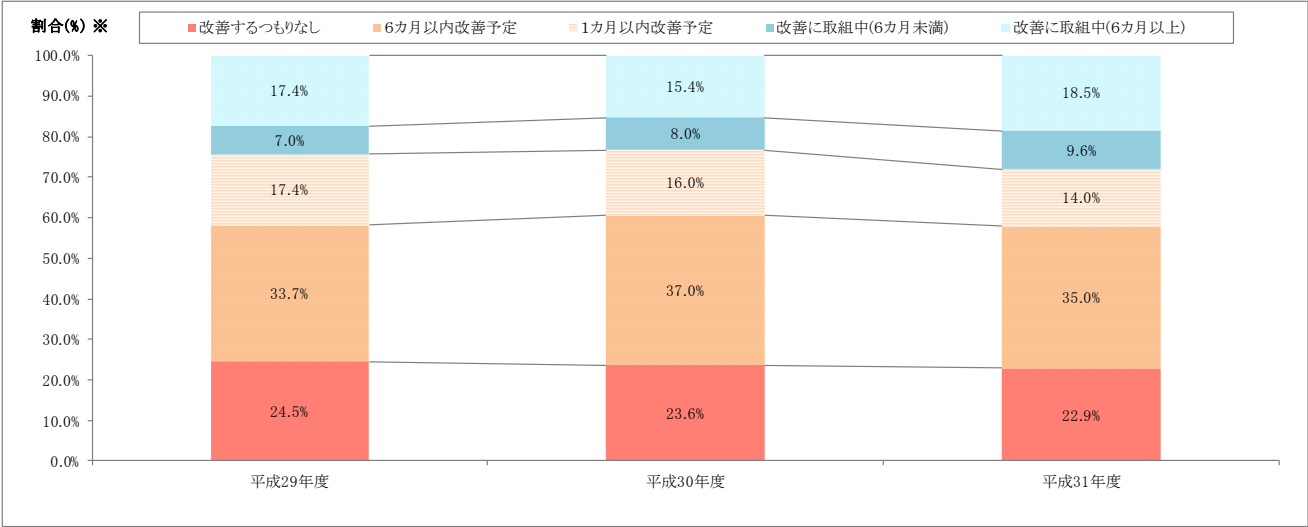
⑥生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	1,179	289	24.5%	397	33.7%	205	17.4%
平成30年度	1,198	283	23.6%	443	37.0%	192	16.0%
平成31年度	1,160	266	22.9%	406	35.0%	162	14.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	1,179	83	7.0%	205	17.4%
平成30年度	1,198	96	8.0%	184	15.4%
平成31年度	1,160	111	9.6%	215	18.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



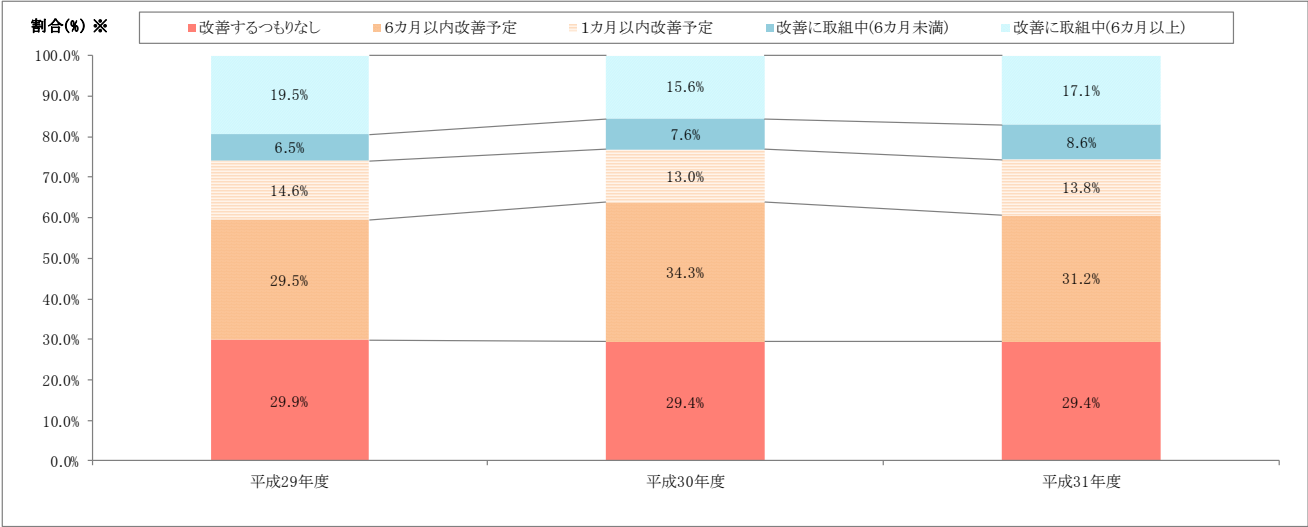
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	589	176	29.9%	174	29.5%	86	14.6%
平成30年度	629	185	29.4%	216	34.3%	82	13.0%
平成31年度	596	175	29.4%	186	31.2%	82	13.8%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	589	38	6.5%	115	19.5%
平成30年度	629	48	7.6%	98	15.6%
平成31年度	596	51	8.6%	102	17.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



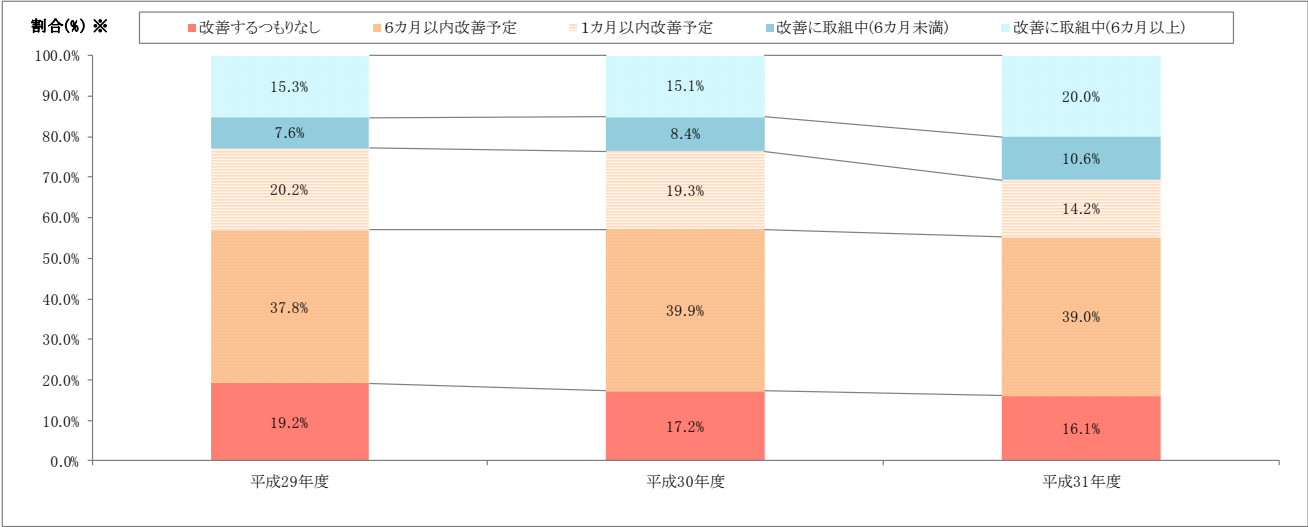
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	590	113	19.2%	223	37.8%	119	20.2%
平成30年度	569	98	17.2%	227	39.9%	110	19.3%
平成31年度	564	91	16.1%	220	39.0%	80	14.2%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成29年度	590	45	7.6%	90	15.3%
平成30年度	569	48	8.4%	86	15.1%
平成31年度	564	60	10.6%	113	20.0%

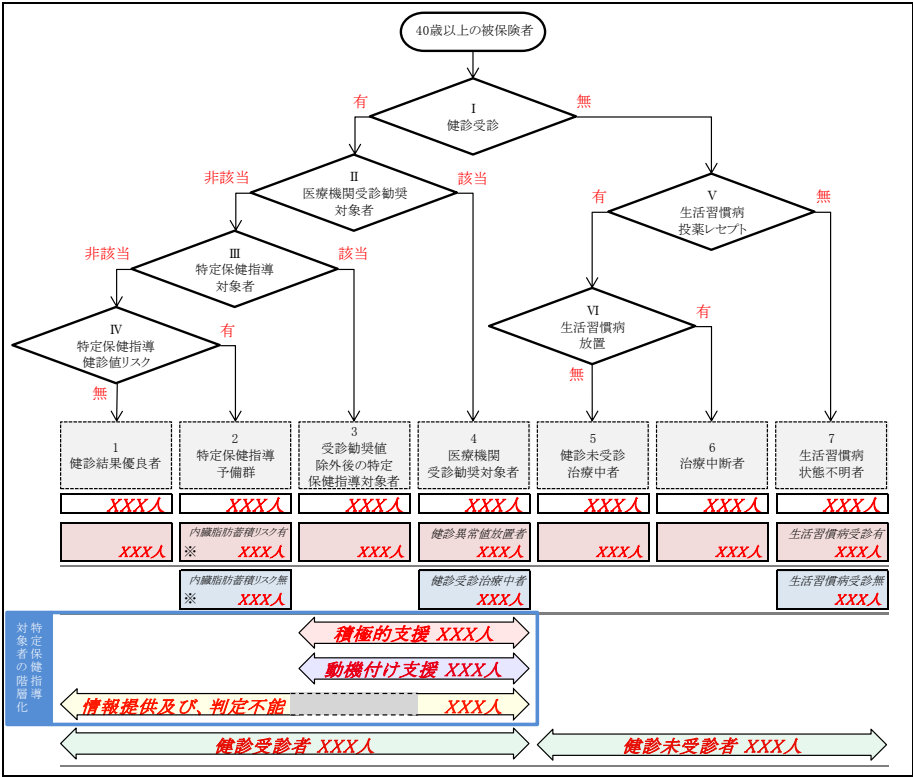
年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
 - 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
 - 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

4. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

5. 疾病分類

疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV . 腎尿路生殖器官系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植 ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

6. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、マスタとの突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

傷病名

12
再診
時間
13
明
外
60
糖
Hb
外
B-
尿
外
血
生
80
短
一
長

調剤レセプト

No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位	数量	薬剤 費用 円	薬剤 点数
1	ブラビックス錠75mg	1錠	66	28	
	カルネート錠2.5mg	1錠			
	カデュエット配合錠4番	1錠			
	トラゼンタ錠5mg	1錠			
	グリメシド錠1mg「NP」	1錠			
	【内服】1日1回朝食後服用				
2	ニコランミン錠5mg	3錠	2	28	
	【内服】1日3回食後服用				
3	エチカーム錠0.5mg	2錠	1	28	
	【内服】1日1回就寝前服用				
4	スルピリド錠50mg「アムレ」	2錠	27	28	
	エバデールS900 900mg	2包			
	安全性のため別包				
	【内服】1日2回朝夕食後服用				
決定点数					2,688

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007 狭心症
(3)	うつ病	2961003 うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病ごとにグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、その内、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施にあたっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム (特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者ごとの全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載されるすべてを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。